

# 芦田川水系河川整備基本方針の変更について

## ＜参考資料＞

令和8年7月27日  
国土交通省 水管理・国土保全局

# ①流域の概要

- 「草戸千軒町遺跡」は、芦田川下流域に位置する中世都市(鎌倉時代～室町時代:12世紀後半～16世紀頃)遺跡で、日本の中世史・都市史・流通史を語る上で極めて重要な遺跡である。周辺には国宝の「明王院」などの歴史文化施設や国の重要文化財である「草戸千軒町遺跡の出土品」の他、草戸千軒の町並み実物大復元が見学できる「ふくやま草戸千軒ミュージアム」も存在している。地域の小学校では社会科見学を行い地元の認知度も高く、川と地域の歴史文化のつながりを知ることができる地元の誇りである。
- 福山市や地域の歴史文化に精通した有識者との協議を行い、治水安全性を優先した上で、遺跡の保全や生物の生息環境を保全・創出に留意した河川整備を実施した。有識者からは住民が実物を目で見て地域の歴史文化を知ることができるのが良い、今後も重要な遺跡の保存に配慮しながら河川整備を実施して欲しいとの要望がある。

草戸千軒町遺跡と明王院・草戸稲荷



**明王院**

807年(大同2年)、弘法大師の開基と伝えられ、本堂は全体に和様、細部には唐様を用いた折衷様式で、この様式としては現存する最古の建物。五重塔は、全国の国宝塔の中でも5番目の古さを持つ美しい塔で、本堂と共に国宝に指定されている。



**草戸稲荷**

平城天皇の御代、大同2年(807)明王院の開基空海上人が、同寺の鎮守として齋き祀ったものと伝えられた地方数少ない古社である。



明王院(国宝)

草戸町

JR山陽新幹線

瀬戸川

神島橋

草戸稲荷

法音寺橋

草戸千軒町遺跡

草戸大橋

JR福塩線

本庄町

国道2号

7k, 8k, 9k



広島県立歴史博物館(ふくやま草戸千軒ミュージアム)



草戸千軒町遺跡の発掘状況

芦田川の中州で見つかった中世の町として全国的に有名な草戸千軒遺跡を中心に、瀬戸内地域の歴史と文化に視点を当てた博物館として、1989年(平成元年)11月3日に開館。

国の重要文化財である「草戸千軒町遺跡の出土品」及び近世後期の漢詩人・教育者である「菅茶山の関係資料」のほか、日本屈指の古地図資料を集めた「守屋壽コレクション」を常設展示している。

中州を保全した整備

- 遺跡の形が把握できるよう外形は存置して、地域の歴史資源や生物の生息環境にも配慮しながら、治水安全性の向上を図るため中洲部分は河道掘削を実施。
- 芦田川下流部の中洲全体の3分の1程度を保全。
- 中洲は現在も維持されており、鳥類(オオヨシキリ)をはじめとした生物の生息環境である植生群落が形成されている。

草戸千軒町遺跡上に位置する中洲



中洲の保全

法音寺橋

...草戸千軒町遺跡



植生群落が形成

オオヨシキリ

9.5k付近の中洲の状況(R5.11撮影)

○ 八田原ダム周辺の地域づくりの推進として、自然環境の保全と活用のための環境整備だけでなく、ダム水源地域ビジョンにより地域の活性化や地域連携、住民参加による地域づくりに取り組んでいる。

水源地域(世羅町)と連携したダムカードの作成

- 八田原ダムの水源地域である広島県世羅郡世羅町内に存在する5基のダム(国交省管理:八田原ダム、広島県管理:山田川ダム、農林水産省管理:三川ダム、目谷ダム及び京丸ダム)でダムカードを配布(一部ダムでは以前より配布)
- 全国のダムマニアをはじめ、多くの方々に花とフルーツそして駅伝のまち世羅町に訪問し、ダムへの関心を高めていただくとともに水源地域がより一層賑わうことを期待



世羅町を巡ってダムカードをゲットしよう！

ダムカード5枚でダムマニア認定書(ブロンズ) ももらえるよ！



ダムカードの配布場所

ダムカード配布場所

- ・八田原ダム  
八田原ダム管理所  
9:00～16:00 (土日祝日含む)
- ・三川ダム  
三川ダム管理事務所  
8:30～17:00 (土日祝日含む)
- ・山田川ダム  
山田川ダム管理事務所  
8:30～12:00、13:00～17:15 (土日祝日含む)
- ・目谷ダム  
せらワイナリー  
10:00～16:00 (1月～2月)  
9:00～17:00 (3月～12月)  
(毎週火曜日と年末年始を除く)  
広島中部台地土地改良施設管理組合  
9:00～17:00 (火曜日のみ)
- ・京丸ダム  
せら香道ランド  
11:00～17:00  
(毎週火曜日と年末年始を除く)  
広島中部台地土地改良施設管理組合  
9:00～17:00 (火曜日のみ)

ダム周辺でのイベントによる地域活性化

- 八田原ダムでは、夏に夢吊橋サマーフェスタを継続して実施
- 普段は入ることができない八田原ダム内部の旧JRTトンネル跡やゲート室などを見学、楽しくクイズを解きながら八田原ダムのことをたくさん知っていただくイベントを開催



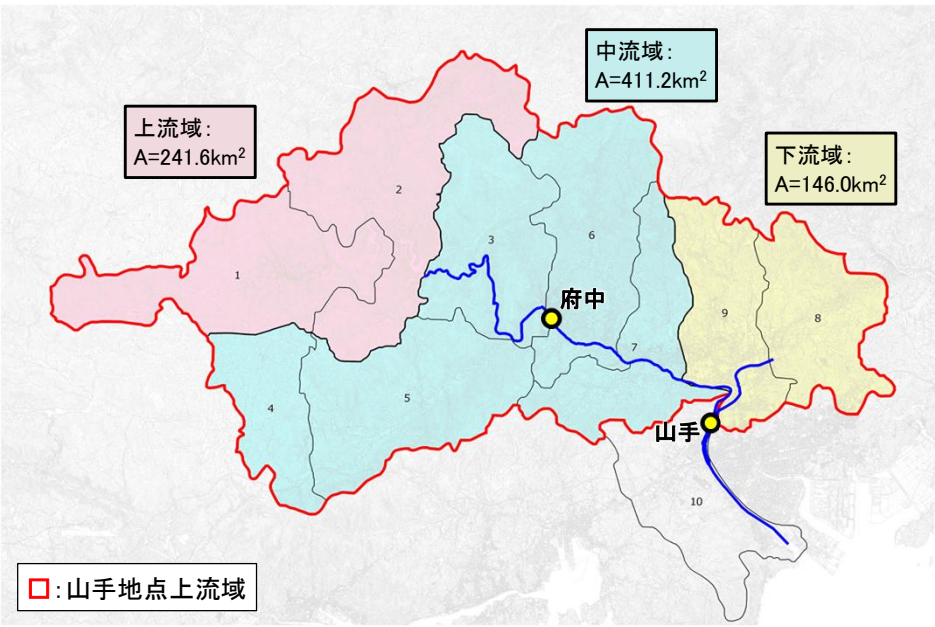
- 秋には秋の夢吊橋ウォークを継続して開催、地域住民がダム湖の自然を満喫しながらウォーキングを楽しんでいる。
- 令和6年には「世羅町VS府中市 大綱引き大会」も同時開催し、大きな盛り上がりを見せた



## ②基本高水のピーク流量の検討

- 気候変動による降雨パターンの変化(特に小流域集中度の変化)により、これまでの手法で棄却されていた実績引き伸ばし降雨波形の発生が十分予想される場合がある。このため、これまでの手法で棄却されていた実績引き伸ばし降雨波形を、当該推計におけるアンサンブル予測降雨波形による降雨パターンと照らし合わせる等により再検証を実施する。
- その結果、時間分布、地域分布により棄却した3洪水は、アンサンブル予測降雨から推定される時間分布、地域分布の雨量比(基準点と小流域の比率)以内に収まるため、棄却せずに参考波形として活用する。

棄却された実績引き伸ばし降雨における発生の可能性を検討



棄却した引き伸ばし降雨波形も同様に比率を求め、実績引き伸ばし降雨波形の比率が、アンサンブル予測降雨波形による比率と大きく逸脱していないか等のチェックを行う。

小流域のチェック

d2PDF(将来実験)から計画降雨量近傍のアンサンブル降雨波形を抽出(19洪水)し、各波形について、継続時間内の小流域の流域平均雨量/流域平均雨量を求める(各小流域の流域全体に対する雨量の比率)

| 予測降雨波形             | 比率    |       |       |
|--------------------|-------|-------|-------|
|                    | 上流域   | 中流域   | 下流域   |
| CC_m101 : 20650704 | 0.991 | 1.055 | 0.851 |
| CC_m101 : 20710826 | 1.177 | 0.989 | 0.735 |
| CC_m105 : 20820626 | 1.426 | 0.860 | 0.700 |
| GF_m101 : 20660719 | 1.232 | 0.956 | 0.738 |
| GF_m105 : 20680927 | 1.103 | 0.995 | 0.843 |
| GF_m105 : 20840719 | 0.949 | 0.946 | 1.246 |
| HA_m101 : 20800704 | 1.233 | 1.030 | 0.516 |
| HA_m101 : 20850805 | 1.125 | 1.005 | 0.774 |
| HA_m101 : 20860706 | 0.907 | 1.091 | 0.886 |
| HA_m105 : 20820814 | 1.049 | 1.050 | 0.769 |
| MI_m101 : 20730624 | 0.766 | 1.198 | 0.805 |
| MI_m105 : 20700716 | 0.753 | 1.109 | 1.091 |
| MP_m101 : 20800830 | 0.751 | 1.129 | 1.036 |
| MP_m101 : 20800903 | 0.630 | 1.125 | 1.251 |
| MP_m105 : 20740718 | 0.953 | 1.012 | 1.045 |
| MR_m105 : 20610708 | 1.227 | 0.958 | 0.741 |
| MR_m105 : 20710618 | 1.132 | 0.970 | 0.865 |
| MR_m105 : 20760915 | 1.121 | 0.963 | 0.905 |
| MR_m105 : 20850923 | 0.981 | 1.014 | 0.992 |

| 予測降雨波形 | 比率    |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
|        | 上流域   | 中流域   | 下流域   |
| 最大比率   | 1.426 | 1.198 | 1.251 |

| 棄却した実績洪水  | 比率    |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|
|           | 上流域   | 中流域   | 下流域   |
| S45.08.21 | 1.069 | 0.996 | 0.853 |
| S47.07.11 | 1.276 | 0.876 | 0.642 |
| H22.07.13 | 1.188 | 0.959 | 0.804 |

短時間降雨のチェック

d2PDF(将来実験)から計画降雨量近傍のアンサンブル降雨波形を抽出(19洪水)し、各波形について、短時間(6.8時間)の流域平均雨量/継続時間内の流域平均雨量を求める(短時間雨量と継続時間雨量との比率)

| 予測降雨波形             | 比率      |         |
|--------------------|---------|---------|
|                    | 6hr/15h | 8hr/15h |
| CC_m101 : 20650704 | 0.706   | 0.825   |
| CC_m101 : 20710826 | 0.786   | 0.886   |
| CC_m105 : 20820626 | 0.755   | 0.773   |
| GF_m101 : 20660719 | 0.954   | 0.921   |
| GF_m105 : 20680927 | 0.521   | 0.663   |
| GF_m105 : 20840719 | 0.572   | 0.646   |
| HA_m101 : 20800704 | 0.523   | 0.629   |
| HA_m101 : 20850805 | 0.913   | 0.962   |
| HA_m101 : 20860706 | 0.626   | 0.734   |
| HA_m105 : 20820814 | 0.711   | 0.822   |
| MI_m101 : 20730624 | 0.566   | 0.660   |
| MI_m105 : 20700716 | 0.673   | 0.733   |
| MP_m101 : 20800830 | 0.634   | 0.705   |
| MP_m101 : 20800903 | 0.547   | 0.684   |
| MP_m105 : 20740718 | 0.573   | 0.737   |
| MR_m105 : 20610708 | 0.681   | 0.795   |
| MR_m105 : 20710618 | 0.657   | 0.818   |
| MR_m105 : 20760915 | 0.615   | 0.740   |
| MR_m105 : 20850923 | 0.703   | 0.788   |

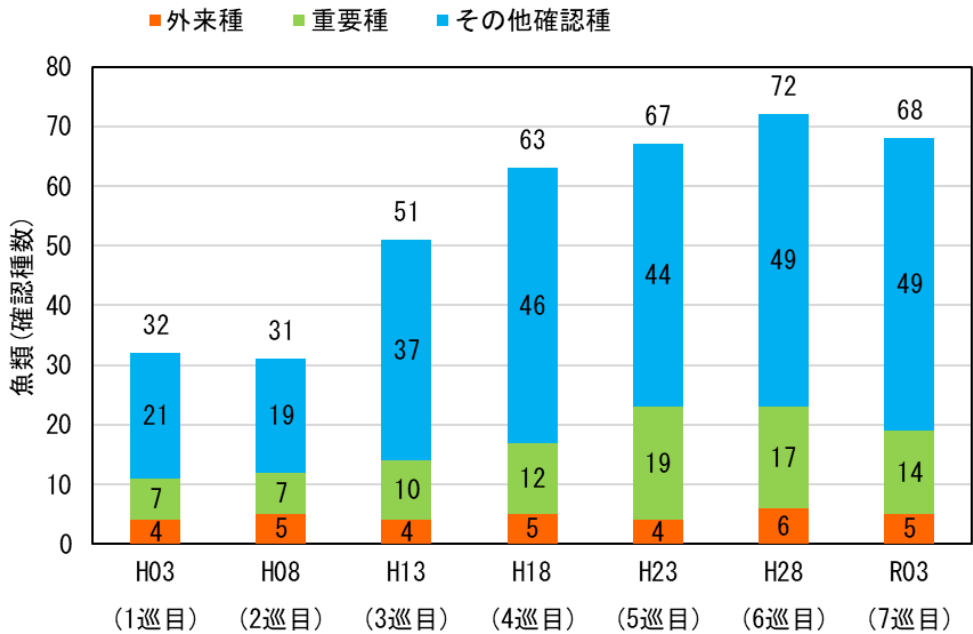
| 予測降雨波形 | 比率     |        |
|--------|--------|--------|
|        | 6h/15h | 8h/15h |
| 最大比率   | 0.954  | 0.962  |

| 棄却した実績洪水  | 比率     |        |
|-----------|--------|--------|
|           | 6h/15h | 8h/15h |
| S45.08.21 | 0.849  | 0.904  |
| S47.07.11 | 0.766  | 0.863  |
| H22.07.13 | 0.812  | 0.812  |

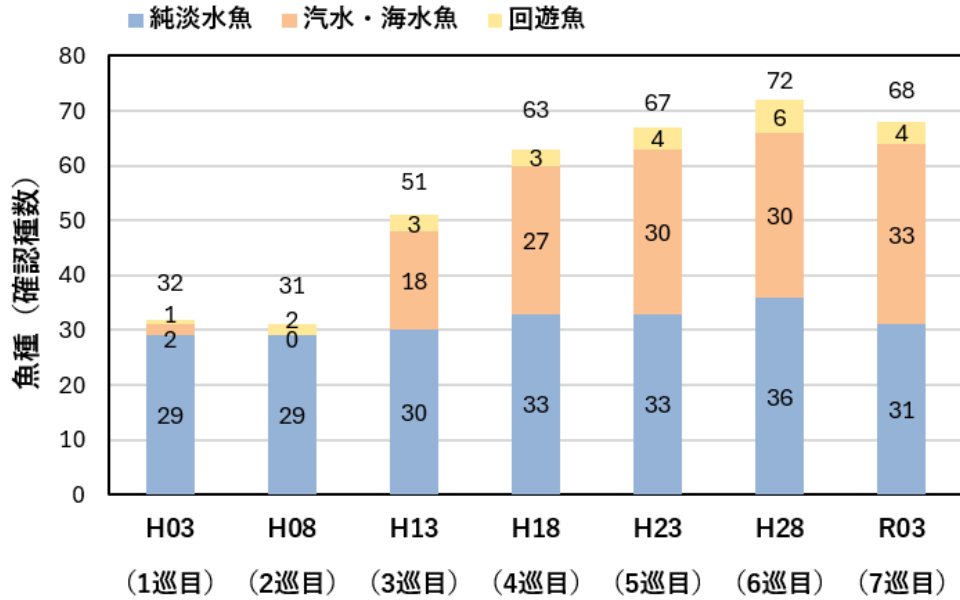
## ⑤河川環境・河川利用についての検討

- 魚類について、重要種・外来種等で分類した場合と回遊型による分類を実施した。
- 平成16年の基本方針策定後、若干の増減はあるものの、各分類の種数に経年的に大きな変化は見られず、分類方法による傾向の差異も見られない。

魚類相の変遷



回遊型による変遷



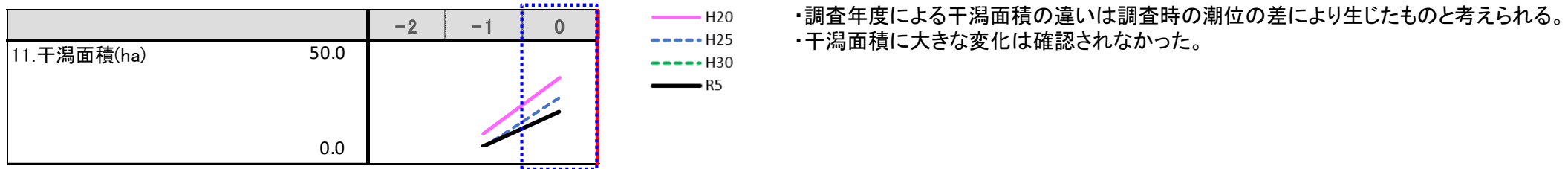
※1 河川水辺の国勢調査結果を基に整理

※2 重要種：環境省レッドリスト2020(令和2年3月)、広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021(令和4年3月)に指定された種

※3 外来種：外来生物法に基づき指定された特定外来生物及び生態系被害防止外来種リストの掲載種

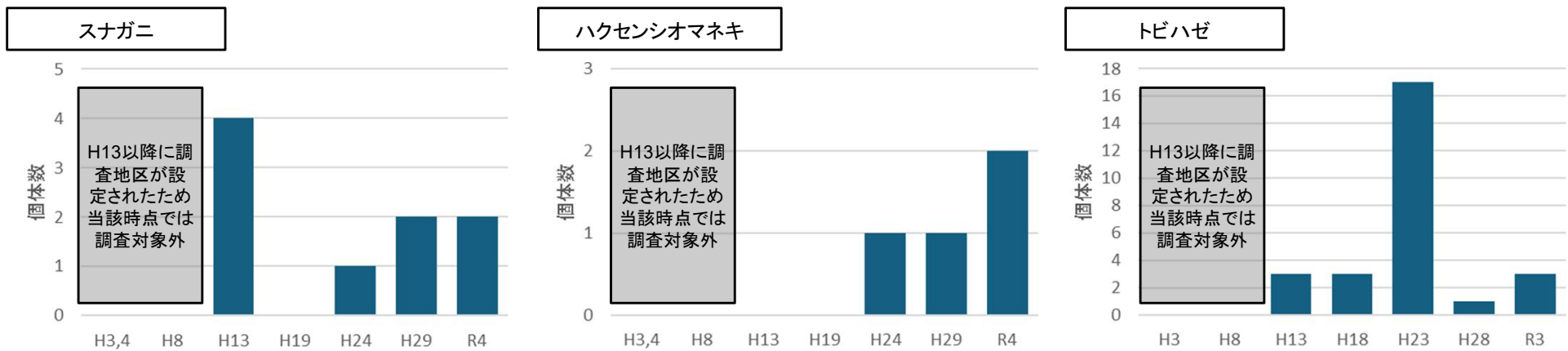
- 河口域(−2.0k~1.0k)では、干潟面積に大きな変化は確認されなかった。干潟を主な生息・生育場とするスナガニ、ハクセンシオマネキ、トビハゼは、突出した調査年度を除き、これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- 重要種の生息場となる干潟の保全を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

干潟の面積の経年変化



※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。魚類・底生動物 (H13~R4)

干潟の面積の経年変化



※河川水辺の国勢調査(底生動物: H3・H8・H13・H19・H24・H29・R4、魚類: H3,4・H8・H13・H18・H23・H28・R3)を整理。  
※個体数は、河口域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

- 【調査方法(底生動物)】

  - ・平成13年度は3回実施(夏季・冬季・早春季)。
  - ・平成19年度以降は各年2回実施(夏季・早春季)。
  - ・定量採集及び定性採集を実施。
  - ・定量採集では、干潟でコドラートを置いて、砂泥に生息する種を確認。
  - ・定性採集では、汽水域をタモ網、スコップ、スクレーパー等により調査。

※調査は、河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。
- 【調査方法(魚類)】

  - ・調査は各年2回(夏季・秋季)実施。
  - ・調査地区内の干潟及び汽水域を右の表に示す手法により調査。

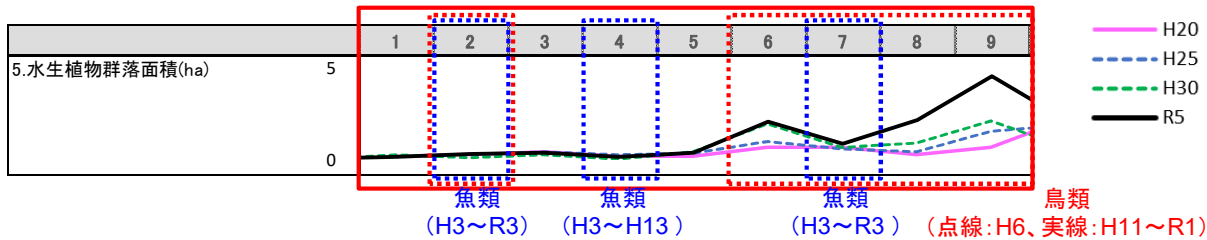
※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

| 調査手法 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 投網   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| タモ網  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 定置網  |     |     | ○   | ○   | ○  |
| 刺網   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| はえなわ | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| どう   | ○   |     |     |     |    |
| 地曳網  |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| カゴ網  |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 掘り返し |     | ○   | ○   | ○   | ○  |

- 下流域(湛水区間)(1.0k~10.0k)では、5.6k~7.0k付近にウェットランドが存在している。佐波地区(右岸側)は平成23年度、草戸地区(左岸側)は平成27年度に竣工した。水生植物帯の面積はウェットランドを含む6.0k~10.0k区間を中心に増加傾向が確認された。一方で、水生植物帯を利用、あるいは主な生息場とするヤリタナゴ、タモロコ、ミナミメダカの個体数は増加傾向、オオヨシキリは減少傾向が確認された。
- 重要種の生息場となるウェットランドの保全及び水生植物帯の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

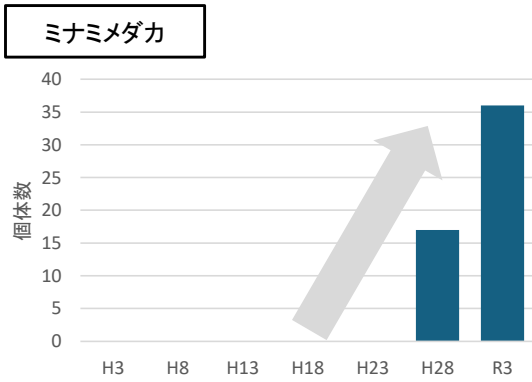
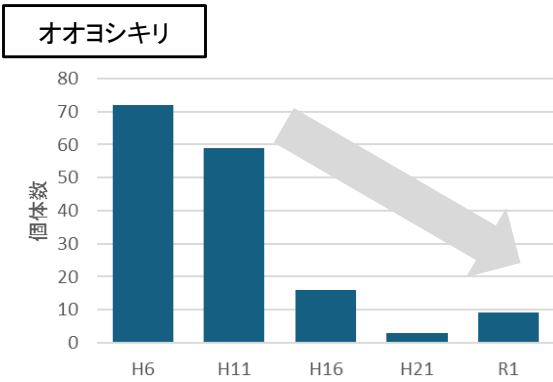
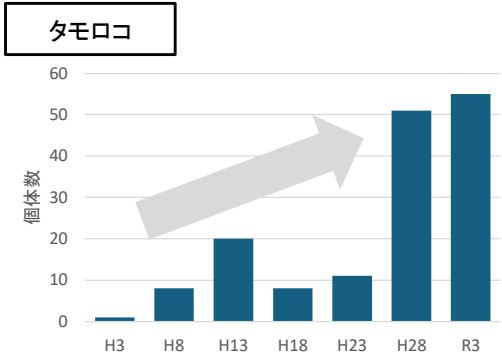
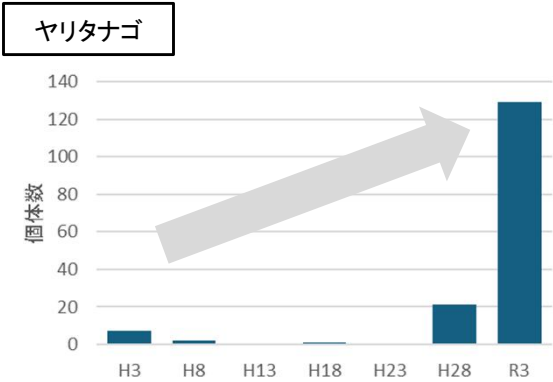
水生植物帯の面積の経年変化

- ・下流域の1.0k~5.0kについては、全面が湛水区間であり、経年的に水生植物群落は少ない。
- ・ウェットランドを含む6.0~10.0kは湛水域の中に植生が発達した中州が成立。水生植物群落面積の増加傾向を確認。



※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

水生植物帯を利用、あるいは主な生息場とする種の個体数経年変化



- 【調査方法(魚類)】
- ・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。
  - ・調査地区内の湛水域を以下の表に示す手法により調査。

| 調査手法  | H3 | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 投網    | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| タモ網   | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 定置網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| 刺網    |    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| サデ網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| はえなわ  |    |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| どう    |    |    | ○   |     |     |     |    |
| カゴ網   |    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| セルビン  |    | ○  |     |     |     |     |    |
| 電撃捕漁器 |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |

※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

- 【調査方法(鳥類)】
- 平成6年度~平成16年度
  - ・調査は各年4回実施(春の渡り期・繁殖期・秋の渡り期・越冬期)。
  - ・ラインセンサス法、定点記録法により調査。
  - 平成21年度~令和元年度
  - ・調査は各年2回実施(繁殖期、越冬期)。
  - ・スポットセンサス法により調査。
  - ※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

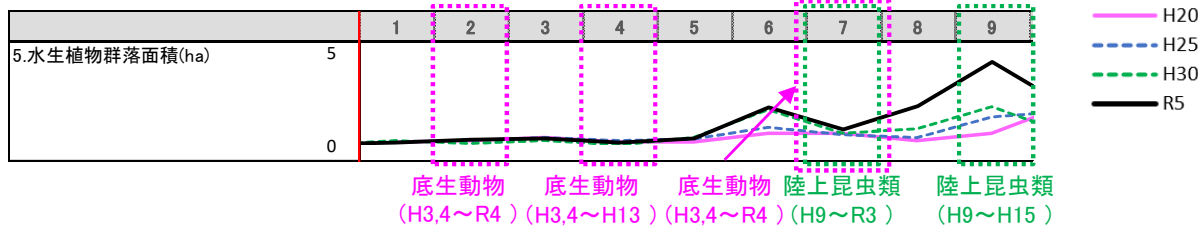
※河川水辺の国勢調査(魚類:H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3、鳥類:H6・H11・H16・H21・R1)を整理。  
※個体数は、下流域(湛水区間)で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

# 本文掲載種の個体数と生息・生育場の変遷【下流域(湛水区間)】 陸上昆虫類・底生動物 芦田川水系

- 下流域(湛水区間)(1.0k~10.0k)では、5.6k~7.0k付近にウェットランドが存在している。佐波地区(右岸側)は平成23年度、草戸地区(左岸側)は平成27年度に竣工した。浅場を主な生息場とするナゴヤサナエの個体数は突出した調査年度を除き増加傾向である。河川環境管理シートには浅場を評価する項目はないが、水生植物帯の面積はウェットランドを含む6.0k~10.0k区間を中心に増加傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる浅場環境の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

## 水生植物帯の面積の経年変化

- ・下流域の1.0k~5.0kについては、全面が湛水区間であり、経年的に水生植物群落は少ない。
- ・ウェットランドを含む6.0~10.0kは湛水域の中に植生が発達した中州が成立。水生植物群落面積の増加傾向を確認。

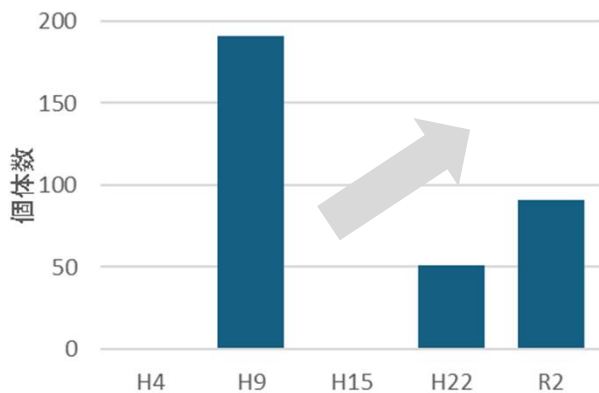


※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。なお、ナゴヤサナエの生息環境である浅場に対応する項目はないため、水生植物帯の面積の経年変化を掲載。

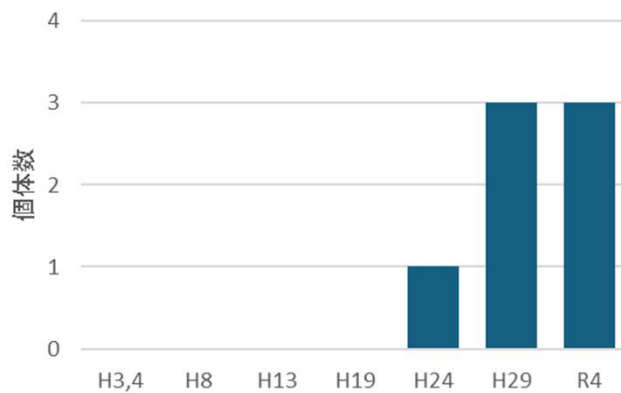
## 浅場を主な生息場とする種の個体数経年変化

### ナゴヤサナエ

#### 陸上昆虫類調査による確認状況



#### 底生動物調査による確認状況



※河川水辺の国勢調査(陸上昆虫類: H4・H9・H15・H22・R2、底生動物: H3・4・H8・H13・H19・H24・H29・R4)を整理。  
※個体数は、下流域(湛水区間)で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

### 【調査方法(陸上昆虫類)】

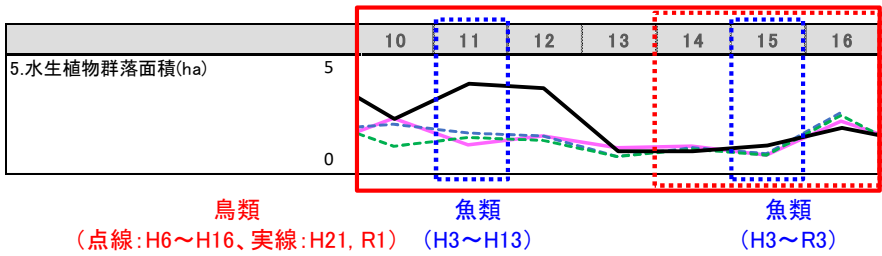
- ・平成15年度は2回実施(夏季・秋季)。
- ・平成19年度以降は各年3回実施(春季・夏季・秋季)。
- ・任意採集法、目撃法等により調査。
- ※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。
- ※平成4年度及び平成9年度については、調査手法及び時期は不明。

### 【調査方法(底生動物)】

- ・平成8年度及び平成13年度の調査は、各年3回実施(夏季・冬季・早春季)。
- ・平成19年度以降の調査は各年2回実施(夏季・早春季)。
- ・定量採集及び定性採集を実施。
- ・定量採集では、湛水域でエクマン・バージ型採泥器により調査。
- ・定性採集は湛水域やヨシ帯、ワンド等をタモ網、スコップ等により調査。
- ※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。
- ※平成3~4年度については、調査手法及び時期は不明。

- 下流域(流水区間)(10.0k~17.0k)では、特に11.0k~12.0k区間にて水生植物帯の面積の増加傾向が確認された。一方で、水生植物帯を利用するタモロコの個体数は増加傾向にあった。ヤリタナゴの個体数は平成18年度までは概ね横ばいであったが、平成23年度以降ほとんど確認されていない。ミナメダカは、これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。また、水生植物帯を主な生息場とするオオヨシキリは減少傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる水生植物帯の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

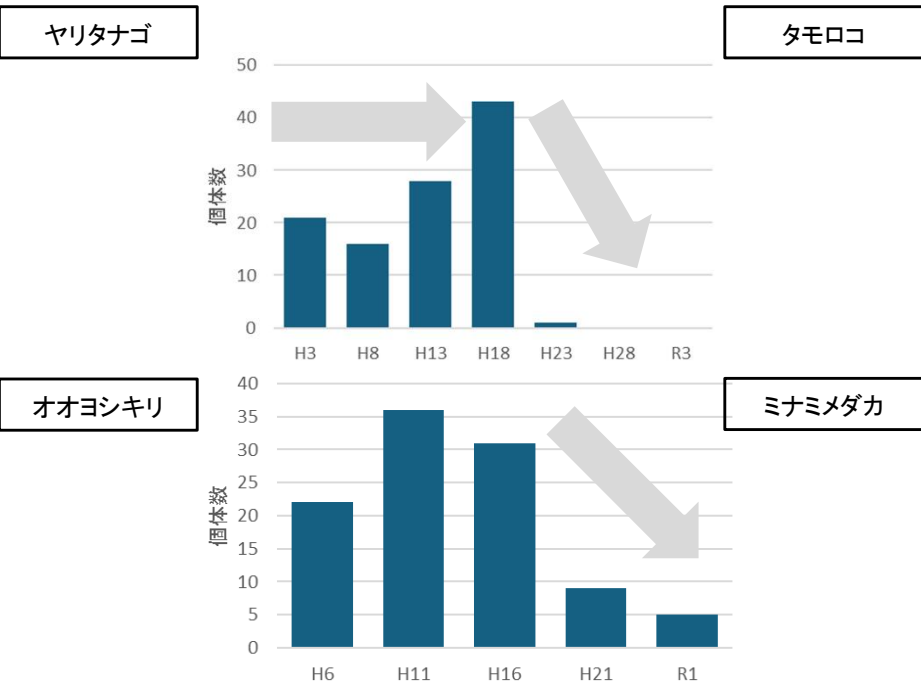
水生植物帯の面積の経年変化



- ・下流域の11.0k-12.0kについては、水生植物群落面積の増加傾向が確認。
- ・それ以外の区間は大きな変化は確認されなかった。

※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

水生植物帯を利用、あるいは主な生息場とする種の個体数経年変化



- 【調査方法(魚類)】
- ・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。
- ・調査地区内の早瀬、平瀬、淵、湛水域等を以下の表に示す手法により調査。

| 調査手法  | H3 | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 投網    | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| タモ網   | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 定置網   |    |    |     |     |     | ○   | ○  |
| 刺網    |    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| サデ網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| はえなわ  |    |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| どう    |    |    | ○   |     |     |     |    |
| カゴ網   |    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 潜水捕獲  | ○  |    |     |     |     |     |    |
| 電撃捕魚器 |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |

※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

- 【調査方法(鳥類)】
- 平成6年度~平成16年度
- ・調査は各年4回実施(春の渡り期・繁殖期・秋の渡り期・越冬期)。
- ・ラインセンサス法、定点記録法により調査。
- 平成21年度~令和元年度
- ・調査は各年2回実施(繁殖期、越冬期)。
- ・スポットセンサス法により調査。

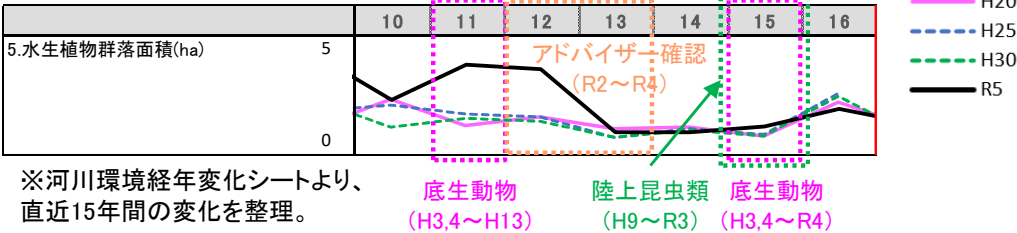
※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施

※河川水辺の国勢調査(魚類: H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3、鳥類: H6・H11・H16・H21・R1)を整理。  
※個体数は、下流域(流水区間)で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

- 下流域(流水区間)(10.0k~17.0k)では、浅場を主な生息場とするキイロヤマトンボが平成24年度に1個体、令和2年度から令和4年度に多数確認された。また、ナゴヤサナエは、令和2年度から令和4年度に多数確認された。河川環境管理シートには浅場を評価する項目はないが、水生植物帯の面積は11.0k~12.0k区間を中心に増加傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる浅場環境の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

水生植物帯の面積の経年変化

- ・下流域の11.0k~12.0kについては、水生植物群落面積の増加傾向が確認。
- ・それ以外の区間は大きな変化は確認されなかった。



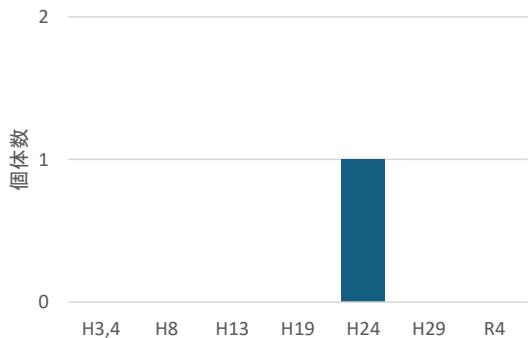
浅場を主な生息場とする種の個体数経年変化

ナゴヤサナエ

R2~R4に、12k~13kにて成虫・幼虫を多数確認：河川整備アドバイザー会議委員の聞き取り結果より  
※河川水辺の国勢調査(陸上昆虫類・底生動物)では下流域(流水区間)においてナゴヤサナエは確認されなかった。  
各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

キイロヤマトンボ

底生動物調査による確認状況



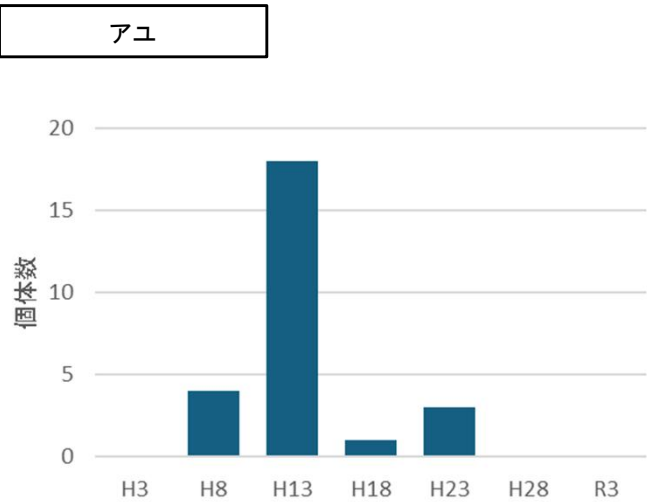
※R2~R4に、12k~13kにて成虫・幼虫を多数確認：河川整備アドバイザー会議委員の聞き取り結果より  
※河川水辺の国勢調査(底生動物：H3~4・H8・H13・H19・H24・H29・R4)を整理。  
※個体数は下流域(流水区間)で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。  
※陸上昆虫類調査において、キイロヤマトンボは確認されなかった。

【調査方法】

- ・平成8年度及び平成13年度の調査は各年3回実施(夏季・冬季・早春季)。
  - ・定量採集及び定性採集を実施。
  - ・定量採集は早瀬や平瀬でサーバーネットにより、石に付着している種を確認。
  - ・定性採集は抽水植物帯、湛水域等をタモ網、スコップ等により調査。
- ※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。  
※平成3~4年度については、調査手法・時期は不明。

- 下流域(流水区間)(10.0k~17.0k)では、淵環境を主な生息場とするアユは、突出した調査年度を除き、これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- なお、アユが主に利用する環境である早瀬は下流域(流水区間)には存在しないため、生息場の経年変化は整理対象外とした。

下流域(流水区間)におけるアユの個体数経年変化



※河川水辺の国勢調査(魚類: H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3)を整理。  
※個体数は、下流域(流水区間)で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

【調査方法】  
・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。  
・調査地区内の早瀬、平瀬、淵、湛水域等を以下の表に示す手法により調査。

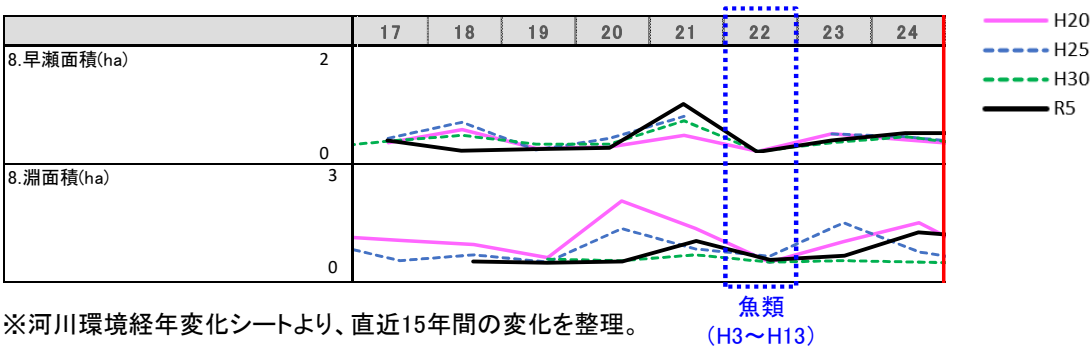
| 調査手法  | H3 | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 投網    | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| タモ網   | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 定置網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| 刺網    |    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| サデ網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| はえなわ  |    |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| どう    |    |    | ○   |     |     |     |    |
| カゴ網   |    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 潜水捕獲  | ○  |    |     |     |     |     |    |
| 電撃捕漁器 |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |

※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

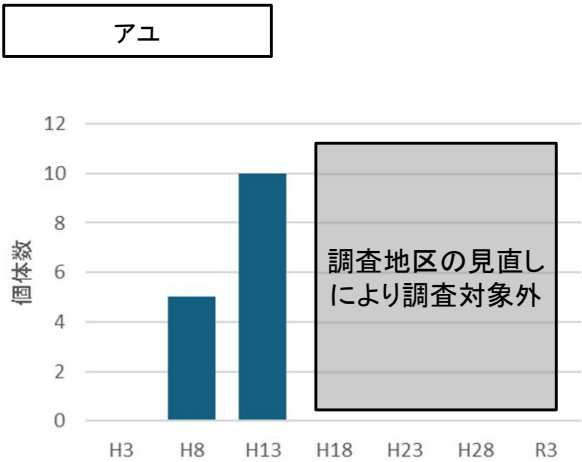
- 中下流域(17.0k~25.0k)では、早瀬の面積に大きな変化は確認されなかった一方で、淵の面積は19.0k~21.0k区間にて減少傾向にあった。
- 瀬淵環境を主な生息場とするアユの個体数は、平成18年度以降の記録がないが、平成3年度から平成13年度にかけて増加傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる瀬淵環境の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

早瀬及び淵の面積の経年変化

- ・中下流域の早瀬面積に大きな変化は確認されなかった。
- ・中下流域の淵面積は20k周辺にて減少傾向が確認された。



瀬淵環境を主な生息場とする種の個体数経年変化



- 【調査方法】
- ・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。
  - ・調査地区内の早瀬、平瀬、淵、ワンド・たまり等を以下の表に示す手法により調査。

| 調査手法 | H3 | H8 | H13 |
|------|----|----|-----|
| 投網   | ○  | ○  | ○   |
| タモ網  | ○  | ○  | ○   |
| 刺網   |    | ○  | ○   |
| はえなわ |    |    | ○   |
| どう   |    |    | ○   |
| 潜水捕獲 | ○  |    |     |

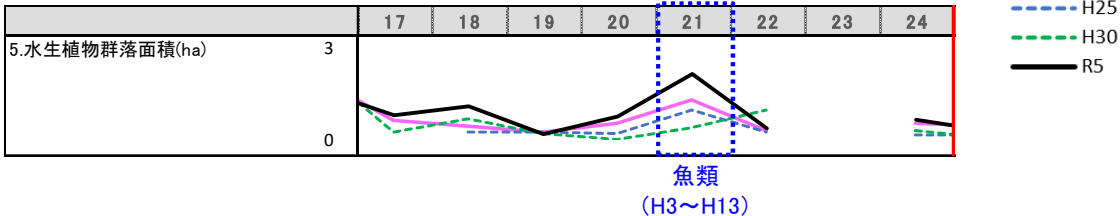
※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

※河川水辺の国勢調査(魚類: H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3)を整理。  
※個体数は、中下流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

- 中下流域(17.0k~25.0k)では、水生植物帯の面積は増加傾向にあった。また、水生植物帯を主な生息場とするヤリタナゴの個体数は平成18年度以降の記録がないが、平成3年度に1個体確認された。これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- 重要種の生息場となる水生植物帯の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

水生植物帯の面積の経年変化

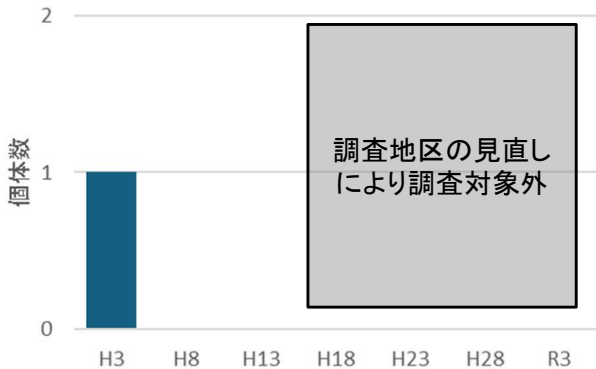
21kを中心に水生植物群落面積の増加傾向を確認。



※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

水生植物帯を利用する種の個体数経年変化

ヤリタナゴ



- 【調査方法】
- ・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。
  - ・調査地区内の早瀬、平瀬、淵、ワンド・たまり等を以下の表に示す手法により調査。

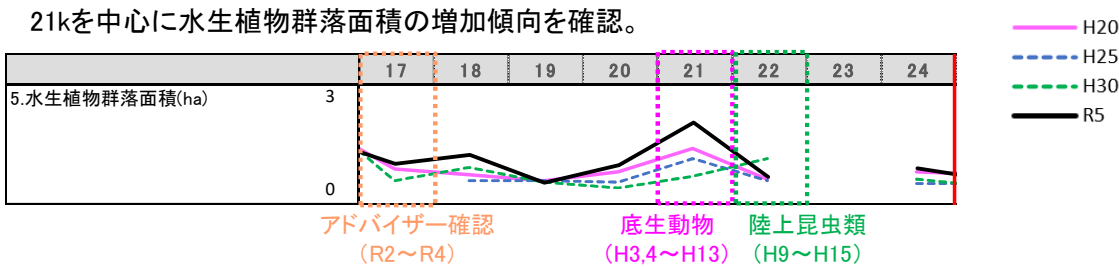
| 調査手法 | H3 | H8 | H13 |
|------|----|----|-----|
| 投網   | ○  | ○  | ○   |
| タモ網  | ○  | ○  | ○   |
| 刺網   |    | ○  | ○   |
| はえなわ |    |    | ○   |
| どう   |    |    | ○   |
| 潜水捕獲 | ○  |    |     |

※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

※河川水辺の国勢調査(魚類: H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3)を整理。  
※個体数は、中下流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

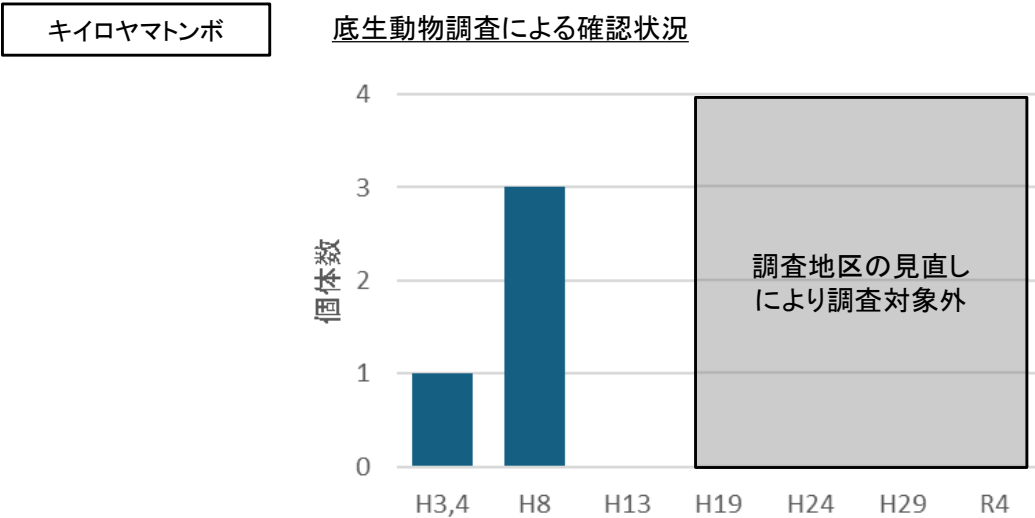
- 中下流域(17.0k~25.0k)では、浅場を主な生息場とするキイロヤマトンボが平成3、4年度に1個体、平成8年度に3個体、令和2年度から令和4年度に多数確認された。河川環境管理シートには浅場を評価する項目はないが、水生植物帯の面積は増加傾向にあった。これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- 重要種の生息場となる浅場環境の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

水生植物帯の面積の経年変化



※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

浅場を主な生息場とする種の個体数経年変化



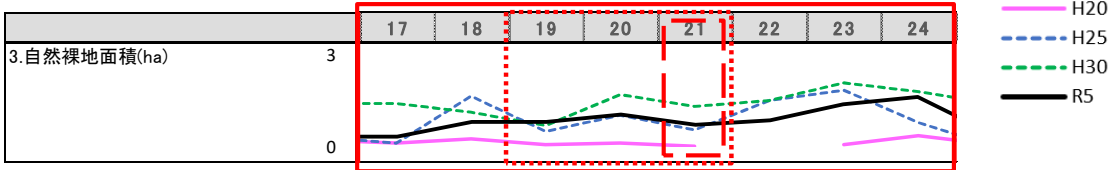
※ R2~R4に、中下流域の17k周辺にて 多数確認: 河川整備アドバイザー会議委員の聞き取り結果より  
※河川水辺の国勢調査(底生動物: H3-4・H8・H13・H19・H24・H29・R4)を整理。  
※個体数は、中下流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。  
※陸上昆虫類調査において、キイロヤマトンボは確認されなかった。

【調査方法】  
・平成8年度及び平成13年度の調査は各年3回実施(夏季・冬季・早春季)。  
・定量採集及び定性採集を実施。  
・定量採集は早瀬や平瀬でサーバーネットにより、石に付着している種を確認。  
・定性採集は抽水植物帯、湛水域等をタモ網、スコップ等により調査。  
※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。  
※平成3-4年度については、調査手法・時期は不明。

- 中下流域(17.0k~25.0k)では、平成20年度は自然裸地がほとんど存在していなかったが、平成25年度及び平成30年度に増加し、令和5年度にやや減少した。その中で、自然裸地(礫河原)を主な生息場とするコチドリの個体数はこれまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。一方、イカルチドリの個体数は増加傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる自然裸地(礫河原)の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

自然裸地の面積の経年変化

中下流域の自然裸地面積は平成25年から平成30年にかけて増加し、令和5年にやや減少した。

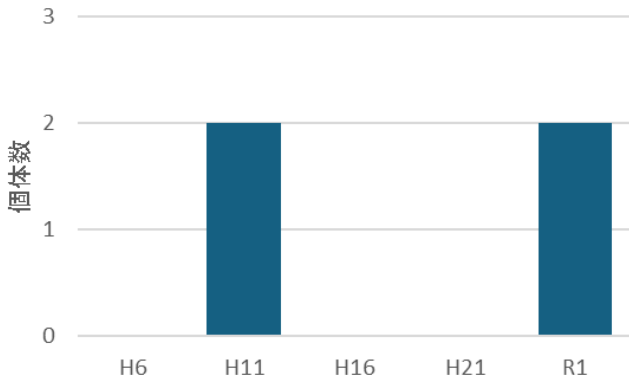


※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

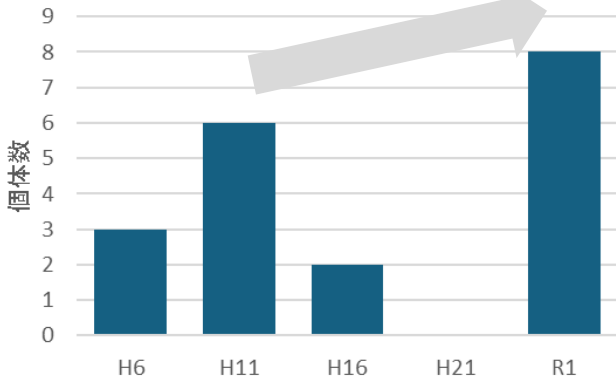
鳥類  
( :H6、 :H11,H16、実線:H21, R1)

自然裸地を主な生息場とする種の個体数経年変化

コチドリ



イカルチドリ



【調査方法】

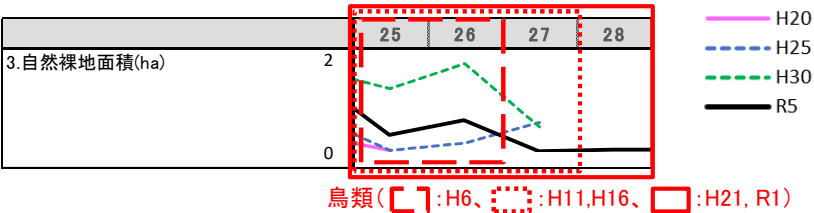
- 平成6年度～平成16年度
    - ・調査は各年4回実施(春の渡り期・繁殖期・秋の渡り期・越冬期)。
    - ・ラインセンサス法、定点記録法により調査。
  - 平成21年度～令和元年度
    - ・調査は各年2回実施(繁殖期、越冬期)。
    - ・スポットセンサス法により調査。
- ※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

※河川水辺の国勢調査(鳥類:H6・H11・H16・H21・R1)を整理。  
※個体数は、中下流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

- 中上流域(25.0k~29.0k)では、自然裸地の面積は平成20年度から令和5年度にかけて増加傾向にあった。
- 自然裸地(礫河原)を主な生息場とするコチドリは単年度の確認であり、イカルチドリは、これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- 重要種の生息場となる自然裸地(礫河原)の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

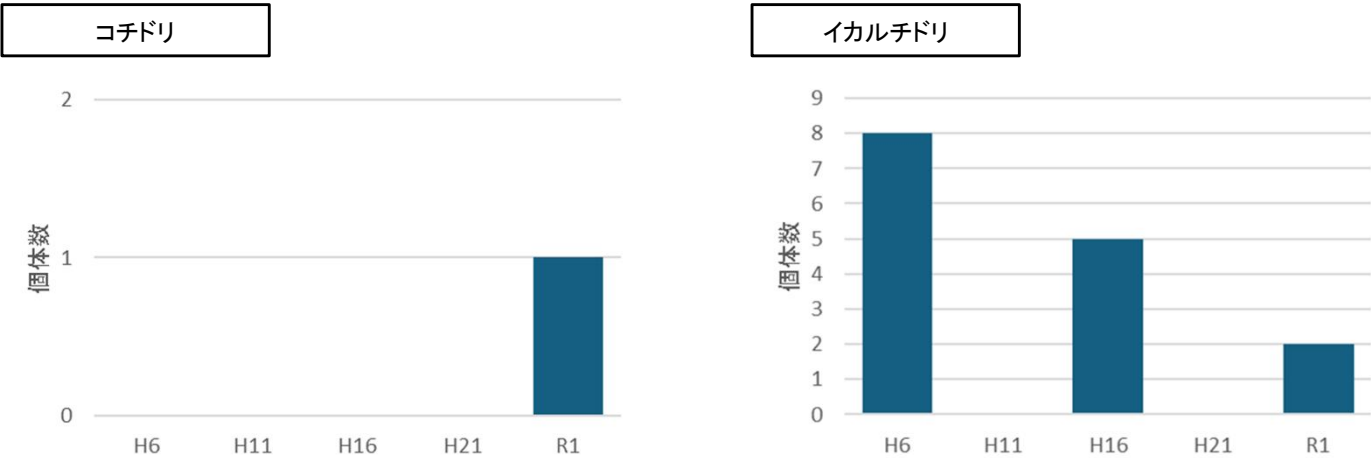
自然裸地の面積の経年変化

中上流域の自然裸地面積は、平成20年から令和5年にかけて増加している。(H30は出水の影響により一時的に増加)



※河川環境経年変化シートより、直近15年間の変化を整理。

自然裸地を主な生息場とする種の個体数経年変化

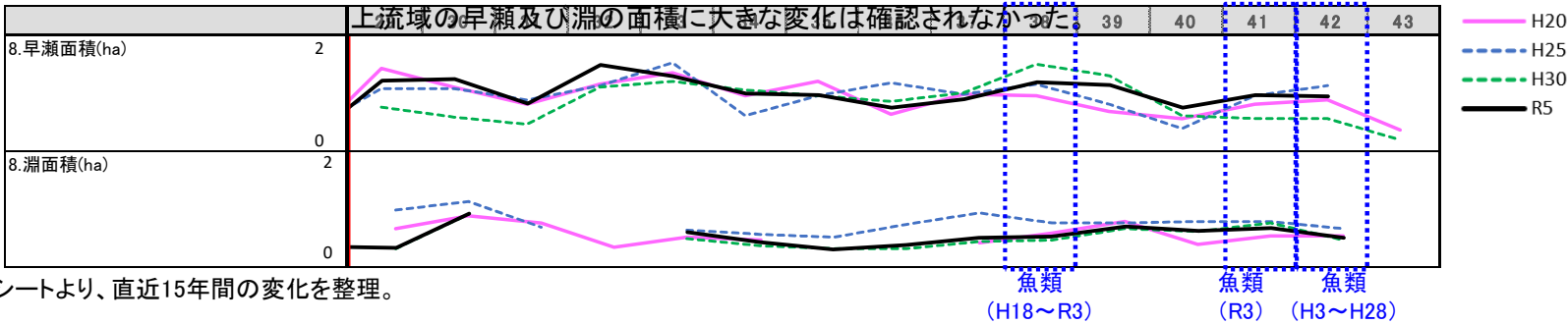


※河川水辺の国勢調査(鳥類:H6・H11・H16・H21・R1)を整理。  
※個体数は、中上流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

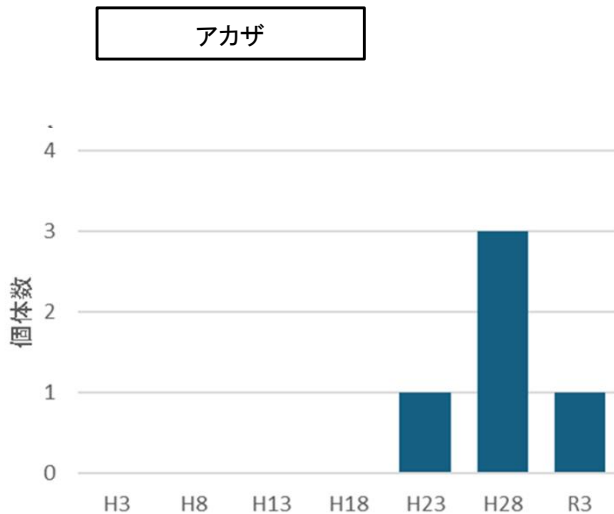
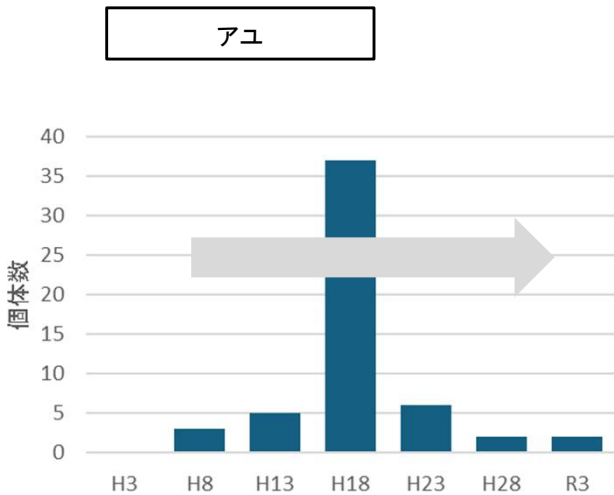
【調査方法】  
■平成6年度～平成16年度  
・調査は各年4回実施(春の渡り期・繁殖期・秋の渡り期・越冬期)。  
・ラインセンサス法、定点記録法により調査。  
■平成21年度～令和元年度  
・調査は各年2回実施(繁殖期、越冬期)。  
・スポットセンサス法により調査。  
※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

- 上流域(29.0k~44.0k)では、早瀬及び淵の面積に大きな変化はなく、瀬淵環境を主な生息場とするアユの個体数は、突出した調査年度を除き、概ね横ばい傾向である。また、アカザは、これまでの確認個体数が少ないことから、個体数の経年変化に係る傾向は明確ではない。
- 重要種の生息場となる瀬淵環境の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。

早瀬及び淵の面積の経年変化



瀬淵環境を主な生息場とする種の個体数経年変化



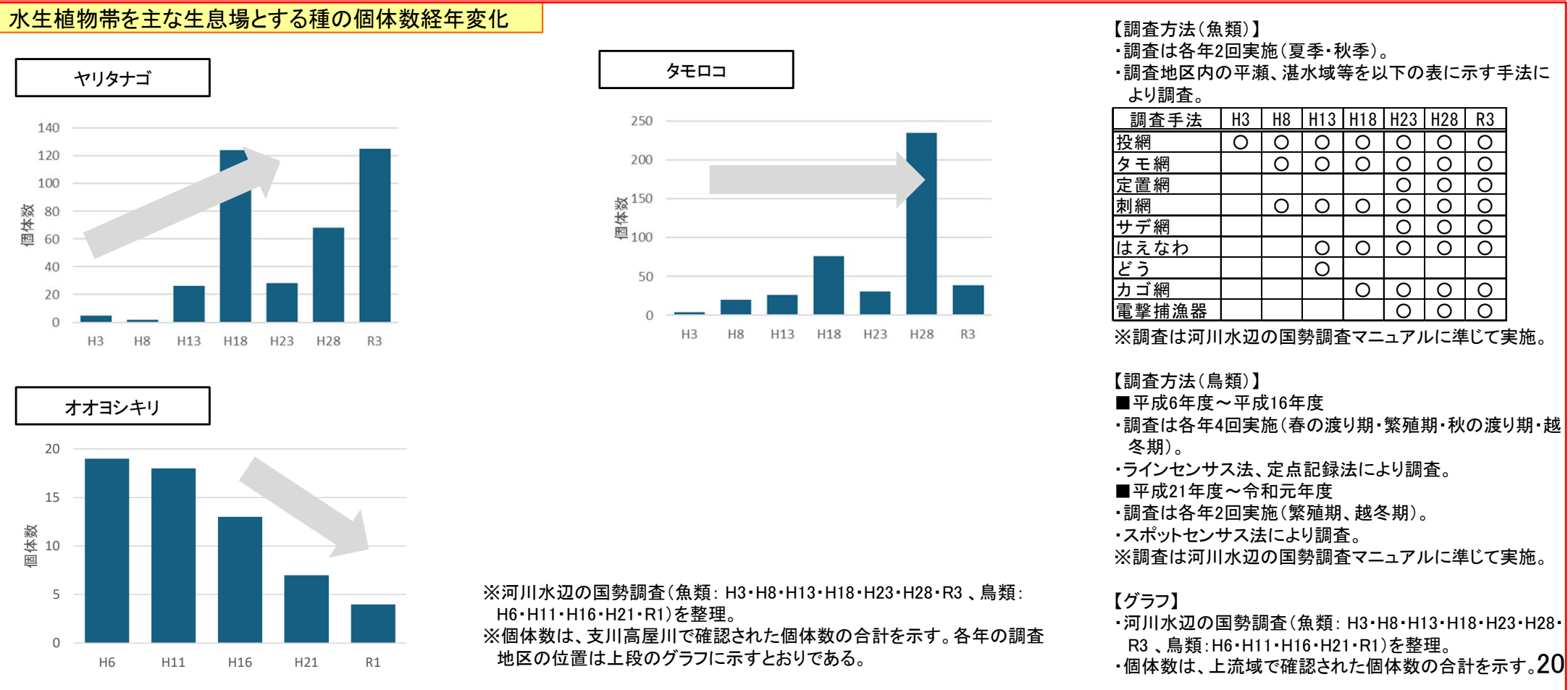
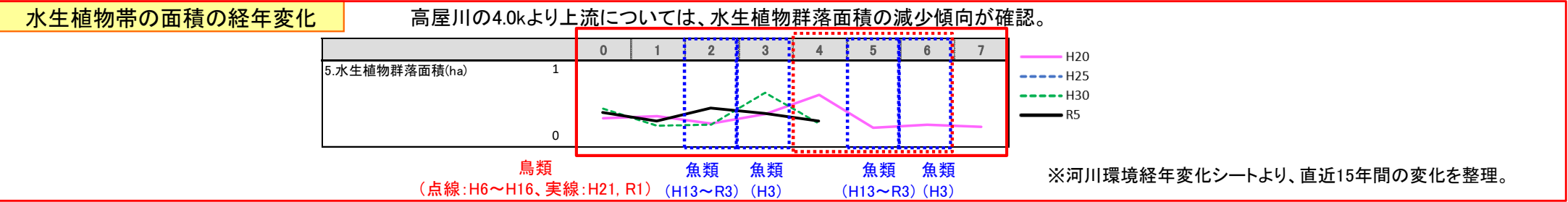
- 【調査方法】
- ・調査は各年2回実施(夏季・秋季)。
  - ・調査地区内の早瀬、平瀬、淵、湛水域等を以下の表に示す手法により調査。

| 調査手法  | H3 | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 投網    | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| タモ網   | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 定置網   |    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |
| 刺網    |    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| サデ網   |    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| はえなわ  |    |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |
| どう    |    |    | ○   | ○   |     |     |    |
| カゴ網   |    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 潜水捕獲  | ○  |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 電撃捕漁器 |    |    |     |     |     | ○   | ○  |

※調査は河川水辺の国勢調査マニュアルに準じて実施。

※河川水辺の国勢調査(魚類: H3・H8・H13・H18・H23・H28・R3)を整理。  
※個体数は、上流域で確認された個体数の合計を示す。各年の調査地区の位置は上段のグラフに示すとおりである。

- 支川高屋川(0.0k～8.0k)では、4.0kより上流の区間で水生植物帯の面積が減少傾向である。
- 水生植物帯を利用するヤリタナゴの個体数は増加傾向が確認された。また、水生植物帯を主な生息場とするタモロコの個体数は突出した調査年度を除き概ね横ばい傾向であり、オオヨシキリの個体数は減少傾向が確認された。
- 重要種の生息場となる水生植物帯の保全・創出を図り、河川環境の変化に応じた対応を行う。



オオヨシキリ

【調査方法(魚類)】

【調査方法(鳥類)】

【グラフ】

- 芦田川河口堰により淡水がほとんど流入しないため海域とも言える環境で、水呑漁港(右岸)の下流側に広い泥質の干潟が存在している。
- 水域と陸域は、人工護岸・堤防で区切られているため、河道内には植生は見られないが、0.8k付近の右岸砂地には、わずかに海浜植生が分布している。

河川環境区分(セグメント形成要因)

| 距離標(空間単位:1km※) | -2       | -1 | 0 |
|----------------|----------|----|---|
| ※距離標1:1~2km区間  |          |    |   |
| 略図             |          |    |   |
| 河川環境区分         | 区分1(芦田川) |    |   |
| 河川区分           | 汽水域      |    |   |
| 大セグメント区分       |          |    |   |
| 小セグメント区分       |          |    |   |
| 堤内地の景観 右岸側     | 山地       |    |   |
| 堤内地の景観 左岸側     | 埋立地      |    |   |
| 周辺の地形・地質       |          |    |   |
| 河床勾配(平均河床高)    |          |    |   |
| 河床材料           |          |    |   |
| 川幅(河道幅・水面幅km)  | 1.0      |    |   |
| 横断工作物          | 0.0      |    |   |
| 支川の合流          |          |    |   |
| 特徴的な狭窄部        |          |    |   |
| 自然再生           |          |    |   |
| 課題:            |          |    |   |

生息場の多様性の評価(大セグメントの中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | -2            | -1 | 0 |
|---------------|---------------|----|---|
| 大セグメント区分      |               |    |   |
| セグメント2-2 感潮   |               |    |   |
| 河川環境区分        | 区分1           |    |   |
| 陸域            | 1. 低・中茎草地     | -  | - |
|               | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | -  | - |
|               | 3. 自然裸地       | -  | - |
|               | 4. 外来植物生育地    | -  | × |
| 水際域           | 5. 水生植物帯      | -  | - |
|               | 6. 水際の自然度     | ○  | ○ |
|               | 7. 水際の複雑さ     | ○  | △ |
| 水域            | 8. 連続する瀬と淵    | -  | - |
|               | 9. ワンド・たまり    | -  | - |
|               | 10. 湛水域       | -  | - |
| 汽水            | 11. 干潟        | △  | ○ |
| 水             | 12. ヨシ原       | -  | ○ |
| 生息場の多様性の評価値   | 2             | 1  | 3 |

環境概要

○ 0k~1kの左右岸には干潟がみられ、瀬戸内海で減少傾向にあるスナガニ、ハクセンシオマネキ、トビハゼ等の干潟特有の生物が多く生息している。

○ 回遊魚のニホンウナギやウキゴリ、汽水・海水魚のトビハゼ、チワラスボ、ヒモハゼ等が確認されている。

○ 汽水・海水性のワカウラツボやウミナナ等の貝類が確認されている。

○ 海岸や広い河川に生息するミサゴが確認されている。

環境保全・創出

○ 瀬戸内海で減少傾向にあるスナガニやハクセンシオマネキ、トビハゼ等の干潟特有の種が生息する干潟の保全を図る。

生物との関わりの強さの評価

| 距離標(空間単位:1km)  | -2         | -1 | 0  |
|----------------|------------|----|----|
| 大セグメント区分       |            |    |    |
| セグメント2-2 感潮域   |            |    |    |
| 河川環境区分         | 区分1        |    |    |
| 重要種数           | 魚類(R2)     | 6  | 6  |
|                | 底生動物(R4)   | 29 | 29 |
|                | 植物(H30)    | 1  | 1  |
|                | 鳥類(H31)    | 1  | 1  |
|                | 両・爬・蟻(H27) | 0  | 0  |
|                | 陸上昆虫類(R3)  | 0  | 0  |
|                | 重要種全体合計    | 0  | 36 |
| 特徴種と依存する生息場の関係 | トビハゼ       | △  | ○  |
|                | 干潟         | △  | ○  |
| 生物との関わりの強さの評価値 | 0          | 0  | 1  |

注目は河川整備計画に従い選定。汽水域であるため、干潟に着目。

代表区間の選定

| 距離標(空間単位:1km)  | -2                                                                                                                    | -1 | 0 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|
| 河川環境区分         | 区分1                                                                                                                   |    |   |
| 生息場の多様性の評価値    | 2                                                                                                                     | 1  | 3 |
| 生物との関わりの強さの評価値 | 0                                                                                                                     | 0  | 1 |
| 代表区間候補の抽出      |                                                                                                                       |    | A |
| 候補の抽出理由        | A:評価値の両方とも1位                                                                                                          |    |   |
| 橋の有無           |                                                                                                                       |    |   |
| 代表区間の選定結果      |                                                                                                                       |    | ★ |
| 選定理由           | 両岸に泥質の干潟が存在、干潟には重要種を含む底生動物(主にゴカイ綱やカニ類)が多数生息しており、これらの底生動物を求めて、アオサギやミサゴ等の鳥類が飛来し、満潮時にはコシロ、ボラ等の汽水・海水魚が進入してくる、生物の豊かな環境である。 |    |   |

生物の生息場の分布状況(全川の中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | -2            | -1 | 0 |
|---------------|---------------|----|---|
| 陸域            | 1. 低・中茎草地     | -  | - |
|               | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | -  | - |
|               | 3. 自然裸地       | -  | - |
|               | 4. 外来植物生育地    | -  | △ |
| 水際域           | 5. 水生植物帯      | -  | - |
|               | 6. 水際の自然度     | △  | △ |
|               | 7. 水際の複雑さ     | △  | △ |
| 水域            | 8. 連続する瀬と淵    | -  | - |
|               | 9. ワンド・たまり    | -  | - |
|               | 10. 湛水域       | -  | - |
| 汽水            | 11. 干潟        | △  | ○ |
| 水             | 12. ヨシ原       | -  | ○ |
| 特殊性           | 礫河原の植生域       | -  | - |
|               | 湧水地           | -  | - |
|               | 海浜植生帯         | -  | - |
|               | 塩沼湿地          | -  | ○ |
| 生息場の多様性の評価値   | 0             | 0  | 2 |

代表区間の選定結果

左岸側の汽水域

右岸側の干潟

トビハゼ

干潟

0.0k

1.0k

代表区間

保全区間

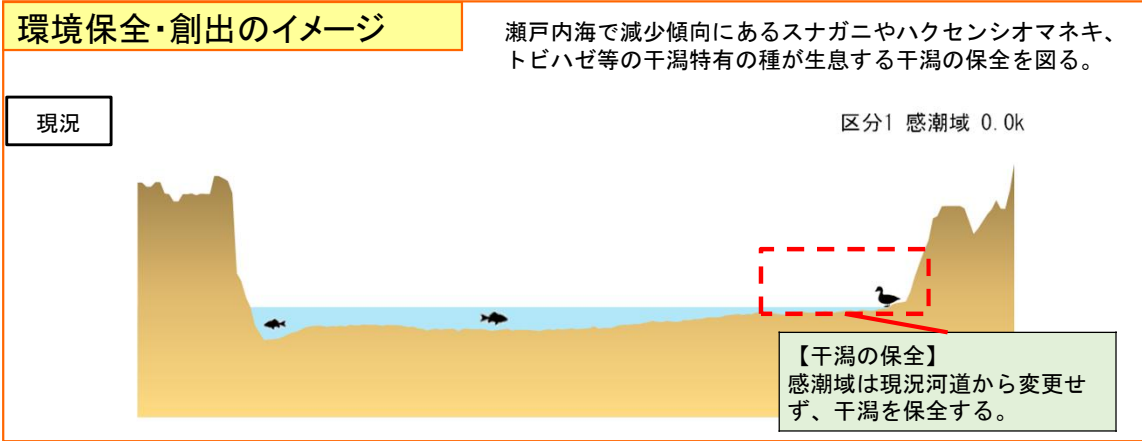
- 環境の特徴
- ・ 芦田川河口堰により淡水がほとんど流入しないため海域とも言える環境で、水呑漁港(右岸)の下流側に広い泥質の干潟が存在している。
  - ・ 干潟には、スナガニ、ハクセンシオマネキ、トビハゼ等の干潟特有の生物が多く生息している。
  - ・ 一方、干潟を利用するシロチドリが確認されなくなっている。
- 環境の保全・創出
- ・ 瀬戸内海で減少傾向にあるスナガニやハクセンシオマネキ、トビハゼ等の干潟特有の種が生息する干潟の保全を図る。



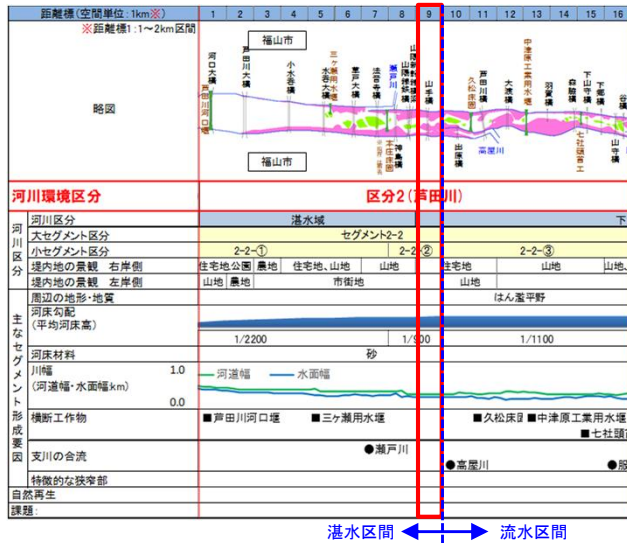
左岸側の汽水域



右岸側の干潟



- 河川環境区分(セグメント形成要因)



| 距離値(空間単位:1km) |         | 1             | 2  | 3  | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |   |
|---------------|---------|---------------|----|----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 典型性           | 陸域      | 1. 低・中草地      | △  | △  | △  | △ | △ | △ | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               | 水域      | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | △  | △  |    |   |   | △ | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               |         | 3. 自然裸地       |    |    |    |   |   |   | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               |         | 4. 外来植物生育地    |    |    | ×  | × | × |   | × | × | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | × |
|               | 水際域     | 5. 水生植物帯      | △  | △  | △  | △ | △ | △ | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               |         | 6. 水際の自然渚     | △  | △  | △  | △ | △ | △ | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               |         | 7. 水際の植被さ     | △  | △  | △  | △ | △ | △ | △ | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               | 水域      | 8. 連続する渚      | -  | -  | -  | - | - | - | - | - | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | - |
|               |         | 9. ワンド・車まり    |    |    |    |   |   |   |   | △ | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △ |
|               |         | 10. 渚水域       |    |    | ×  | × | × | × | × | × | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | × |
| 11. 干潟        |         |               |    | ×  | ×  | × | × | × | × | × | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  |   |
| 水             | 12. ヨシ原 |               |    |    |    |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               | 13. ヨシ原 |               |    |    |    |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |   |
| 特殊性           | 徳河原の楠生原 | -             | -  | -  | -  | - | - | - | - | - | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |   |
|               | 湧水地     | -             | -  | -  | -  | - | - | - | - | - | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |   |
|               | 海浜植生帯   | -             | -  | -  | -  | - | - | - | - | - | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |   |
|               | 塩沼地     | -             | -  | -  | -  | - | - | - | - | - | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |   |
| 生息地の多様性の評価値   |         | -1            | -1 | -1 | -2 | 0 | 3 | 2 | 3 | 4 | 5  | 3  | 2  | 3  | 3  | 3  | 5  |   |



ヤリタナゴ



ナゴヤサナエ

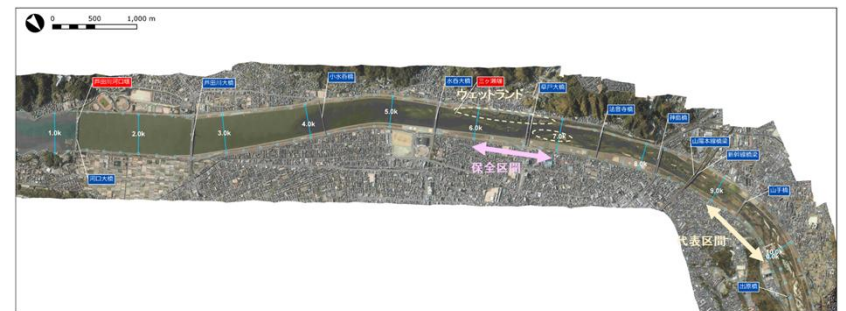
| 距離標(空間単位:1km) |                                      | 1                                                                                         | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 大セグメント区分      |                                      | セグメント2                                                                                    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
| 河川環境区分        |                                      | 区分2                                                                                       |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
| 典型性           | 陸域                                   | 1. 低・中草草地<br>2. 河辺性の樹林・河群林<br>3. 自然裸地<br>4. 外来植物生育地<br>5. 水生植物帯<br>6. 水際の自然度<br>7. 水際の複雑さ |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | 水際域                                  | 8. 連続する渚と淵<br>9. ワンド・たまり<br>10. 渚水域<br>11. 干潟<br>12. ヨシ原                                  |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | 水域                                   |                                                                                           |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | 汽水                                   |                                                                                           |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | 水                                    |                                                                                           |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | 生態系の多様性の評価値                          |                                                                                           |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |
|               | -1 -1 -1 -2 -1 3 4 3 5 4 4 4 3 3 2 4 |                                                                                           |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |

| 距離幅(空間単位:1km)                      |               | 1                                                                                                                            | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7   | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 大セグメント区分                           |               | セグメント2                                                                                                                       |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 河川環境区分                             |               | 区分2                                                                                                                          |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 重要<br>種数                           | 魚類(R2)        |                                                                                                                              | 11 | 6  | 6  |    |    |     | 6  |    |    |    |    |    |    |    | 5  |
|                                    | 底生動物(R4)      |                                                                                                                              | 35 | 6  | 6  |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    | 3  |
|                                    | 植物(H30)       |                                                                                                                              |    |    |    |    | 1  | 1   |    |    |    |    |    |    |    |    | 3  |
|                                    | 鳥類(H31)       |                                                                                                                              | 3  | 1  | 1  |    |    | 1   | 3  | 1  | 4  |    | 1  | 1  | 2  |    |    |
|                                    | 両・爬・両(H27)    |                                                                                                                              |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    | 1  |
|                                    | 陸上昆虫類(R3)     |                                                                                                                              |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    | 6  |
|                                    | 重要種全体合計       |                                                                                                                              |    |    |    |    |    | 7   |    |    | 22 | 5  | 1  | 1  | 1  | 2  | 4  |
| 特徴<br>種数<br>を<br>持つ<br>生<br>息<br>場 | ニホンウナギ        | 2                                                                                                                            | 2  | 2  | 0  | 0  | 2  | 1   | 22 | 2  | 5  | 1  | 1  | 1  | 2  | 4  | 18 |
|                                    | 指標性低い<br>ヤリガサ | 49                                                                                                                           | 13 | 40 | 49 | 49 | 49 | 49  | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 |
|                                    | ワンド・たまり       | 45                                                                                                                           | 45 | 45 |    |    |    |     | 84 |    |    |    |    |    |    |    | 0  |
|                                    | カワヒガイ         | 1                                                                                                                            | 1  | 1  |    |    |    |     | 25 |    |    |    |    |    |    |    | 22 |
|                                    | ワンド・たまり       |                                                                                                                              |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|                                    | メダカ類          | 2                                                                                                                            | 2  | 2  |    |    |    |     | 34 |    |    |    |    |    |    |    | 3  |
|                                    | 水生植物帯         | △                                                                                                                            | △  | △  | △  | △  | △  | △   | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
|                                    | チュウサギ         | 0                                                                                                                            | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 8  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|                                    | 低・中葦草地        |                                                                                                                              |    |    |    |    |    |     | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
|                                    | ヒドリガモ         | 4                                                                                                                            | 42 | 0  | 0  | 0  | 0  | 374 | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  |
|                                    | 湛水域           | ×                                                                                                                            | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×   | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  |
|                                    | オオヨシキリ        | 0                                                                                                                            | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0  | 7  | 0  | 4  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  |
|                                    | 水生植物帯         | △                                                                                                                            | △  | △  | △  | △  | △  | △   | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
|                                    | 生物との関わり       | 0                                                                                                                            | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 3  | 2  | 4  | 5  | 4  | 3  | 1  | 0  | 0  |
| 生物との関わり                            |               | 注目種は河川整備計画に策定し選定。                                                                                                            |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 生物との関わり                            |               | 河川河口区画～約84haは湛水域となっており、河川整備計画において「多様な生物の生息・生育、繁殖の場となる湛水域の確保」を計画しを監視とあることから、湛水域、ワンド・たまり、繁殖地となる湛水域の確保、河川には淡水環境であるため、連続する島と生息地。 |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 生物との関わり                            |               | に関するコメント                                                                                                                     |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

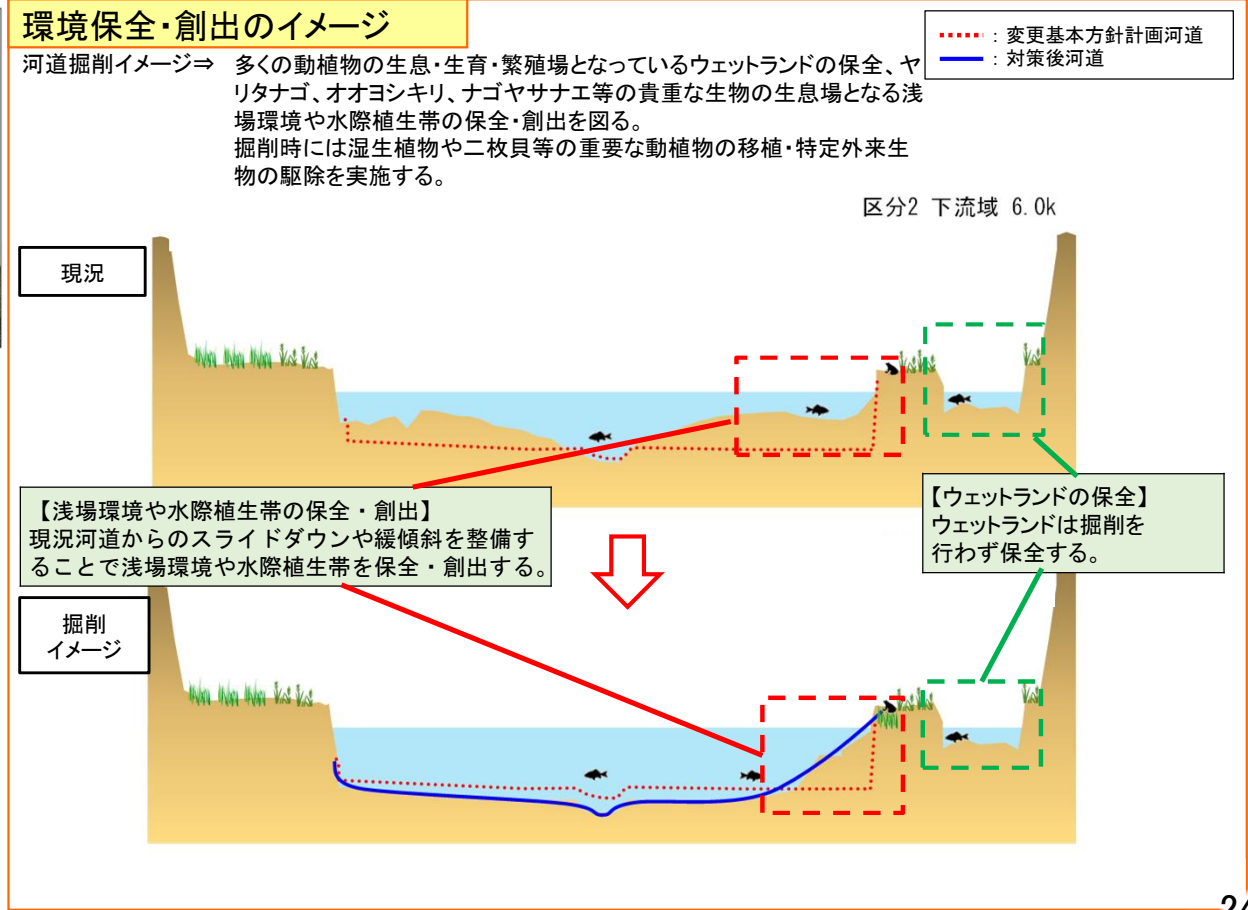
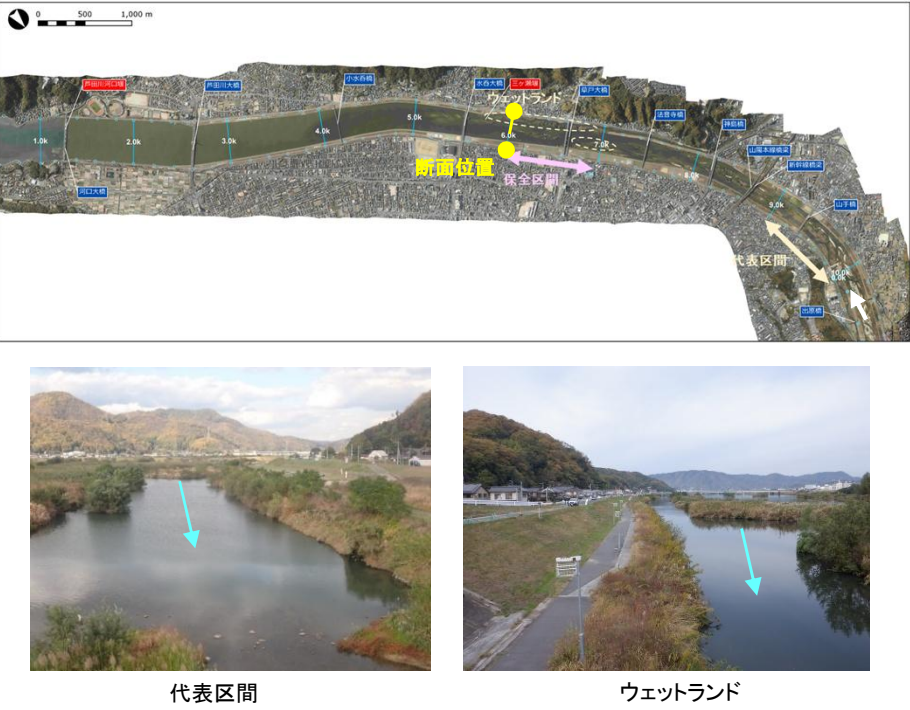
| 距離幅(空間単位:1km)                         | 1                                                                                                                                                                                                                                                                  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6 | 7 | 8 | 9  | 10 | 11   | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|---|---|---|----|----|------|----|----|----|----|----|
| 河川環境区分                                | 区分2                                                                                                                                                                                                                                                                |    |    |    |    |   |   |   |    |    |      |    |    |    |    |    |
| 生態系の多様性の評価値                           | -1                                                                                                                                                                                                                                                                 | -1 | -1 | -2 | -1 | 3 | 4 | 3 | 5  | 5  | 4    | 4  | 3  | 2  | 4  |    |
| 生物との関わりの強さの評価値                        | 0                                                                                                                                                                                                                                                                  | 0  | 0  | 0  | 2  | 2 | 3 | 2 | 4  | 5  | 4    | 3  | 1  | 0  | 0  | 2  |
| 代表区間候補の抽出                             | B B                                                                                                                                                                                                                                                                |    |    |    |    |   |   |   |    |    |      |    |    |    |    |    |
| 候補の抽出理由                               | B: 評価値の片方が1位、もう片方が2位                                                                                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |   |   |   |    |    |      |    |    |    |    |    |
| 視点域の有無<br>(画面上に存在しない場合は「無」(画面上存在、右下無) | ○                                                                                                                                                                                                                                                                  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○ | ○ | ○  | △  | ○    | △  | ○  | △  | ○  | △  |
| <b>代表区間の選定結果</b>                      |                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |    |    |    |   |   |   |    |    |      |    |    |    |    |    |
| 選定理由                                  | <p>大きな中州が存在し、中州には水生植物が成立しており、周囲にワンドが分布している。また、9位から10位の河川が、中州の両側に存在している。また、中州により良好な環境が成立しており、9位の区間の環境を評価・改善する際の目安・手本にもなり得る。</p> <p>なお、10-11についてもB評価であるが、視察場がない。一方で10-16には山手橋が存在し、眺望可能である。また、ワンドは10-11kの方が多く成立しているが、自然保護地区に成立した箇所が少ない。ワンドが継続して存在するが不適切であると考えられる。</p> |    |    |    |    |   |   |   |    |    |      |    |    |    |    |    |
|                                       | 洪水区間                                                                                                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |   |   |   | ←→ |    | 流水区間 |    |    |    |    |    |

- 山手橋(9.3k)より下流は湛水区間、上流は流水区間となっている。
- 湛水区間は瀬戸川合流点下流にはウェットランドが整備され、ヨシ等の水質浄化に寄与する植物が移植されており、カヤネズミやオオヨシキリ等が確認されている。また、ヘラサギ等の水鳥やミナミメダカ、ヤリタナゴ等の止水を好む魚類が確認されている。
- 流水区間は流れが穏やかなため、砂礫の堆積による中州や寄州が発達し、オオヨシキリ等の鳥類の生息場となっている。また、ミナミメダカやタモロコ等の純淡水魚やアユやニホンウナギ等の回遊魚が確認されている。
- 芦田川特有の重要な昆虫類として、ウェットランドや大渡橋周辺でナゴヤサナエやキイロヤマトンボが確認されている。

- （湛水区間）多くの動植物の生息・生育・繁殖場となっているウェットランドの保全、ヤリタナゴ、オオヨシキリ、ナゴヤサナエ等の多くの貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。
- （流水区間）ヤリタナゴ、オオヨシキリ、ナゴヤサナエ、キロヤマトンボ等の多くの貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生の保全・創出を図る。アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



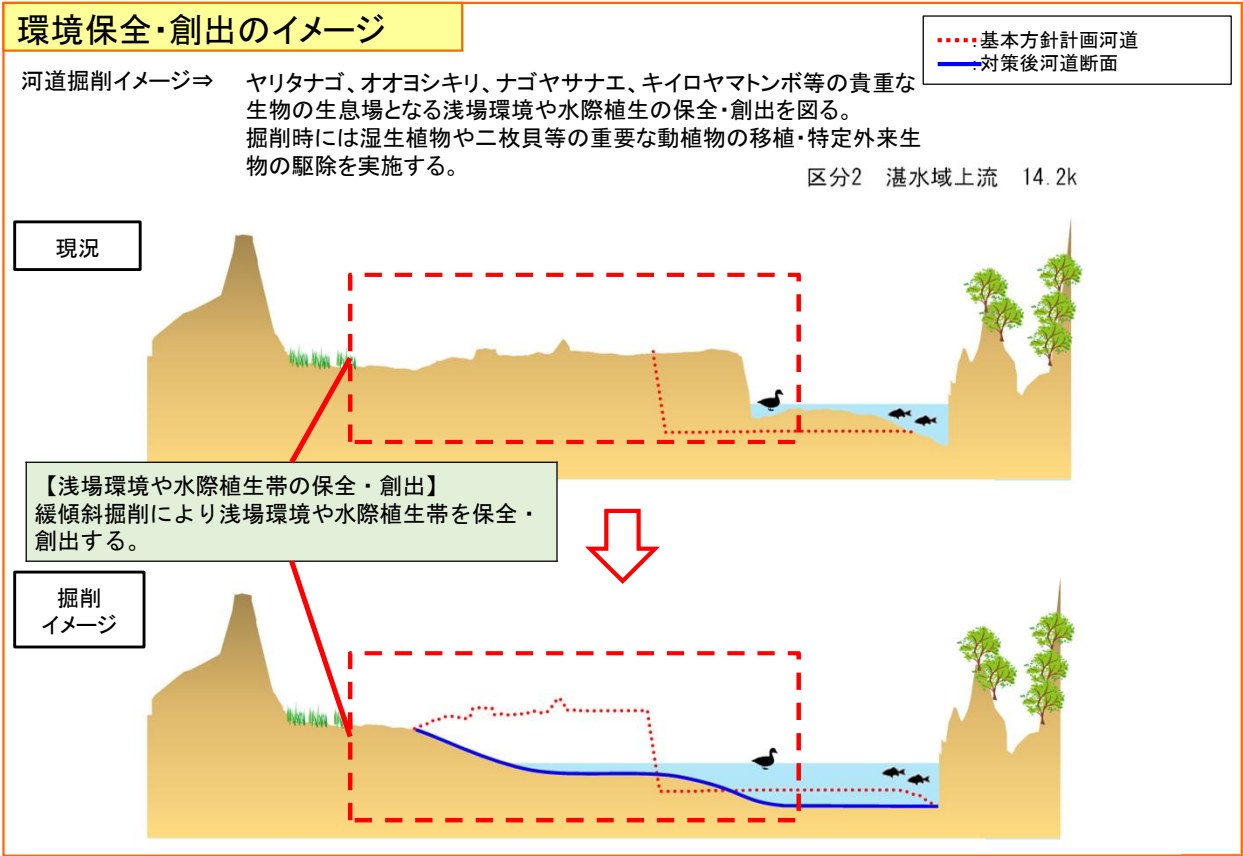
- 環境の特徴
- 5.5k付近の水呑大橋より上流から、中州が見られるようになり、瀬戸川合流点下流には、ウェットランドが整備され、ヨシ等の水質浄化に寄与する植物が移植されている。整備されたウェットランドではカヤネズミやオオヨシキリ等の高茎草本群落を繁殖場所として利用する種が確認されている。
  - 回遊魚のニホンウナギや、純淡水魚のミナメダカ、ヤリタナゴ等が確認されている。
  - ウェットランド周辺では芦田川特有の重要な昆虫類であるナゴヤサナエが確認されている。
  - 1k~4k区間は湛水区間の中でも水際植物帯が少なく単調な区間となっており、生息場の多様性の評価値が低い区間となっている。
- 環境の保全・創出
- 多くの動植物の生息・生育・繁殖場となっているウェットランドの保全を図る。
  - ヤリタナゴ、オオヨシキリ、ナゴヤサナエ等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。



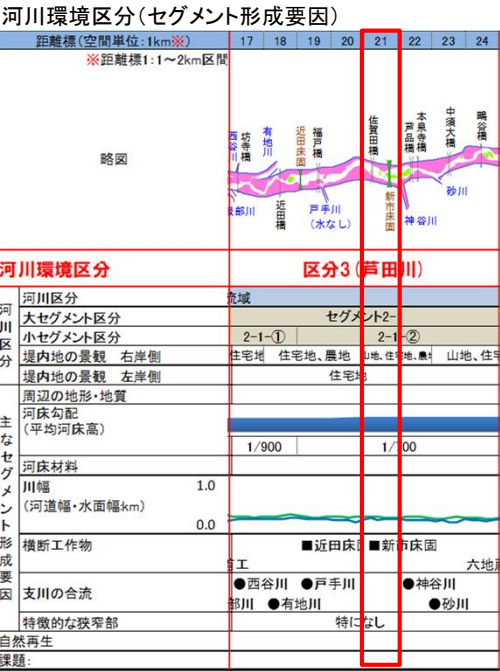
- 環境の特徴
- ・ 湛水域上流は流れが緩やかなため、砂礫の堆積による中州や寄州が発達し、滞筋は砂州を縫うように流れ、複雑な形をしている。また、中州や寄州の水際にはヨシなどの高茎草本が生育し、オオヨシキリ等の鳥類の生息場となっている。
  - ・ 回遊魚のニホンウナギや、純淡水魚のミナミメダカ、タモロコ等が確認されている。
  - ・ シナダレスズメガヤ群落やセイタカアワダチソウ群落等の外来植物群落が比較的広く生育している。
  - ・ 大渡橋周辺では芦田川特有の重要な昆虫類であるナゴヤサナエやキイロヤマトンボが確認されている。
- 環境の保全・創出
- ・ ヤリタナゴ、オオヨシキリ、ナゴヤサナエ、キイロヤマトンボ等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。
  - ・ アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



横断面付近(14.2k付近)



- 芦田川区分3(17k~24k)は中下流域であり、河床勾配が大きくなり、瀬淵が見られるようになる。
- 礫河原が発達しており、コチドリやイカルチドリ等の礫河原に特有な鳥類が確認されている。
- 水辺には自然裸地が見られるが、オギ、セイタカヨシ等の高茎草本や、ヤナギ等の樹林がパッチ状に分布し、ワンドやたまりも確認されている。水際部ではミゾウジュやカワヂシャ等の湿生植物が確認されている。



生物の生息場の分布状況 (全川の中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | 17            | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|---------------|---------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 陸域            | 1. 低・中草草地     | ○  | ○  | ○  | △  | △  | △  | △  |
| 水際域           | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水域            | 3. 自然裸地       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水際域           | 4. 外来植物生育地    | ×  | ×  | ×  | ×  | △  | △  | ×  |
| 水際域           | 5. 水生植物帯      | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水際域           | 6. 水際の自然度     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水際域           | 7. 水際の複雑さ     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水域            | 8. 連続する瀬と淵    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水域            | 9. ワンド・たまり    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水域            | 10. 湛水域       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 汽水            | 11. 干潟        | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 汽水            | 12. ヨシ原       | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 特殊性           | 礫河原の植生域       | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 特殊性           | 湛水域           | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 特殊性           | 海浜植生帯         | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 特殊性           | 塩沼湿地          | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 生息場の多様性の評価値   | 6             | 4  | 4  | 4  | 7  | 5  | 2  | 4  |

生息場の多様性の評価 (大セグメントの中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | 17            | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|---------------|---------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 大セグメント区分      | 17            | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 河川環境区分        | 17            | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 典型性           | 1. 低・中草草地     | ○  | ○  | ○  | △  | △  | △  | ○  |
| 典型性           | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | △  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 3. 自然裸地       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 4. 外来植物生育地    | ×  | ×  | ×  | ×  | △  | △  | ×  |
| 典型性           | 5. 水生植物帯      | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 6. 水際の自然度     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 7. 水際の複雑さ     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 8. 連続する瀬と淵    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 9. ワンド・たまり    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 10. 湛水域       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 典型性           | 11. 干潟        | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 典型性           | 12. ヨシ原       | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  |
| 生息場の多様性の評価値   | 4             | 1  | 2  | 5  | 4  | 5  | 3  | 3  |

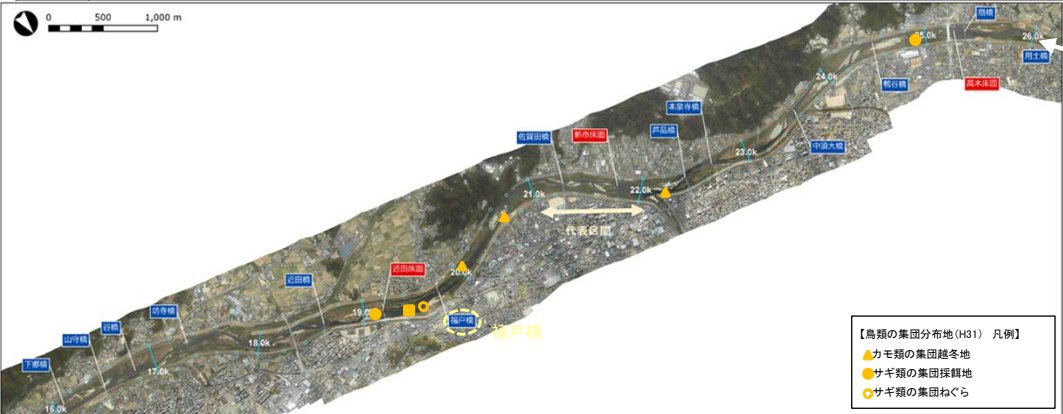
生物との関わりやすさの評価

| 距離標(空間単位:1km)      | 17                                                               | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|--------------------|------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 大セグメント区分           | 17                                                               | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 河川環境区分             | 17                                                               | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 重要種数               | 魚類(R2)                                                           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 底生動物(R4)                                                         | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 植物(H30)                                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 鳥類(H31)                                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 両・爬・嚙(H27)                                                       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 陸上昆虫類(R3)                                                        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 重要種数               | 重要種全体合計                                                          | 0  | 3  | 3  | 8  | 6  | 1  | 3  |
| 特徴づける種(注目種)の       | ニホンウナギ                                                           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 指標性低い                                                            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | ヤリタナゴ                                                            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | ワンド・たまり                                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | オイカワ                                                             | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 連続する瀬と淵                                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | アユ                                                               | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 連続する瀬と淵                                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | オオタカ                                                             | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 河辺性の樹林・河畔林                                                       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | イカルチドリ                                                           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 自然裸地                                                             | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | オオヨシキリ                                                           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 特徴づける種(注目種)の       | 水生植物帯                                                            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 生物との関わりやすさの評価値     | 2                                                                | 1  | 2  | 4  | 4  | 3  | 3  | 3  |
| 生物との関わりやすさに関するコメント | 注目種は河川整備計画案に使い選定。また、中流区間の特徴的な環境である交互に連続する瀬と淵、中洲や寄洲に成立する裸地や草地に着目。 |    |    |    |    |    |    |    |

代表区間の選定

| 距離標(空間単位:1km)             | 17                                                                                                                                                                                                                              | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 河川環境区分                    | 17                                                                                                                                                                                                                              | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 生息場の多様性の評価値               | 4                                                                                                                                                                                                                               | 1  | 2  | 5  | 4  | 5  | 3  | 3  |
| 生物との関わりやすさの評価値            | 2                                                                                                                                                                                                                               | 1  | 2  | 4  | 4  | 3  | 3  | 3  |
| 代表区間候補の抽出                 | A B B                                                                                                                                                                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |
| 候補の抽出理由                   | A: 評価値の両方が4位<br>B: 評価値の片方が4位、もう片方が2位                                                                                                                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |
| 視点場の有無                    | ○                                                                                                                                                                                                                               | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| A: 橋が存在するが眺望点として使えない(水下橋) | ○                                                                                                                                                                                                                               | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 代表区間の選定結果                 | ★                                                                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |    |    |    |
| 選定理由                      | 21~22kには、水生植物帯、安定したワンド・たまり、瀬淵が存在する等、良好な環境が存在している。一方で、20~21kについても良好な環境が存在するものの、視点場が存在しないことに加え、ワンド・たまりが不安定(R6時点で消失)などを踏まえ、代表区間としては不適と判断。また、21~22kと同じく評価値の22~23kについては、早瀬がほとんど存在しないことに加え、ワンドが排水樋門の影響で形成されたものであり他の区間の見本としては不適であると判断。 |    |    |    |    |    |    |    |

- 環境概要
- 瀬や淵が見られるようになり、オイカワやアユ、ヤリタナゴ等多様な魚類の生息場が存在する。
  - 水際部でミゾウジュやカワヂシャ等が確認されている。
  - 芦田川特有の重要な昆虫類として、福戸橋周辺でキロヤマトンボが確認されている。
  - 礫河原が発達しており、礫河原を営巣地として利用するコチドリやイカルチドリ等が確認されている。また、ダイサギ等サギ類の集団採餌地・ねぐらや、ヒドリガモ等カモ類の集団越冬地も確認されている。
- 環境保全
- ヤリタナゴやキロヤマトンボ等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。
  - コチドリやイカルチドリ等が営巣地として利用する礫河原やアユ等の生息場となる瀬淵環境を保全・創出する。
  - アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



キロヤマトンボ      ヒドリガモ      カワヂシャ

※キロヤマトンボ写真提供: 環境省 希少野生動植物種保存推進員 坂本充氏

○環境の特徴

- 河床勾配が大きくなり、瀬淵や礫河原が見られるようになる。広い河川敷には植生が発達しており、オギ、セイタカヨシ等の高茎草本やヤナギ等の樹林がパッチ状に分布し、ワンドやたまりも確認されている。
- 瀬淵やワンド・たまりでは、オイカワやアユ、ヤリタナゴ等の多くの魚類が確認されている。また、水際部ではミゾコウジュやカワヂシャ等の湿生植物が確認されている。
- 礫河原ではコチドリやイカルチドリ等の礫河原に特有な鳥類が確認されている。
- 特定外来生物であるアレチウリ群落が拡大している。
- 福戸橋周辺では芦田川特有の重要な昆虫類であるキイロヤマトンボが確認されている。

○環境の保全・創出

- ヤリタナゴやキイロヤマトンボ等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。
- コチドリやイカルチドリ等が営巣地として利用する礫河原やアユ等の生息場となる瀬淵環境の保全・創出を図る。
- アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



代表区間



横断面付近 (22.0k付近)

環境保全・創出のイメージ

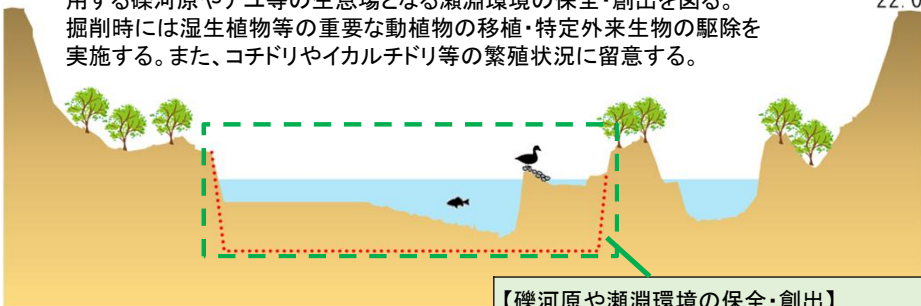
河道掘削イメージ⇒

ヤリタナゴやキイロヤマトンボ等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出、コチドリやイカルチドリ等が営巣地として利用する礫河原やアユ等の生息場となる瀬淵環境の保全・創出を図る。掘削時には湿生植物等の重要な動植物の移植・特定外来生物の駆除を実施する。また、コチドリやイカルチドリ等の繁殖状況に留意する。

.....変更基本方針計画河道  
———対策後河道

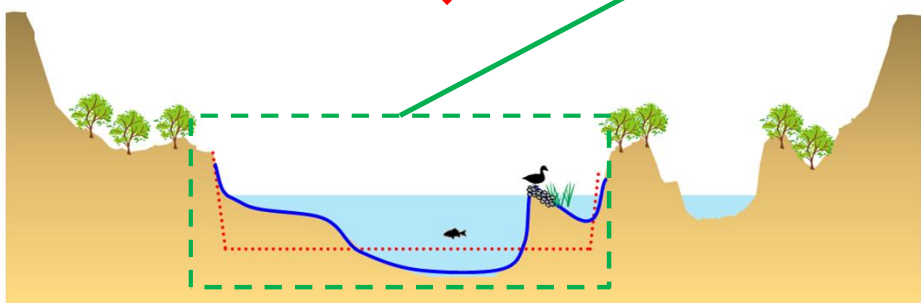
区分3 中下流域  
22.0k

現況

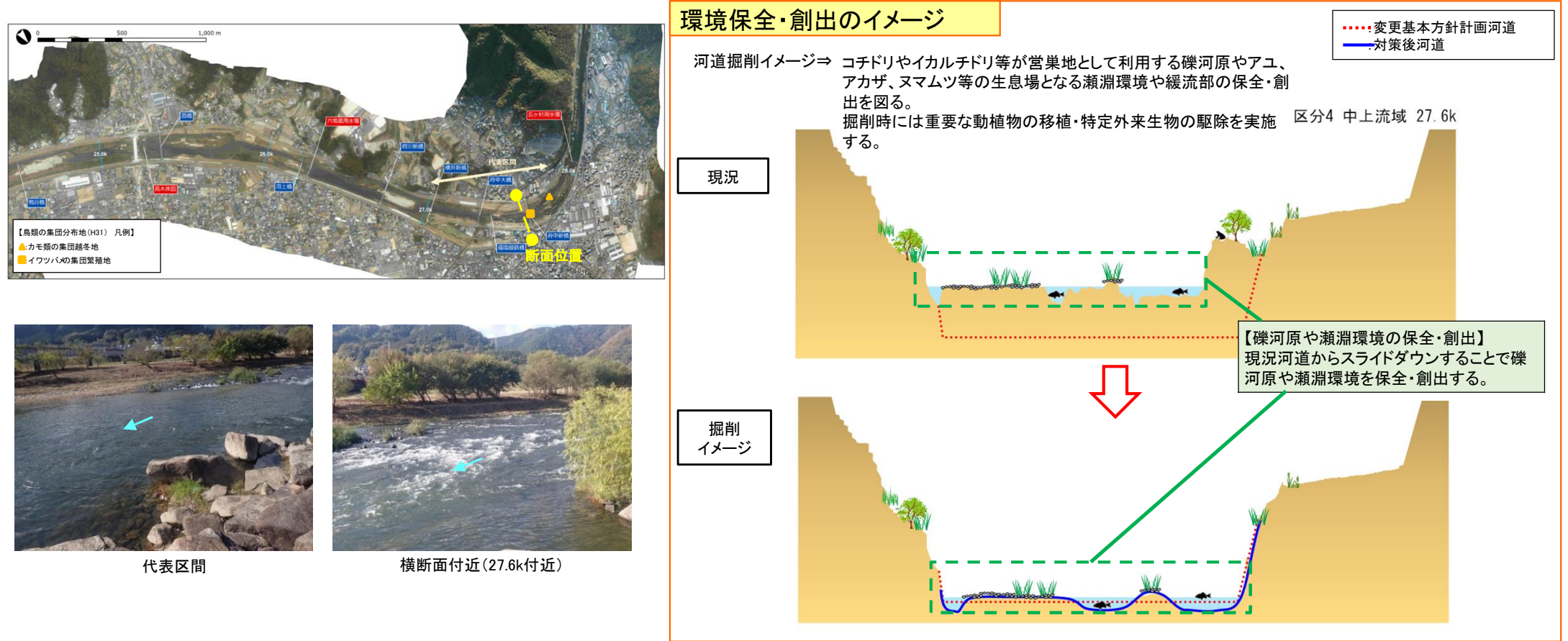


【礫河原や瀬淵環境の保全・創出】  
現況河道からスライドダウンすることで礫河原や瀬淵環境、浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。

掘削イメージ



- 環境の特徴
- ・ 礫河原や瀬淵が連続する典型的な中流河川の形態をしており、アユやアカザ等の魚類が生息している。また、流れの緩やかな場所ではカワヒガイやヌマムツが確認されている。
  - ・ 河川の中流域から上流域で多く見られるイカルチドリ等が確認されている。また、イワツバメの集団繁殖地や、ヒドリガモ等カモ類の集団越冬地も確認されている。
- 環境の保全・創出
- ・ イカルチドリ等が営巣地として利用する礫河原やアユ、アカザ、ヌマムツ等の生息場となる瀬淵環境や緩流部の保全・創出を図る。
  - ・ アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



- 芦田川区分5(29k~43k)は上流域であり、29k~31k付近は河道幅が狭まり平瀬、早瀬、淵が連続し、アユやアカザ等の魚類が生息している。河原には、ツルヨシ等の高茎草本群落、ヤナギ等の樹林、ハチク等の竹林がパッチ状に分布し、植生が多様となっている。
- 38.6k左岸で阿字川、40.4k右岸で諸田川が合流し、流れの速い早瀬と淵が連続している。河原にはツルヨシが広く分布し、ネコヤナギやサワヒメスゲ等の溪流環境を特徴づける植物が分布している。
- 上流端は八田原ダムの直下に位置し、渓谷環境となり岩盤が露出している。41k付近まで下ると、流れの速い早瀬と淵が連続している。

河川環境区分(セグメント形成要因)



生息場の多様性の評価(大セグメントの中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) |     | 29            | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |   |
|---------------|-----|---------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 大セグメント区分      |     | セグメントM        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
| 河川環境区分        |     | 区分5           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
| 典型性           | 陸域  | 1. 低・中茎草地     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               |     | 2. 河辺性の樹林・河畔林 | △  | △  | ○  | △  | ○  | △  | △  | ○  | △  | ○  |    |    | △  | ○  | △ |
|               |     | 3. 自然裸地       | △  | △  | ○  | △  | ○  | △  | △  | ○  | △  | ○  |    |    | △  | ○  | △ |
|               |     | 4. 外来植物生育地    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               | 水際域 | 5. 水生植物帯      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               |     | 6. 水際の自然度     | △  | △  | ○  | △  | ○  | △  | △  | ○  | △  | ○  |    |    | △  | ○  | △ |
|               |     | 7. 水際の複雑さ     | ○  | ○  | △  | ○  | △  | △  | △  | ○  | △  | ○  |    |    | △  | ○  | △ |
|               |     | 8. 連続する瀬と淵    | ○  | △  | △  | ○  | △  | △  | △  | ○  | △  | ○  |    |    | △  | ○  | △ |
|               | 水域  | 9. ワンド・たまり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               |     | 10. 湛水域       |    |    | ×  | ×  | ×  | ×  |    |    | ×  |    |    |    | △  | △  | △ |
|               | 汽水  | 11. 干潟        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|               |     | 12. ヨシ原       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
| 生息場の多様性の評価値   |     | 1             | 3  | 2  | 1  | 3  | 0  | 1  | 2  | 1  | 3  | 4  | 4  | 3  | 3  | 0  |   |

生物との関わりの強さの評価

| 距離標(空間単位:1km)      |    | 29         | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40   | 41 | 42 | 43 |     |     |
|--------------------|----|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|-----|-----|
| 大セグメント区分           |    | セグメントM     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 河川環境区分             |    | 区分5        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 重要種数               | 魚類 | 魚類(R2)     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 2    |    |    | 2  | 2   |     |
|                    |    | 底生動物(R4)   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 3    |    |    | 2  |     |     |
|                    |    | 植物(H30)    |    |    |    | 5  | 5  |    |    |    |    |    | 2    | 2  |    |    | 6   | 6   |
|                    |    | 鳥類(H31)    |    |    |    | 1  |    |    |    | 1  | 1  |    |      |    | 1  | 1  | 1   | 3   |
|                    |    | 両・爬・嚙(H27) |    |    |    | 4  |    |    |    |    |    |    | 6    | 6  |    |    | 3   |     |
|                    |    | 陸上昆虫類(R3)  |    |    |    | 3  | 3  |    |    |    |    |    | 1    |    |    |    | 4   | 4   |
|                    |    | 重要種全体合計    | 0  | 12 | 9  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 14   | 9  | 1  | 5  | 18  | 10  |
|                    |    | 魚類         | ## |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 個体数と依存する種・注目種・生息場の | 魚類 | オイカワ       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 45   |    |    | 93 | 93  |     |
|                    |    | 連続する瀬と淵    | △  | ○  | △  | △  | △  | ○  | △  | △  | △  | △  | ○    | ○  | ○  | △  | ○   |     |
|                    |    | カワムツ       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 1117 |    |    |    | 382 | 382 |
|                    |    | 連続する瀬と淵    | △  | ○  | △  | △  | △  | ○  | △  | △  | △  | △  | ○    | ○  | ○  | △  | ○   |     |
|                    |    | アユ         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 1    |    |    | 1  | 1   |     |
|                    |    | 連続する瀬と淵    | △  | ○  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | △  | ○   |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | 鳥類         | ## |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            | 魚類 | オンドリ       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 23 | 0  | 0    | 0  | 2  | 0  | 0   |     |
|                    |    | ワンド・たまり    | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -    | -  | -  | -  | -   |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    | ##         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
| 生物との関わり            |    | 生物との関わり    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |
|                    |    |            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |     |     |

代表区間の選定

| 距離標(空間単位:1km)  |  | 29                                                                                                                                       | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |
|----------------|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 河川環境区分         |  | 区分5                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 生息場の多様性の評価値    |  | 1                                                                                                                                        | 3  | 2  | 1  | 3  | 0  | 1  | 2  | 1  | 3  | 4  | 4  | 3  | 3  | 0  |
| 生物との関わりの強さの評価値 |  | 0                                                                                                                                        | 3  | 0  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0  | 0  | 3  | 3  | 3  | 3  | 0  | 0  |
| 代表区間候補の抽出      |  | A                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 候補の抽出理由        |  | A:評価値の両方とも1位                                                                                                                             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 視察の有無          |  | ○                                                                                                                                        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 代表区間の選定結果      |  | ★                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 選定理由           |  | A評価となった39~40kと40~41kは、河川環境の質に大きな差はないが、39~40kの右岸側は人工構造物(道路、鉄道)がほとんどなく、河川や山地の連続性が保たれている。また、河道沿いにツルヨシ群落が広く分布しており、水際の自然度が高いことから、代表区間として選定した。 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

環境概要

- 山地河川の様相となり、回遊魚のアユやニホンウナギ、純淡水魚のカワムツ、アカザ等が確認されている。43k区間は過去にオヤニラミ等が確認されていたが、現在は確認されなくなっている。
- 河原にはツルヨシが広く分布し、ネコヤナギやサワヒメスゲ等の溪流環境を特徴づける植物が分布している。

環境保全・創出

- アユやアカザ等の生息場となる瀬淵環境を保全・創出する。
- アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



アカザ

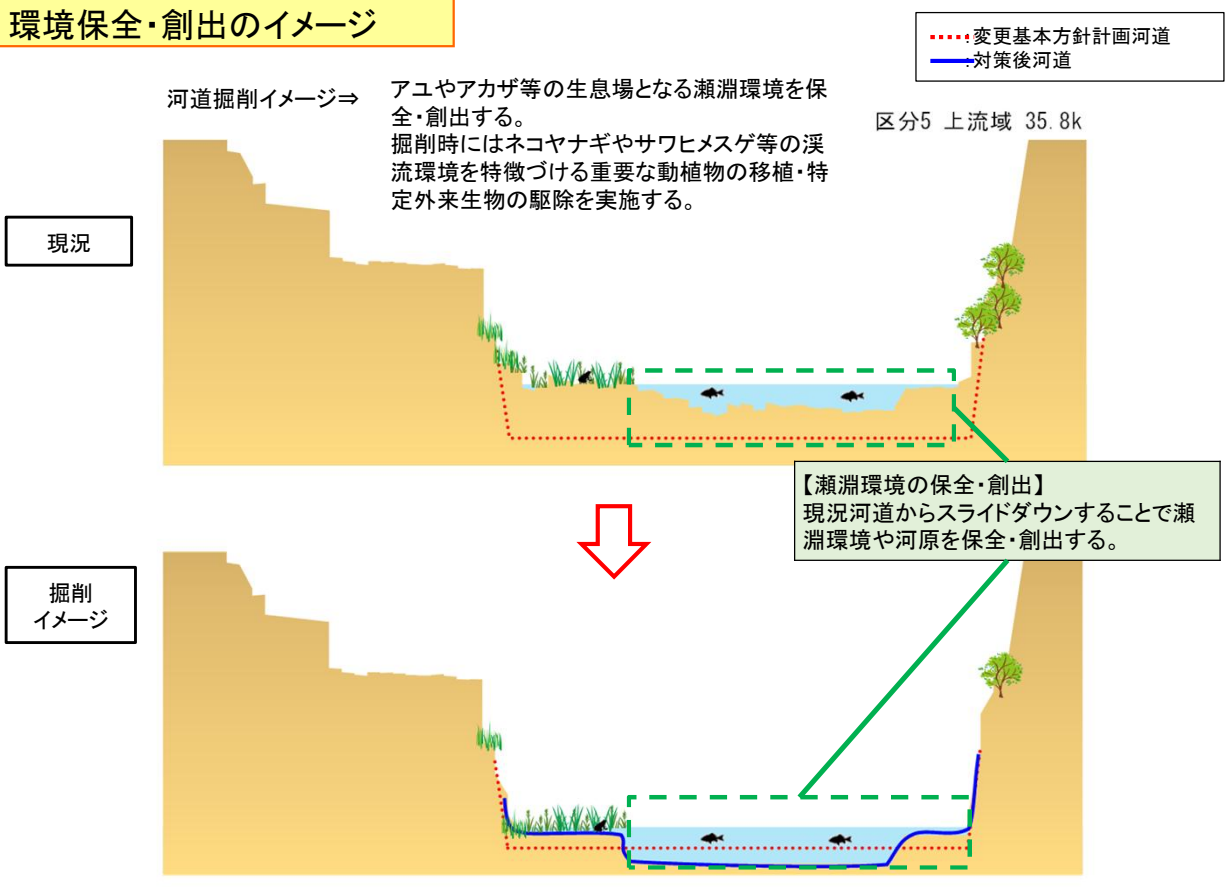
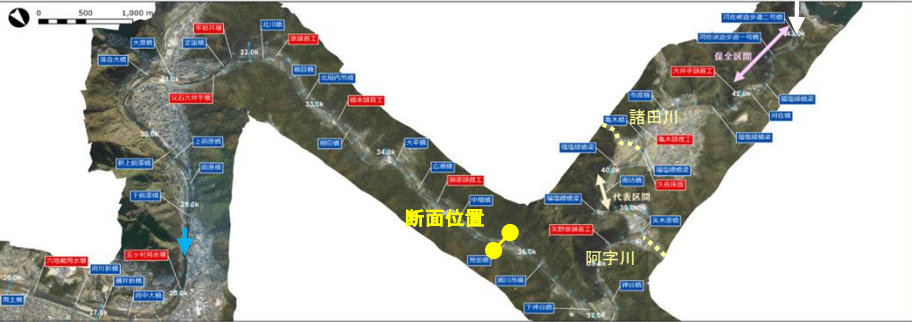


アユ

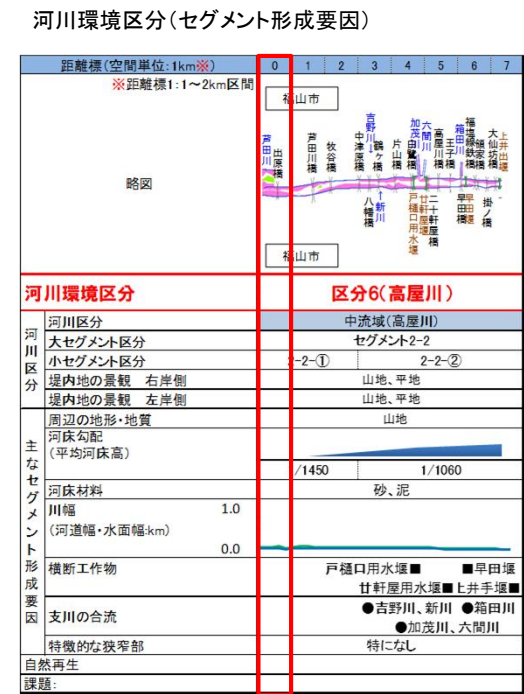


サワヒメスゲ

- 環境の特徴
- ・ 芦田川区分5(29k~43k)は上流域であり、29k~31k付近は河道幅が狭まり平瀬、早瀬、淵が連続している。河原には、ツルヨシ等の高茎草本群落、ヤナギ等の樹林、ハチク等の竹林がパッチ状に分布し、植生が多様となっている。
  - ・ 38.6k左岸で阿字川、40.4k右岸で諸田川が合流し、流れの速い早瀬と淵が連続している。河原にはツルヨシが広く分布し、ネコヤナギやサワヒメスゲ等の溪流環境を特徴づける植物が分布している。
  - ・ 山地河川の様相となり、回遊魚のアユやニホンウナギ、純淡水魚のカワムツ、アカザ等が確認されている。
  - ・ 43k区間は過去にオヤニラミ等が確認されていたが、現在は確認されていない。
- 環境の保全・創出
- ・ アカザやアユ等の生息場となる瀬淵環境を保全・創出する。
  - ・ アユ等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。



- 支川の高屋川は、全体的に浅く緩く広く流れるため、平瀬となっている区間が多いが、中州の周辺では滞筋が絞られて、流れがやや早くなっている。寄州や中州を縫うよう滞筋が蛇行しており、水際植生が広く分布し、緩流域の環境を好む水生生物の重要な生息場となっている。
- 2k~3kの右岸にはオギ群落が優占し、小型の鳥類や草地性の昆虫類等の生息場となっていると考えられる。



生物の生息場の分布状況  
(全川の中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | 0             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---------------|---------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 陸域            | 1. 低・中草地      | △ | ○ | ○ | △ |   |   | △ |
| 陸域            | 2. 河辺性の樹林・河群林 | △ | △ | △ | △ | △ | △ |   |
| 陸域            | 3. 自然裸地       | △ |   |   |   |   |   | △ |
| 陸域            | 4. 外来植物生育地    | △ | △ | △ | △ | × | △ | △ |
| 水際域           | 5. 水生植物帯      | △ | △ | ○ | △ |   |   | △ |
| 水際域           | 6. 水際の自然度     | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ |
| 水際域           | 7. 水際の複雑さ     | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | △ |
| 水域            | 8. 連続する瀬と淵    | - | - | - | - | - | - | - |
| 水域            | 9. ワンド・たまり    | △ |   |   | △ | △ | △ | △ |
| 水域            | 10. 湛水域       |   | △ |   |   |   |   |   |
| 汽水            | 11. 干潟        | - | - | - | - | - | - | - |
| 汽水            | 12. ヨシ原       | - | - | - | - | - | - | - |
| 特殊な生息場        | 機河原の植生域       | - | - | - | - | - | - | - |
| 特殊な生息場        | 湧水地           | - | - | - | - | - | - | - |
| 特殊な生息場        | 海浜植生帯         | - | - | - | - | - | - | - |
| 特殊な生息場        | 塩沼湿地          | - | - | - | - | - | - | - |
| 生息場の多様性の評価値   | 1             | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 |

生息場の多様性の評価  
(大セグメントの中央値に基づき評価)

| 距離標(空間単位:1km) | 0             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---------------|---------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 大セグメント区分      |               |   |   |   |   |   |   |   |
| 河川環境区分        |               |   |   |   |   |   |   |   |
| 典型性           | 1. 低・中草地      | △ | ○ | ○ | △ |   |   |   |
| 典型性           | 2. 河辺性の樹林・河群林 | △ | △ | △ | △ | △ | △ |   |
| 典型性           | 3. 自然裸地       | △ |   |   |   |   |   | △ |
| 典型性           | 4. 外来植物生育地    | △ | △ | △ | △ | × | △ | △ |
| 水際域           | 5. 水生植物帯      | △ | △ | ○ | △ |   |   | △ |
| 水際域           | 6. 水際の自然度     | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ |
| 水際域           | 7. 水際の複雑さ     | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | △ |
| 水域            | 8. 連続する瀬と淵    | - | - | - | - | - | - | - |
| 水域            | 9. ワンド・たまり    | △ |   |   | △ | △ | △ | △ |
| 水域            | 10. 湛水域       |   | △ |   |   |   |   |   |
| 汽水            | 11. 干潟        | - | - | - | - | - | - | - |
| 汽水            | 12. ヨシ原       | - | - | - | - | - | - | - |
| 生息場の多様性の評価値   | 3             | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 |

生物との関わりやすさの評価

| 距離標(空間単位:1km)      | 0                                                                                        | 1   | 2  | 3   | 4   | 5  | 6  | 7 |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|-----|-----|----|----|---|
| 大セグメント区分           |                                                                                          |     |    |     |     |    |    |   |
| 河川環境区分             |                                                                                          |     |    |     |     |    |    |   |
| 重要種数               | 魚類(R2)                                                                                   | 8   | 8  | 4   | 4   |    |    |   |
| 重要種数               | 産生動物(R4)                                                                                 | 9   | 9  | 6   | 6   |    |    |   |
| 重要種数               | 植物(H30)                                                                                  | 3   | 3  | 3   | 2   | 2  |    |   |
| 重要種数               | 鳥類(H31)                                                                                  | 3   | 3  | 3   | 2   | 1  |    |   |
| 重要種数               | 産・産・産(H27)                                                                               |     |    |     |     |    |    |   |
| 重要種数               | 陸上昆虫類(R3)                                                                                |     |    |     |     |    |    |   |
| 重要種数               | 重要種全体合計                                                                                  | 0   | 17 | 23  | 13  | 20 | 12 | 3 |
| 特徴づける種             | カネヒラ                                                                                     | 10  | 10 | 6   | 6   |    |    |   |
| 特徴づける種             | ワンド・たまり                                                                                  | 53  | 53 | 58  | 58  |    |    |   |
| 特徴づける種             | オイカワ                                                                                     | 19  | 19 | 21  | 21  |    |    |   |
| 特徴づける種             | 連続する瀬と淵                                                                                  | 19  | 19 | 21  | 21  |    |    |   |
| 特徴づける種             | タモロコ                                                                                     | ○   | △  | ○   | △   |    |    |   |
| 特徴づける種             | 水生植物帯                                                                                    | ○   | △  | ○   | △   |    |    |   |
| 特徴づける種             | メダカ類                                                                                     | 53  | 53 | 127 | 127 |    |    |   |
| 特徴づける種             | 水生植物帯                                                                                    | ○   | △  | ○   | △   |    |    |   |
| 特徴づける種             | ヒドリガモ                                                                                    | 126 | 68 | 33  | 0   | 16 | 79 | 6 |
| 特徴づける種             | 湛水域                                                                                      | △   | ×  | ×   | ×   |    |    |   |
| 特徴づける種             | イカルチドリ                                                                                   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  | 0 |
| 特徴づける種             | 自然裸地                                                                                     | ○   | ○  | ○   | ○   | ○  | ○  | ○ |
| 特徴づける種             | オオヨシキリ                                                                                   | 0   | 0  | 2   | 0   | 2  | 0  | 0 |
| 特徴づける種             | 水生植物帯                                                                                    | ○   | ○  | ○   | ○   | ○  | ○  | ○ |
| 生物との関わりやすさに関するコメント | 高屋川に特徴的な交互に連続する瀬と淵と、それを取り巻く自然裸地や水生植物帯に着目。また、流れの緩やかな環境に生息する魚類の重要種が多く確認されていることも着目して注目種を選定。 |     |    |     |     |    |    |   |

代表区間の選定

| 距離標(空間単位:1km)  | 0                                                                                                                            | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 河川環境区分         |                                                                                                                              |   |   |   |   |   |   |   |
| 生息場の多様性の評価値    | 3                                                                                                                            | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 生物との関わりやすさの評価値 | 5                                                                                                                            | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 代表区間候補の抽出      | A                                                                                                                            | B |   |   |   |   |   |   |
| 候補の抽出理由        | ① 価値の両方とも1位                                                                                                                  |   |   |   |   |   |   |   |
| 視点場の有無         | ○                                                                                                                            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 代表区間の選定結果      | ※                                                                                                                            |   |   |   |   |   |   |   |
| 選定理由           | 面積は小さいものの、高屋川の中でも面積・数共にワンド・たまりが最も多い。また、自然裸地の中州が存在する等、水際の複雑さが他の区間と比較しても高い。さらに、ヨシ・セイタカヨシ群落などの水生植物帯が成立していることを踏まえ、良好な環境であると判断した。 |   |   |   |   |   |   |   |

環境概要

○ 回遊魚のニホンウナギやゴクラクハゼ、純淡水魚のヤリタナゴやタモロコ等が確認されている。

○ 水際部ではタコノアシやミゾコウジュ、カワヂシャ等が確認されている。

○ 流れの緩やかな緩流区間であり、ヨシ等の高基草本に依存するオオヨシキリや湿性草地に依存するヒクイナ等の草原性の鳥類が多く確認されている。

○ 河川を利用するイソシギが確認されている。また、イワツバメの集団繁殖地やヒドリガモ等カモ類の集団越冬地も確認されている。

環境保全

○ ヤリタナゴやタモロコ、オオヨシキリ等、多くの魚類や鳥類の生息場となる浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。



タモロコ



ヤリタナゴ



タコノアシ

- 環境の特徴
- 全体的に浅く緩く広く流れるため、平瀬となっている区間が多いが、中州の周辺では滞筋が絞られて、流れがやや早くなっている。滞筋が蛇行しており、寄州や中州があることから水際植生が広く分布し、緩流域の環境を好む水生生物の重要な生息場となっていると考えられる。
  - 回遊魚のニホンウナギやゴクラクハゼ、純淡水魚のヤリタナゴやタモロコ等が確認されている。
  - 河川を利用するイソシギ等が確認されている。また、イワツバメの集団繁殖地やヒドリガモ等カモ類の集団越冬地も確認されている。
  - 特定外来生物であるアレチウリ群落が拡大しており、重要種であるミクリ群落が確認されなくなっている。
- 環境の保全・創出
- ヤリタナゴやタモロコ、オオヨシキリ等、多くの魚類や鳥類の生息場となる浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。



代表区間



横断面付近(1.4k付近)

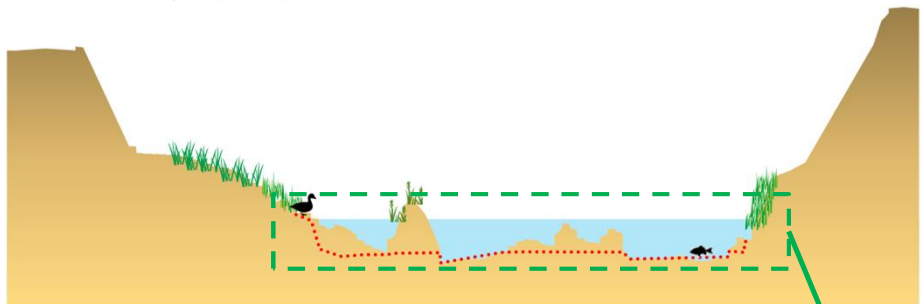
環境保全・創出のイメージ

河道掘削イメージ⇒ ヤリタナゴやタモロコ等多くの魚類や鳥類の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。掘削時には湿生植物や二枚貝等の重要な動植物の移植・特定外来生物の駆除を実施する。

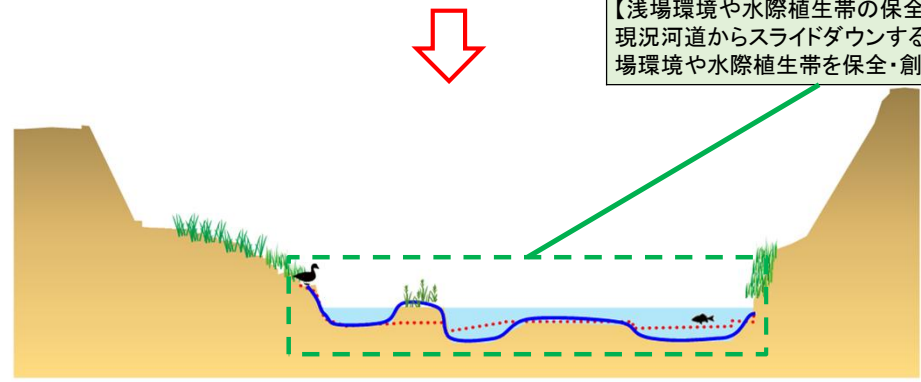
変更基本方針計画河道  
対策後河道

区分6 高屋川 1.4k

現況



掘削イメージ



【浅場環境や水際植生帯の保全・創出】  
現況河道からスライドダウンすることで浅場環境や水際植生帯を保全・創出する。

赤字: 本文掲載種の掲載箇所

| 河川名 | 本文（一部抜粋）                                                                                                                                                                                                                       | 区分            | 分類             | 種名        | 環境省<br>RL※1 | 広島県<br>RDB※2 | 根拠資料                                                  |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------|-----------|-------------|--------------|-------------------------------------------------------|
| 芦田川 | 上流域では、 <b>アユ</b> や <b>アカザ</b> 等、多くの魚類の生息場となる水際植物帯や瀬淵環境の保全・創出、 <b>アユ</b> 等の回遊魚が遡上・降下できるよう縦断連続性の確保を図る。                                                                                                                           | 上流域           | 魚類             | アカザ       | VU          | NT           | 河川水辺の国勢調査H23、H28、R3                                   |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アユ        | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23、H28、R3                        |
|     | 中流域では、 <b>ヤリタナゴ</b> や <b>キイロヤマトンボ</b> 等の貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯、 <b>コチドリ</b> や <b>イカルチドリ</b> 等が営巣地として利用する礫河原や <b>アユ</b> 、 <b>アカザ</b> 、 <b>ヌマムツ</b> 、 <b>カワムツ</b> 等の生息場となる瀬淵環境や緩流部の保全・創出、 <b>アユ</b> 等の回遊魚が遡上・降下できるよう縦断連続性の確保を図る。 | 中上流域          | 魚類             | カワムツ      | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23、H28、R3                     |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | ヌマムツ      | —           | NT           | 河川水辺の国勢調査H18、H28                                      |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アカザ       | VU          | NT           | 河川水辺の国勢調査H23、H28、R3                                   |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アユ        | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23、H28                           |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 鳥類             | イカルチドリ    | —           | NT           | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16                                   |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | コチドリ      | —           | —            | 河川水辺の国勢調査R1                                           |
|     |                                                                                                                                                                                                                                | 中下流域          | 魚類             | ヤリタナゴ     | NT          | NT           | 河川水辺の国勢調査H3                                           |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アユ        | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H8、H13                                       |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 鳥類             | イカルチドリ    | —           | NT           | 河川水辺の国勢調査H6、H16、R1                                    |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | コチドリ      | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H11、R1                                       |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 陸上昆虫類<br>・底生動物 | キイロヤマトンボ  | NT          | VU           | 河川水辺の国勢調査H3-4、H8（底生動物）<br>河川整備アドバイザー会議委員への聞き取り（R4-R6） |
|     | 下流域の流水区間では、 <b>ヤリタナゴ</b> 、 <b>タモロコ</b> 、 <b>ミナミメダカ</b> 、 <b>オオヨシキリ</b> 、 <b>ナゴヤサナエ</b> 、 <b>キイロヤマトンボ</b> 等の多くの貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生の保全・創出、 <b>アユ</b> 等の回遊魚が遡上・降下できるよう、横断工作物等の魚道改良などにより縦断連続性を確保する。                              | 下流域<br>（流水区間） | 魚類             | ヤリタナゴ     | NT          | NT           | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23                            |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | タモロコ      |             |              | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23、H28、R3                     |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アユ        | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23                               |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | ミナミメダカ    |             |              | 河川水辺の国勢調査H28、R3                                       |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 鳥類             | オオヨシキリ    | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1                            |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | ナゴヤサナエ    | VU          | VU           | 河川整備アドバイザー会議委員への聞き取り（R4-R6）                           |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 陸上昆虫類<br>・底生動物 | キイロヤマトンボ  | NT          | VU           | 河川水辺の国勢調査H24（底生動物）<br>河川整備アドバイザー会議委員への聞き取り（R4-R6）     |
|     | 下流域の湛水区間では、多くの動植物の生息・生育・繁殖場となっているウェットランドの保全、 <b>ヤリタナゴ</b> 、 <b>タモロコ</b> 、 <b>ミナミメダカ</b> 、 <b>オオヨシキリ</b> 、 <b>ナゴヤサナエ</b> 等の多くの貴重な生物の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。                                                                  | 下流域<br>（湛水区間） | 魚類             | ヤリタナゴ     | NT          | NT           | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H18、H28、R3                             |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | タモロコ      |             |              | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23、H28、R3                     |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | アユ        | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23                               |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | ミナミメダカ    |             |              | 河川水辺の国勢調査H28、R3                                       |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 鳥類             | オオヨシキリ    | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1                            |
|     | 河口では、瀬戸内海で減少傾向にある <b>スナガニ</b> や <b>ハクセンシオマネキ</b> 、 <b>トビハゼ</b> 等の干潟特有の種が生息する干潟の保全を図る。                                                                                                                                          | 河口域           | 陸上昆虫類<br>・底生動物 | ナゴヤサナエ    | VU          | VU           | 河川水辺の国勢調査H4、R2（陸上昆虫類）、<br>河川水辺の国勢調査H24、H29、R4（底生動物）   |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 魚類             | トビハゼ      | NT          | NT           | 河川水辺の国勢調査H13、H18、H23、H28、R3                           |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | ハクセンシオマネキ | VU          | NT           | 河川水辺の国勢調査H24、H29、R4                                   |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 底生動物           | スナガニ      | —           | NT           | 河川水辺の国勢調査H13、H24、H29、R4                               |
| 高屋川 | 支川高屋川では、 <b>ヤリタナゴ</b> や <b>タモロコ</b> 、 <b>オオヨシキリ</b> 等、多くの魚類や鳥類の生息場となる浅場環境や水際植生帯の保全・創出を図る。                                                                                                                                      | 支川高屋川         | 魚類             | ヤリタナゴ     | NT          | NT           | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23、H28、R3                     |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               |                | タモロコ      | —           | NT           | 河川水辺の国勢調査H3、H8、H13、H18、H23、H28、R3                     |
|     |                                                                                                                                                                                                                                |               | 鳥類             | オオヨシキリ    | —           | —            | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1                            |

河川水辺の国勢調査で確認されていない場合のみ、他の文献を記載している。  
※1 環境省RL: 環境省レッドリスト2020(令和2年3月)    VU: 絶滅危惧Ⅱ類    NT: 準絶滅危惧  
※2 広島県RDB: 広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021(令和4年3月)    VU: 絶滅危惧Ⅱ類    NT: 準絶滅危惧

表 重要種【河口部】

赤字:本文掲載種

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                                                                                                                      |
|-------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 9種   | ・シマフグ・ニホンウナギ・ヒモハゼ・チワラスボ・タビラクチ・トビハゼ・マサゴハゼ・シロチチブ・ショウキハゼ                                                                                                                                   |
| 底生動物  | 24種  | ・ウスコミミガイ・ユムシ・ニッポンマメアゲマキ・テリザクラ・クチバガイ・ウネナシトマヤガイ・オオノガイ・ミヤコドリガイ・ヒナユキスズメ・ウミニナ・フトヘナタリ・ヘナタリ・カワアイ・クリイロカワザンショウ・ツブカワザンショウ・サザナミツボ・ワカウラツボ・エドガワミズゴマツボ・シラギクガイ・イナザワハベガイ・ウチワゴカイ・ハサミシャコエビ・ハクセンシオマネキ・スナガニ |
| 植物    | 3種   | ・イトモ・トウオオバコ・ミゾコウジュ                                                                                                                                                                      |
| 鳥類    | 2種   | ・ミサゴ・ジョウビタキ                                                                                                                                                                             |
| 陸上昆虫類 | 9種   | ・コガネグモ・タベサナエ・シロヘリツチカメムシ・オオムラサキ・コシロシタバ・オオセイボウ・ヤマトアシナガバチ・モンズズメバチ・キアシハナダカバチモドキ                                                                                                             |

表 重要種【下流域(湛水区間)】

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                                                                                                |
|-------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 8種   | ・ニホンウナギ・ヤリタナゴ・カワヒガイ・タモロコ・ゼゼラ・ミナミメダカ・シマヒレヨシノボリ・ウキゴリ                                                                                                                |
| 底生動物  | 15種  | ・イボビル・ササノハガイ・イシガイ・マツカサガイ広域分布種・ミナミヌマエビ・マルタニシ・オオタニシ・モノアラガイ・カワコザラガイ・ヒラマキミズマイマイ・トウキョウヒラマキガイ・クルマヒラマキガイ・ナゴヤサナエ・カンムリセスジゲンゴロウ・キベリマメゲンゴロウ                                  |
| 植物    | 8種   | ・ミゾコウジュ・シオン・オオアカウキクサ・アカウキクサ・ミクリ・タコノアシ・カワヂシャ・ガガブタ                                                                                                                  |
| 鳥類    | 17種  | ・ゴイサギ・ササゴイ・アマサギ・チュウサギ・ヘラサギ・ヒクイナ・ケリ・イカルチドリ・ズグロカモメ・オオセグロカモメ・ミサゴ・ハイタカ・オオタカ・ノスリ・ハヤブサ・ジョウビタキ・ホオアカ                                                                      |
| 両生類   | 1種   | ・トノサマガエル                                                                                                                                                          |
| 爬虫類   | 2種   | ・ニホンスッポン・ニホントカゲ                                                                                                                                                   |
| 哺乳類   | 1種   | ・カヤネズミ                                                                                                                                                            |
| 陸上昆虫類 | 18種  | ・コガネグモ・ムスジイトトンボ・ナゴヤサナエ・シロヘリツチカメムシ・キシタアツバ・クチキゴミムシ・テラニシセスジゲンゴロウ・ルイスツブゲンゴロウ・キベリマメゲンゴロウ・ミジンダルマガムシ・コガムシ・マルエンマコガネ・ヨツボシカミキリ・オオセイボウ・モンズズメバチ・キアシハナダカバチモドキ・フクイアナバチ・キバラハキリバチ |

<重要種の出典>  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)

表 重要種【下流域(流水区間)】

赤字:本文掲載種

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                                                                               |
|-------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 11種  | ・ニホンウナギ・ヤリタナゴ・アブラボテ・ヌマムツ・カワヒガイ・タモロコ・ゼゼラ・チュウガタスジシマドジョウ・ミナミメダカ・シマヒレヨシノボリ・ウキゴリ                                                                      |
| 底生動物  | 12種  | ・マシジミ・ミナミヌマエビ・モノアラガイ・カワコザラガイ・ヒラマキミズマイマイ・クルマヒラマキガイ・コガムシ・ヨコモゾドロムシ・ミヤマサナエ・ナゴヤサナエ・キイロヤマトンボ・キベリマメゲンゴロウ                                                |
| 植物    | 7種   | ・オオアカウキクサ・アカウキクサ・ニッケイ・イトスズメガヤ・カワヂシャ・ミゾコウジュ・フジバカマ                                                                                                 |
| 鳥類    | 11種  | ・ゴイサギ・ササゴイ・アマサギ・チュウサギ・イカルチドリ・ミサゴ・ハイタカ・オオタカ・ハヤブサ・シロハラ・ジョウビタキ                                                                                      |
| 両生類   | 1種   | ・トノサマガエル                                                                                                                                         |
| 爬虫類   | 1種   | ・ニホンスッポン                                                                                                                                         |
| 陸上昆虫類 | 16種  | ・ナゴヤサナエ・キイロヤマトンボ・ゲンバイトンボ・キイロサナエ・オナガミズアオ本土亜種・キシタアツバ・スナハラゴミムシ・カンムリセシジメンゴロウ・キベリマメゲンゴロウ・コガムシ・マルエンマコガネ・オオセイボウ・ヤマトアシナガバチ・モンスズメバチ・アオスジクモバチ・キアシハナダカバチモドキ |

表 重要種【中下流域】

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                              |
|-------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 5種   | ・ヤリタナゴ・ヌマムツ・カワヒガイ・タモロコ・ミナミメダカ                                                                   |
| 底生動物  | 6種   | ・マツカサガイ広域分布種・マシジミ・ミナミヌマエビ・カワコザラガイ・ミヤマサナエ・キイロヤマトンボ                                               |
| 植物    | 11種  | ・オオアカウキクサ・ヒメミズワラビ・アギナシ・トチカガミ・タヌキマメ・イヌハギ・マメダオシ・カワヂシャ・ミゾコウジュ・ガガブタ・フジバカマ                           |
| 鳥類    | 11種  | ・ゴイサギ・ササゴイ・ヒクイナ・イカルチドリ・シロチドリ・ミサゴ・オオタカ・ノスリ・ハヤブサ・シロハラ・ジョウビタキ                                      |
| 両生類   | 1種   | ・トノサマガエル                                                                                        |
| 爬虫類   | 2種   | ・ニホンスッポン・ニホントカゲ                                                                                 |
| 陸上昆虫類 | 10種  | ・ゲンバイトンボ・シロヘリツチカメムシ・ギンモンアカヨトウ・イグチケブカゴミムシ・キベリマメゲンゴロウ・コガムシ・モンスズメバチ・キアシハナダカバチモドキ・クロマルハナバチ・キバラハキリバチ |

表 重要種【中上流域】

| 分類   | 確認種数 | 種名                                                                    |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 魚類   | 9種   | ・ニホンウナギ・ヤリタナゴ・アブラボテ・ヌマムツ・カワヒガイ・タモロコ・ドジョウ・チュウガタスジシマドジョウ・アカザ            |
| 底生動物 | 9種   | ・イボビル・マシジミ・ミナミヌマエビ・モノアラガイ・ヒラマキミズマイマイ・ヨコモゾドロムシ・ミヤマサナエ・コオイムシ・キベリマメゲンゴロウ |
| 植物   | 3種   | ・マメダオシ・カワヂシャ・ミゾコウジュ                                                   |
| 鳥類   | 8種   | ・トモエガモ・ヒクイナ・イカルチドリ・ミサゴ・オオタカ・ノスリ・シロハラ・ジョウビタキ                           |

＜重要種の出典＞  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)  
※下流域(流水区間)におけるナゴヤサナエ(底生動物、陸上昆虫類)及びキイロヤマトンボ(陸上昆虫類)の確認はアドバイザー会議での情報提供による確認。

表 重要種【上流域】

赤字:本文掲載種

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 6種   | ・ニホンウナギ・タモロコ・ドジョウ・チュウガタスジシマドジョウ・アカザ・オヤニラミ                                                                                                                                                                                    |
| 底生動物  | 10種  | ・ミドリビル・イボビル・ミナミヌマエビ・カワコザラガイ・ヒラマキミズマイマイ・トウキョウヒラマキガイ・ヒラマキガイモドキ・グンバイトンボ・タベサナエ・コオイムシ                                                                                                                                             |
| 植物    | 9種   | ・ヒメミズウラボ・マメヅタラン・サワヒメスゲ・アテツマンサク・ミズマツバ・カワヂシャ・ミゾコウジュ・スズメノハコベ・フジバカマ                                                                                                                                                              |
| 鳥類    | 12種  | ・オシドリ・ゴイサギ・ササゴイ・チュウサギ・クマタカ・ヤマセミ・ハヤブサ・シロハラ・ジョウビタキ・コサメビタキ・ミヤマホオジロ・クロジ                                                                                                                                                          |
| 両生類   | 2種   | ・アカハライモリ・トノサマガエル                                                                                                                                                                                                             |
| 爬虫類   | 3種   | ・ニホンイシガメ・ニホンスッポン・ニホントカゲ                                                                                                                                                                                                      |
| 哺乳類   | 1種   | ・カヤネズミ                                                                                                                                                                                                                       |
| 陸上昆虫類 | 26種  | ・コガネグモ・グンバイトンボ・タベサナエ・アキアカネ・カワラスズ・シロヘリツチカメムシ・ツマグロキチョウ・オナガミズアオ本土亜種・キシタアツバ・ツヤキベリアオゴミムシ・オオトクリゴミムシ・アイヌハンミョウ・クロゲンゴロウ・キベリマメゲンゴロウ・ミズスマシ・コガムシ・ガムシ・シジミガムシ・オオセイボウ・トゲアリ・ヤマトアシナガバチ・モンズズメバチ・ヤマトスナハキバチ本土亜種・キアシハナダカバチモドキ・クロマルハナバチ・マイマイツツハナバチ |

表 重要種【支川高屋川】

| 分類    | 確認種数 | 種名                                                                                                                                                       |
|-------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 魚類    | 12種  | ・ニホンウナギ・ヤリタナゴ・アブラボテ・ヌマムツ・カワヒガイ・タモロコ・ゼゼラ・ドジョウ・チュウガタスジシマドジョウ・ミナミメダカ・シマヒレヨシノボリ・ウキゴリ                                                                         |
| 底生動物  | 18種  | ・ササノハガイ・イシガイ・マツカサガイ広域分布種・マシジミ・ミナミヌマエビ・マルタニシ・コシダカヒメモノアラガイ・モノアラガイ・カワコザラガイ・ヒラマキミズマイマイ・トウキョウヒラマキガイ・クルマヒラマキガイ・スジヒラタガムシ・コガムシ・ヨコミゾドロムシ・キイロサナエ・ナゴヤサナエ・キベリマメゲンゴロウ |
| 植物    | 5種   | ・オオアカウキクサ・アカウキクサ・タコノアシ・カワヂシャ・ミゾコウジュ                                                                                                                      |
| 鳥類    | 14種  | ・ゴイサギ・ササゴイ・アマサギ・チュウサギ・ヒクイナ・ケリ・イカルチドリ・シロチドリ・オオジシギ・ミサゴ・ハイタカ・オオタカ・ジョウビタキ・ホオアカ                                                                               |
| 両生類   | 1種   | ・トノサマガエル                                                                                                                                                 |
| 爬虫類   | 1種   | ・ニホンスッポン                                                                                                                                                 |
| 哺乳類   | 2種   | ・カヤネズミ・ニホンイタチ                                                                                                                                            |
| 陸上昆虫類 | 7種   | ・コオイムシ・カンムリセスジゲンゴロウ・マルチビゲンゴロウ・コガムシ・シジミガムシ・アケボノクモバチ・キアシハナダカバチモドキ                                                                                          |

<重要種の出典>  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)

表 重要種以外の本文掲載種

| 河川名 | 区分        | 分類 | 種名     | 根拠資料                           |
|-----|-----------|----|--------|--------------------------------|
| 芦田川 | 下流域(湛水区間) | 鳥類 | オオヨシキリ | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1     |
|     | 下流域(流水区間) | 魚類 | アユ     | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23        |
|     |           | 鳥類 | オオヨシキリ | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1     |
|     | 中下流域      | 魚類 | アユ     | 河川水辺の国勢調査H8、H13                |
|     |           | 鳥類 | コチドリ   | 河川水辺の国勢調査H11、R1                |
|     | 中上流域      | 魚類 | アユ     | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23、H28    |
|     |           | 鳥類 | コチドリ   | 河川水辺の国勢調査R1                    |
|     | 上流域       | 魚類 | アユ     | 河川水辺の国勢調査H8、H13、H18、H23、H28、R3 |
| 高屋川 | 支川高屋川     | 鳥類 | オオヨシキリ | 河川水辺の国勢調査H6、H11、H16、H21、R1     |

魚類

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |    |
| 1   | シマフグ   |           |           |           |           | DD         | —    | —  |     |     | ○   |     |    |    |
| 2   | ニホンウナギ |           |           |           | EN        | NT         | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○  |    |
| 3   | ヒモハゼ   |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     | ○   | ○  |    |
| 4   | チウラスボ  |           |           |           | EN        | CR+EN      | —    | —  |     |     | ○   | ○   |    |    |
| 5   | タビラクチ  |           |           |           | VU        | CR+EN      | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○  |    |
| 6   | トビハゼ   |           |           |           | NT        | NT         | —    | —  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |    |
| 7   | マサゴハゼ  |           |           |           | VU        | NT         | —    | —  |     |     | ○   | ○   |    |    |
| 8   | シロチチブ  |           |           |           | NT        | VU         | —    | —  |     |     |     |     | ○  |    |
| 9   | ショウキハゼ |           |           |           | NT        | NT         | —    | —  |     | ○   | ○   |     | ○  |    |
| 合計  |        | 9種        | 0種        | 0種        | 0種        | 8種         | 8種   | 0種 | 0種  | 1種  | 2種  | 7種  | 6種 | 6種 |

底生動物

| No. | 種名          | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |     |     |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |             | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3,4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4  |     |
| 1   | ウスコミミガイ     |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   |     | ○   |     |
| 2   | ユムシ         |           |           |           |           | VU         | —    | —  |     |     | ○   | ○   |     |     |
| 3   | ニッポンマメアゲマキ  |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 4   | テリザクラ       |           |           |           | VU        |            | —    | —  |     |     | ○   |     | ○   |     |
| 5   | クチバガイ       |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 6   | ウネナシトマヤガイ   |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 7   | オオノガイ       |           |           |           | NT        | CR+EN      | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 8   | ミヤコドリガイ     |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 9   | ヒナユキスズメ     |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 10  | ウミニナ        |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 11  | フトヘナタリ      |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 12  | ヘナタリ        |           |           |           | NT        | VU         | —    | —  |     |     |     | ○   |     |     |
| 13  | カワアイ        |           |           |           | VU        | VU         | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 14  | クリイロカワザンショウ |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 15  | ツブカワザンショウ   |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     | ○   | ○   |     |     |
| 16  | サザナミツボ      |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 17  | ワカウラツボ      |           |           |           | VU        |            | —    | —  |     |     |     | ○   |     |     |
| 18  | エドガワミズゴマツボ  |           |           |           | NT        |            | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 19  | シラギクガイ      |           |           |           | NT        | VU         | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 20  | イナザワハベガイ    |           |           |           |           | DD         | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 21  | ウチワゴカイ      |           |           |           |           | CR+EN      | —    | —  |     |     |     |     | ○   |     |
| 22  | ハサミシャコエビ    |           |           |           |           | DD         | —    | —  |     |     |     | ○   | ○   |     |
| 23  | ハクセンシオマネキ   |           |           |           | VU        | NT         | —    | —  |     |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 24  | スナガニ        |           |           |           |           | NT         | —    | —  | ○   |     | ○   | ○   | ○   |     |
| 合計  |             | 24種       | 0種        | 0種        | 0種        | 19種        | 10種  | 0種 | 0種  | 1種  | 0種  | 10種 | 16種 | 20種 |

植物

赤字: 本文掲載種

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |            |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RDB | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | イトモ    |           |           |           | NT         | VU         | ○    |     |     |     |     |
| 2   | トウオオバコ |           |           |           |            | VU         |      | ○   |     | ○   |     |
| 3   | ミゾコウジュ |           |           |           | NT         | NT         |      |     | ○   |     |     |
| 合計  |        | 3種        | 0種        | 0種        | 0種         | 2種         | 3種   | 1種  | 1種  | 1種  | 0種  |

鳥類

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | ミサゴ    |           |           |           | NT        |            |      | ○   | ○   | ○   |    |
| 2   | ジョウビタキ |           |           |           |           | LP         |      |     | ○   |     |    |
| 合計  |        | 2種        | 0種        | 0種        | 0種        | 1種         | 1種   | 0種  | 1種  | 2種  | 1種 |

両生類・爬虫類・哺乳類：重要種の確認なし

陸上昆虫類

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |    |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|----|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9 | H15 | H22 | R2 |
| 1   | コガネグモ        |           |           |           |           | NT         |      |    | ○   |     |    |
| 2   | タベサナエ        |           |           |           | NT        |            | ○    |    |     |     |    |
| 3   | シロヘリツチカメムシ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  |     |     |    |
| 4   | オオムラサキ       |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   |    |
| 5   | コシロシタバ       |           |           |           | NT        |            |      |    | ○   |     |    |
| 6   | オオセイボウ       |           |           |           | DD        |            | ○    |    |     |     |    |
| 7   | ヤマトアシナガバチ    |           |           |           | DD        |            | ○    |    |     |     |    |
| 8   | モンズズメバチ      |           |           |           | DD        |            |      | ○  | ○   |     |    |
| 9   | キアシハナダカバチモドキ |           |           |           | VU        | NT         | ○    |    |     | ○   |    |
| 合計  |              | 9種        | 0種        | 0種        | 0種        | 8種         | 4種   | 4種 | 2種  | 3種  | 2種 |

< 凡例 >

—: 対象区間における調査は未実施

< 重要種の出典 >

「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)

「環境省RL: 環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)

EN: 絶滅危惧ⅠB類 VU: 絶滅危惧Ⅱ類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

「広島県RDB: 広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)

CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類 VU: 絶滅危惧Ⅱ類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

魚類

| No. | 種名        | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |    |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|     |           | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |    |
| 1   | ニホンウナギ    |           |           |           | EN        | NT         |      |    | ○   |     | ○   | ○   | ○  |    |
| 2   | ヤリタナゴ     |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○  |     | ○   |     | ○   | ○  |    |
| 3   | カワヒガイ     |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |    |
| 4   | タモロコ      |           |           |           |           | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |    |
| 5   | ゼゼラ       |           |           |           | VU        | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   |     |    |    |
| 6   | ミナミメダカ    |           |           |           | VU        | NT         |      |    | ○   | ○   |     | ○   | ○  |    |
| 7   | シマヒレヨシノボリ |           |           |           | NT        |            |      |    |     | ○   | ○   | ○   |    |    |
| 8   | ウキゴリ      |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     |     | ○   | ○  |    |
| 合計  |           | 8種        | 0種        | 0種        | 0種        | 6種         | 7種   | 4種 | 4種  | 5種  | 6種  | 5種  | 7種 | 6種 |

底生動物

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3,4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4 |  |
| 1   | イボビル         |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     |     | ○   |    |  |
| 2   | ササノハガイ       |           |           |           | VU        | VU         | ○    |    |     |     |     |     |    |  |
| 3   | イシガイ         |           |           |           |           | NT         | ○    |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 4   | マツカサガイ広域分布種  |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     |     |     |     |    |  |
| 5   | ミナミヌマエビ      |           |           |           |           | LP         |      | ○  | ○   | ○   | ○   |     |    |  |
| 6   | マルタニシ        |           |           |           | VU        | NT         | ○    | ○  |     |     |     |     |    |  |
| 7   | オオタニシ        |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     | ○   |    |  |
| 8   | モノアラガイ       |           |           |           | NT        | DD         |      |    |     |     |     | ○   | ○  |  |
| 9   | カワコザラガイ      |           |           |           | CR        |            |      | ○  | ○   |     |     |     |    |  |
| 10  | ヒラマキミズマイマイ   |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 11  | トウキョウヒラマキガイ  |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 12  | クルマヒラマキガイ    |           |           |           | VU        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 13  | ナゴヤサナエ       |           |           |           | VU        | VU         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 14  | カンムリセスジゲンゴロウ |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |  |
| 15  | キベリマメゲンゴロウ   |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |  |
| 合計  |              | 15種       | 0種        | 0種        | 0種        | 12種        | 10種  | 4種 | 3種  | 2種  | 1種  | 6種  | 8種 |  |

植物

| No. | 種名       | 重要種選定基準   |           |           |            |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |          | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RDB | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | ミゾコウジュ   |           |           |           | NT         | NT         |      | ○   | ○   |     |     |
| 2   | シオン      |           |           |           | VU         | DD         |      |     |     |     | ○   |
| 3   | オオアカウキクサ |           |           |           | EN         | NT         |      |     |     | ○   |     |
| 4   | アカウキクサ   |           |           |           | EN         | NT         |      | ○   |     | ○   |     |
| 5   | ミクリ      |           |           |           | NT         | NT         |      | ○   | ○   | ○   |     |
| 6   | タコノアシ    |           |           |           | NT         | VU         | ○    | ○   | ○   | ○   |     |
| 7   | カワヂシャ    |           |           |           | NT         | DD         |      | ○   |     | ○   |     |
| 8   | ガガブタ     |           |           |           | NT         | VU         |      | ○   |     |     |     |
| 合計  |          | 8種        | 0種        | 0種        | 0種         | 8種         | 8種   | 1種  | 3種  | 2種  | 5種  |

<凡例>  
—:対象区間における調査は未実施

<重要種の出典>  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)  
VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある個体群

鳥類

赤字:本文掲載種

| No. | 種名       | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |     |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|-----|
|     |          | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |     |
| 1   | ゴイサギ     |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   | ○   |     | ○  |     |
| 2   | ササゴイ     |           |           |           |           | NT         | ○    | ○   | ○   |     | ○  |     |
| 3   | アマサギ     |           |           |           |           | DD         | ○    |     | ○   |     |    |     |
| 4   | チュウサギ    |           |           |           | NT        |            | ○    |     |     |     | ○  |     |
| 5   | ヘラサギ     |           |           |           | DD        |            |      |     |     |     | ○  |     |
| 6   | ヒクイナ     |           |           |           | NT        | VU         |      |     |     | ○   |    |     |
| 7   | ケリ       |           |           |           | DD        |            |      |     |     |     | ○  |     |
| 8   | イカルチドリ   |           |           |           |           | NT         | ○    |     |     |     |    |     |
| 9   | ズグロカモメ   |           |           |           | VU        | NT         |      |     |     |     | ○  |     |
| 10  | オオセグロカモメ |           |           |           | NT        |            |      |     |     |     | ○  |     |
| 11  | ミサゴ      |           |           |           | NT        |            |      | ○   | ○   | ○   | ○  |     |
| 12  | ハイタカ     |           |           |           | NT        | LP         |      |     | ○   |     |    |     |
| 13  | オオタカ     |           |           |           | NT        | NT         |      |     | ○   |     |    |     |
| 14  | ノスリ      |           |           |           |           | LP         |      |     |     | ○   | ○  |     |
| 15  | ハヤブサ     |           | 国内        |           | VU        | NT         |      |     | ○   |     |    |     |
| 16  | ジョウビタキ   |           |           |           |           | LP         |      | ○   | ○   | ○   | ○  |     |
| 17  | ホオアカ     |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |     |
| 合計  |          | 17種       | 0種        | 1種        | 0種        | 10種        | 12種  | 5種  | 4種  | 8種  | 4種 | 11種 |

両生類・爬虫類・哺乳類

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H7   | H12 | H17 | H27 |
| 1   | トノサマガエル |           |           |           | NT        | NT         | ○    |     | ○   |     |
| 2   | ニホンスッポン |           |           |           | DD        | NT         |      |     | ○   |     |
| 3   | ニホンカゲ   |           |           |           |           | NT         |      | ○   |     |     |
| 4   | カヤネズミ   |           |           |           |           | VU         |      |     |     | ○   |
| 合計  |         | 4種        | 0種        | 0種        | 0種        | 2種         | 4種   | 1種  | 1種  | 2種  |

陸上昆虫類

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |    |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|----|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9 | H15 | H22 | R2 |
| 1   | コガネグモ        |           |           |           |           | NT         | ○    |    | ○   |     | ○  |
| 2   | ムスジイトトンボ     |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     | ○  |
| 3   | ナゴヤサナエ       |           |           |           | VU        | VU         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○  |
| 4   | シロヘリツチカメムシ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  |     |     |    |
| 5   | キシタアツバ       |           |           |           | NT        |            |      |    | ○   | ○   | ○  |
| 6   | クチキゴミムシ      |           |           |           | VU        | VU         | ○    |    |     |     |    |
| 7   | テラニシセスジゲンゴロウ |           |           |           |           | VU         |      | ○  |     |     |    |
| 8   | ルイスツブゲンゴロウ   |           |           |           | VU        |            |      | ○  |     |     |    |
| 9   | キベリマメゲンゴロウ   |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     | ○  |
| 10  | ミジンダルマガムシ    |           |           |           |           | DD         |      |    | ○   |     |    |
| 11  | コガムシ         |           |           |           | DD        |            | ○    | ○  |     |     | ○  |
| 12  | マルエンマコガネ     |           |           |           |           | NT         | ○    |    |     |     |    |
| 13  | ヨツボシカミキリ     |           |           |           | EN        |            | ○    |    |     |     |    |
| 14  | オオセイボウ       |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○  |
| 15  | モンスズメバチ      |           |           |           | DD        |            |      |    |     | ○   |    |
| 16  | キアシハナダカバチモドキ |           |           |           | VU        | NT         |      | ○  |     | ○   | ○  |
| 17  | フクイアナバチ      |           |           |           | NT        | NT         |      |    | ○   |     |    |
| 18  | キバラハキリバチ     |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   |    |
| 合計  |              | 18種       | 0種        | 0種        | 0種        | 13種        | 12種  | 6種 | 6種  | 5種  | 8種 |

魚類

| No. | 種名            | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |               | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |  |
| 1   | ニホンウナギ        |           |           |           | EN        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 2   | ヤリタナゴ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   |     |    |  |
| 3   | アブラボテ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     |     | ○   | ○   |    |  |
| 4   | ヌマムツ          |           |           |           |           | NT         |      | ○  | ○   |     |     |     |    |  |
| 5   | カワヒガイ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 6   | タモロコ          |           |           |           |           | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 7   | ゼゼラ           |           |           |           | VU        | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   |     |     |    |  |
| 8   | チュウガタスジシマドジョウ |           |           |           | VU        | NT         |      |    | ○   |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 9   | ミナミメダカ        |           |           |           | VU        | NT         |      |    | ○   | ○   |     | ○   | ○  |  |
| 10  | シマヒレヨシノボリ     |           |           |           | NT        |            |      |    |     | ○   |     |     |    |  |
| 11  | ウキゴリ          |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     | ○   |     |    |  |
| 合計  |               | 11種       | 0種        | 0種        | 0種        | 8種         | 10種  | 5種 | 4種  | 7種  | 6種  | 7種  | 5種 |  |

底生動物

| No. | 種名         | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |           |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|-----------|
|     |            | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3.4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4 | R4<br>~R6 |
| 1   | マシジミ       |           |           |           | VU        |            | ○    | ○  | ○   |     |     |     |    | —         |
| 2   | ミナミヌマエビ    |           |           |           |           | LP         |      | ○  | ○   | ○   | ○   |     |    | —         |
| 3   | モノアラガイ     |           |           |           | NT        | DD         |      |    |     |     |     | ○   | ○  | —         |
| 4   | カワコザラガイ    |           |           |           | CR        |            |      | ○  | ○   |     |     |     |    | —         |
| 5   | ヒラマキミズマイマイ |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   |    | —         |
| 6   | クルマヒラマキガイ  |           |           |           | VU        |            |      |    |     |     |     | ○   |    | —         |
| 7   | コガムシ       |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     |     | ○   |    | —         |
| 8   | ヨコミズドロムシ   |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     |     | ○   | ○  | —         |
| 9   | ミヤマサナエ     |           |           |           |           | VU         |      | ○  |     |     |     |     |    | —         |
| 10  | ナゴヤサナエ     |           |           |           | VU        | VU         |      |    |     |     |     |     |    | ○         |
| 11  | キイロヤマトンボ   |           |           |           | NT        | VU         |      |    |     |     | ○   |     |    | ○         |
| 12  | キベリマメゲンゴロウ |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  | —         |
| 合計  |            | 12種       | 0種        | 0種        | 0種        | 10種        | 7種   | 1種 | 4種  | 3種  | 1種  | 4種  | 6種 | 3種        |

※令和4年～令和6年はアドバイザー会議での情報提供による確認。  
それ以外の確認状況は河川水辺の国勢調査に基づく。

植物

| No. | 種名       | 重要種選定基準   |           |           |            |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |          | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RDB | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | オオアカウキクサ |           |           |           | EN         | NT         |      |     |     | ○   | ○   |
| 2   | アカウキクサ   |           |           |           | EN         | NT         |      |     |     | ○   | ○   |
| 3   | ニッケイ     |           |           |           | NT         |            |      |     |     |     | ○   |
| 4   | イトスズメガヤ  |           |           |           |            | NT         |      |     | ○   |     |     |
| 5   | カワヂシャ    |           |           |           | NT         | DD         |      |     | ○   | ○   | ○   |
| 6   | ミゾコウジュ   |           |           |           | NT         | NT         |      | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 7   | フジバカマ    |           |           |           | NT         | CR+EN      |      | ○   | ○   |     |     |
| 合計  |          | 7種        | 0種        | 0種        | 0種         | 6種         | 0種   | 2種  | 5種  | 4種  | 4種  |

<凡例>

—:対象区間における調査は未実施

<重要種の出典>

「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)

「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)

CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足

「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)

CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある個体群

鳥類

赤字:本文掲載種

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | ゴイサギ   |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     | ○   |    |
| 2   | ササゴイ   |           |           |           |           | NT         |      | ○   |     |     |    |
| 3   | アマサギ   |           |           |           |           | DD         |      | ○   |     | ○   |    |
| 4   | チュウサギ  |           |           |           | NT        |            |      |     |     | ○   |    |
| 5   | イカルチドリ |           |           |           |           | NT         | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 6   | ミサゴ    |           |           |           | NT        |            | ○    |     | ○   | ○   | ○  |
| 7   | ハイタカ   |           |           |           | NT        | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 8   | オオタカ   |           |           |           | NT        | NT         | ○    |     |     |     |    |
| 9   | ハヤブサ   |           | 国内        |           | VU        | NT         |      | ○   | ○   |     |    |
| 10  | シロハラ   |           |           |           |           | LP         | ○    |     |     | ○   |    |
| 11  | ジョウビタキ |           |           |           |           | LP         | ○    |     | ○   | ○   |    |
| 合計  |        | 11種       | 0種        | 1種        | 0種        | 5種         | 9種   | 6種  | 5種  | 4種  | 7種 |

両生類・爬虫類

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H7   | H12 | H17 | H27 |
| 1   | トノサマガエル |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○   | ○   |     |
| 2   | ニホンスッポン |           |           |           | DD        | NT         |      |     |     | ○   |
| 合計  |         | 2種        | 0種        | 0種        | 0種        | 2種         | 2種   | 1種  | 1種  | 1種  |

哺乳類:重要種の確認無し

陸上昆虫類

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |    |           |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|----|-----------|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9 | H15 | H22 | R2 | R4<br>~R6 |
| 1   | ナゴヤサナエ       |           |           |           | VU        | VU         |      |    |     |     |    | ○         |
| 2   | キイロヤマトンボ     |           |           |           | NT        | VU         |      |    |     |     |    | ○         |
| 3   | グンバイトンボ      |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     |     |    | —         |
| 4   | キイロサナエ       |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   |    | —         |
| 5   | オナガミズアオ本土亜種  |           |           |           | NT        |            | ○    |    |     |     |    | —         |
| 6   | キシタアツバ       |           |           |           | NT        |            |      |    | ○   |     |    | —         |
| 7   | スナハラゴミムシ     |           |           |           | VU        |            | ○    |    |     |     |    | —         |
| 8   | カンムリセシジゲンゴロウ |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     | ○  | —         |
| 9   | キベリマメゲンゴロウ   |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   | ○  | —         |
| 10  | コガムシ         |           |           |           | DD        |            | ○    | ○  | ○   | ○   | ○  | —         |
| 11  | マルエンマコガネ     |           |           |           |           | NT         | ○    |    |     |     |    | —         |
| 12  | オオセイボウ       |           |           |           | DD        |            | ○    |    |     |     |    | —         |
| 13  | ヤマトアシナガバチ    |           |           |           | DD        |            | ○    |    |     |     |    | —         |
| 14  | モンズズメバチ      |           |           |           | DD        |            |      | ○  |     | ○   |    | —         |
| 15  | アオスジクモバチ     |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○  | —         |
| 16  | キアシハナダカバチモドキ |           |           |           | VU        | NT         |      |    | ○   | ○   | ○  | —         |
| 合計  | 16種          | 0種        | 0種        | 0種        | 14種       | 8種         | 7種   | 2種 | 3種  | 5種  | 5種 | 2種        |

※令和4年～令和6年はアドバイザー会議での情報提供による確認。  
それ以外の確認状況は河川水辺の国勢調査に基づく。

魚類

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |  |
| 1   | ヤリタナゴ  |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     | —   | —   | —   | —  |  |
| 2   | ヌマムツ   |           |           |           |           | NT         |      | ○  |     | —   | —   | —   | —  |  |
| 3   | カワヒガイ  |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  | ○   | —   | —   | —   | —  |  |
| 4   | タモロコ   |           |           |           |           | NT         | ○    | ○  | ○   | —   | —   | —   | —  |  |
| 5   | ミナミメダカ |           |           |           | VU        | NT         | ○    |    | ○   | —   | —   | —   | —  |  |
| 合計  | 5種     | 0種        | 0種        | 0種        | 3種        | 5種         | 3種   | 3種 | 3種  | 0種  | 0種  | 0種  | 0種 |  |

底生動物

| No. | 種名          | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |           |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|-----------|
|     |             | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3.4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4 | R4<br>~R6 |
| 1   | マツカサガイ広域分布種 |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     | —   | —   | —   | —  | —         |
| 2   | マシジミ        |           |           |           | VU        |            | ○    | ○  | ○   | —   | —   | —   | —  | —         |
| 3   | ミナミヌマエビ     |           |           |           |           | LP         | ○    |    | ○   | —   | —   | —   | —  | —         |
| 4   | カワコザラガイ     |           |           |           | CR        |            | ○    | ○  | ○   | —   | —   | —   | —  | —         |
| 5   | ミヤマサナエ      |           |           |           |           | VU         |      | ○  |     | —   | —   | —   | —  | —         |
| 6   | キイロヤマトンボ    |           |           |           | NT        | VU         | ○    | ○  |     | —   | —   | —   | —  | ○         |
| 合計  | 6種          | 0種        | 0種        | 0種        | 4種        | 4種         | 5種   | 4種 | 3種  | 0種  | 0種  | 0種  | 0種 | 1種        |

※令和4年～令和6年はアドバイザー会議での情報提供による確認。  
それ以外の確認状況は河川水辺の国勢調査に基づく。

植物

| No. | 種名       | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |          | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | オオアカウキクサ |           |           |           | EN        | NT         |      |     |     | ○   | ○   |
| 2   | ヒメミズウラボ  |           |           |           |           | NT         |      | ○   | ○   |     |     |
| 3   | アギナシ     |           |           |           | NT        |            |      | ○   |     |     |     |
| 4   | トチカガミ    |           |           |           | NT        | DD         |      |     | ○   |     |     |
| 5   | タヌキマメ    |           |           |           |           | NT         | ○    |     |     |     |     |
| 6   | イヌハギ     |           |           |           | NT        | VU         |      |     |     |     | ○   |
| 7   | マメダオシ    |           |           |           | EN        | VU         | ○    |     |     |     |     |
| 8   | カワヂシャ    |           |           |           | NT        | DD         |      | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 9   | ミゾコウジュ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 10  | ガガブタ     |           |           |           | NT        | VU         |      |     | ○   |     |     |
| 11  | フジバカマ    |           |           |           | NT        | CR+EN      |      | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 合計  |          | 11種       | 0種        | 0種        | 0種        | 9種         | 10種  | 2種  | 3種  | 4種  | 5種  |

<凡例>  
—:対象区間における調査は未実施

<重要種の出典>  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)  
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある個体群

鳥類

赤字:本文掲載種

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | ゴイサギ   |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     |     |    |
| 2   | ササゴイ   |           |           |           |           | NT         |      | ○   | ○   |     |    |
| 3   | ヒクイナ   |           |           |           | NT        | VU         |      |     |     |     | ○  |
| 4   | イカルチドリ |           |           |           |           | NT         | ○    |     | ○   |     | ○  |
| 5   | シロチドリ  |           |           |           | VU        | LP         |      | ○   |     |     |    |
| 6   | ミサゴ    |           |           |           | NT        |            |      | ○   |     |     |    |
| 7   | オオタカ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   | ○   |     | ○  |
| 8   | ノスリ    |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 9   | ハヤブサ   |           | 国内        |           | VU        | NT         |      |     |     |     | ○  |
| 10  | シロハラ   |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 11  | ジョウビタキ |           |           |           |           | LP         |      | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 合計  |        | 11種       | 0種        | 1種        | 0種        | 5種         | 10種  | 2種  | 6種  | 4種  | 1種 |

両生類・爬虫類

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H7   | H12 | H17 | H27 |
| 1   | トノサマガエル |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   |     | —   |
| 2   | ニホンスッポン |           |           |           | DD        | NT         |      | ○   | ○   | —   |
| 3   | ニホントカゲ  |           |           |           |           | NT         |      |     | ○   | —   |
| 合計  |         | 3種        | 0種        | 0種        | 0種        | 2種         | 3種   | 0種  | 2種  | 0種  |

哺乳類:重要種の確認なし

陸上昆虫類

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |    |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|----|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9 | H15 | H22 | R2 |
| 1   | ゲンバイトンボ      |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  |     | —   | —  |
| 2   | シロヘリツチカメムシ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  |     | —   | —  |
| 3   | ギンモンアカトウ     |           |           |           | VU        |            | ○    |    |     | —   | —  |
| 4   | イグチケブカゴミムシ   |           |           |           | NT        |            | ○    |    |     | —   | —  |
| 5   | キベリマメゲンゴロウ   |           |           |           | NT        | NT         |      | ○  |     | —   | —  |
| 6   | コガムシ         |           |           |           | DD        |            | ○    | ○  |     | —   | —  |
| 7   | モンスズメバチ      |           |           |           | DD        |            |      | ○  |     | —   | —  |
| 8   | キアシハナダカバチモドキ |           |           |           | VU        | NT         | ○    |    | ○   | —   | —  |
| 9   | クロマルハナバチ     |           |           |           | NT        |            |      |    | ○   | —   | —  |
| 10  | キバラハキリバチ     |           |           |           | NT        | NT         |      |    | ○   | —   | —  |
| 合計  |              | 10種       | 0種        | 0種        | 0種        | 10種        | 5種   | 4種 | 5種  | 3種  | 0種 |

魚類

| No. | 種名            | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |               | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |  |
| 1   | ニホンウナギ        |           |           |           | EN        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 2   | ヤリタナゴ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     |     |     |     |    |  |
| 3   | アブラボテ         |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   |    |  |
| 4   | ヌマムツ          |           |           |           |           | NT         |      |    |     | ○   |     | ○   |    |  |
| 5   | カワヒガイ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○  |     |     | ○   | ○   |    |  |
| 6   | タモロコ          |           |           |           |           | NT         |      |    |     | ○   | ○   | ○   |    |  |
| 7   | ドジョウ          |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     | ○   |    |  |
| 8   | チュウガタスジシマドジョウ |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     | ○   |     |     |    |  |
| 9   | アカザ           |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 合計  | 9種            | 0種        | 0種        | 0種        | 7種        | 9種         | 2種   | 1種 | 0種  | 3種  | 5種  | 7種  | 2種 |  |

底生動物

| No. | 種名         | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |    |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|     |            | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3,4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4 |    |
| 1   | イボビル       |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     |     | ○   | ○  |    |
| 2   | マシジミ       |           |           |           | VU        |            |      | ○  | ○   |     |     |     |    |    |
| 3   | ミナミヌマエビ    |           |           |           |           | LP         |      |    |     | ○   | ○   |     |    |    |
| 4   | モノアラガイ     |           |           |           | NT        | DD         |      |    |     |     |     |     | ○  |    |
| 5   | ヒラマキミズマイマイ |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   |    |    |
| 6   | ヨコミゾドロムシ   |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     |     | ○   | ○  |    |
| 7   | ミヤマサナエ     |           |           |           |           | VU         | ○    |    |     |     |     |     |    |    |
| 8   | コオイムシ      |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |    |
| 9   | キベリマメゲンゴロウ |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     | ○   |     | ○  |    |
| 合計  |            | 9種        | 0種        | 0種        | 0種        | 7種         | 6種   | 1種 | 1種  | 1種  | 1種  | 3種  | 3種 | 5種 |

<凡例>  
一:対象区間における調査は未実施

<重要種の出典>  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足  
「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)  
VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある個体群

植物

赤字:本文掲載種

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | マメダオシ  |           |           |           | EN        | VU         | ○    |     |     | —   | —   |
| 2   | カワヂシャ  |           |           |           | NT        | DD         |      | ○   | ○   | —   | —   |
| 3   | ミゾコウジュ |           |           |           | NT        | NT         |      |     | ○   | —   | —   |
| 合計  | 3種     | 0種        | 0種        | 0種        | 3種        | 3種         | 1種   | 1種  | 2種  | 0種  | 0種  |

鳥類

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | トモエガモ  |           |           |           | VU        |            |      |     | ○   |     |    |
| 2   | ゴイサギ   |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     |     |    |
| 3   | ササゴイ   |           |           |           |           | NT         | ○    | ○   |     |     |    |
| 4   | ヒクイナ   |           |           |           | NT        | VU         |      |     | ○   |     |    |
| 5   | イカルチドリ |           |           |           |           | NT         | ○    | ○   | ○   |     |    |
| 6   | ミサゴ    |           |           |           | NT        |            |      | ○   | ○   | ○   |    |
| 7   | オオタカ   |           |           |           | NT        | NT         |      |     |     | ○   | ○  |
| 8   | ノスリ    |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 9   | シロハラ   |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 10  | ジョウビタキ |           |           |           |           | LP         | ○    |     |     |     | ○  |
| 合計  | 10種    | 0種        | 0種        | 0種        | 4種        | 8種         | 4種   | 4種  | 4種  | 2種  | 4種 |

両生類・爬虫類・哺乳類:重要種の確認なし

陸上昆虫類:重要種の確認なし

魚類

| No. | 種名            | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |    |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
|     |               | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |    |
| 1   | ニホンウナギ        |           |           |           | EN        | NT         |      |    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |    |
| 2   | タモロコ          |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     | ○   |     | ○  |    |
| 3   | ドジョウ          |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   | ○   | ○   |    |    |
| 4   | チュウガタスジシマドジョウ |           |           |           | VU        | NT         |      | ○  |     | ○   | ○   | ○   | ○  |    |
| 5   | アカザ           |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |    |
| 6   | オヤニラミ         |           |           |           | EN        | VU         | ○    |    |     |     |     |     |    |    |
| 合計  |               | 6種        | 0種        | 0種        | 0種        | 5種         | 6種   | 1種 | 1種  | 1種  | 3種  | 5種  | 4種 | 4種 |

底生動物

| No. | 種名          | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |             | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3.4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4 |  |
| 1   | ミドリビル       |           |           |           | DD        |            |      |    |     | ○   |     |     |    |  |
| 2   | イボビル        |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     |     | ○   |    |  |
| 3   | ミナミヌマエビ     |           |           |           |           | LP         |      |    |     |     | ○   |     |    |  |
| 4   | カワコザラガイ     |           |           |           | CR        |            |      |    |     | ○   | ○   |     |    |  |
| 5   | ヒラマキミズマイマイ  |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○  |  |
| 6   | トウキョウヒラマキガイ |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   |     |    |  |
| 7   | ヒラマキガイモドキ   |           |           |           | NT        |            |      |    |     |     | ○   | ○   |    |  |
| 8   | グンバイトンボ     |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     | ○   | ○  |  |
| 9   | タベサナエ       |           |           |           | NT        |            |      |    |     |     |     | ○   |    |  |
| 10  | コオイムシ       |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |  |
| 合計  |             | 10種       | 0種        | 0種        | 0種        | 9種         | 3種   | 0種 | 0種  | 0種  | 2種  | 5種  | 3種 |  |

植物

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | ヒメミズウラボ |           |           |           |           | NT         |      |     |     |     | ○   |
| 2   | マメツタラン  |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   | ○   |     |     |
| 3   | サウヒメスゲ  |           |           |           |           | NT         |      | ○   | ○   | ○   |     |
| 4   | アテツマンサク |           |           |           | NT        |            |      |     |     | ○   | ○   |
| 5   | ミズマツバ   |           |           |           | NT        | NT         |      |     |     |     | ○   |
| 6   | カワヂシャ   |           |           |           | NT        | DD         |      | ○   | ○   | ○   | ○   |
| 7   | ミソコウジュ  |           |           |           | NT        | NT         |      |     | ○   | ○   |     |
| 8   | スズメノハコベ |           |           |           | NT        | NT         |      |     |     |     | ○   |
| 9   | フジバカマ   |           |           |           | NT        | CR+EN      |      |     |     | ○   | ○   |
| 合計  |         | 9種        | 0種        | 0種        | 0種        | 7種         | 8種   | 0種  | 2種  | 2種  | 6種  |

< 凡例 >  
一: 対象区間における調査は未実施

< 重要種の出典 >  
「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)  
「環境省RL: 環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)  
CR: 絶滅危惧ⅠA類 EN: 絶滅危惧ⅠB類 VU: 絶滅危惧Ⅱ類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足  
「広島県RDB: 広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)  
CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類 VU: 絶滅危惧Ⅱ類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある個体群

鳥類

赤字: 本文掲載種

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | オシドリ    |           |           |           | DD        | LP         | ○    |     | ○   | ○   |    |
| 2   | ゴイサギ    |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     |     |    |
| 3   | ササゴイ    |           |           |           |           | NT         | ○    | ○   | ○   | ○   |    |
| 4   | チュウサギ   |           |           |           | NT        |            |      |     | ○   |     |    |
| 5   | クマタカ    |           | 国内        |           | EN        | VU         |      |     |     | ○   |    |
| 6   | ヤマセミ    |           |           |           |           | VU         |      |     |     | ○   |    |
| 7   | ハヤブサ    |           | 国内        |           | VU        | NT         |      |     |     | ○   |    |
| 8   | シロハラ    |           |           |           |           | LP         |      |     |     | ○   | ○  |
| 9   | ジョウビタキ  |           |           |           |           | LP         | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 10  | コサメビタキ  |           |           |           |           | NT         |      |     |     |     | ○  |
| 11  | ミヤマホオジロ |           |           |           |           | LP         |      | ○   |     |     | ○  |
| 12  | クロジ     |           |           |           |           | LP         | ○    |     |     |     |    |
| 合計  |         | 12種       | 0種        | 2種        | 0種        | 4種         | 11種  | 5種  | 4種  | 4種  | 7種 |

両生類・爬虫類・哺乳類

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H7   | H12 | H17 | H27 |
| 1   | アカハライモリ |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   | ○   | ○   |
| 2   | トノサマガエル |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○   | ○   | ○   |
| 3   | ニホンシガメ  |           |           |           | NT        | NT         |      |     |     | ○   |
| 4   | ニホンスッポン |           |           |           | DD        | NT         | ○    | ○   | ○   | ○   |
| 5   | ニホントカゲ  |           |           |           |           | NT         | ○    |     |     | ○   |
| 6   | カヤネズミ   |           |           |           |           | VU         | ○    |     |     |     |
| 7   | シベリアイタチ |           |           |           | EN        |            |      | ○   |     |     |
| 合計  |         | 7種        | 0種        | 0種        | 0種        | 5種         | 6種   | 4種  | 4種  | 3種  |

陸上昆虫類

| No. | 種名            | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |               | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9  | H15 | H22 | R2 |
| 1   | コガネグモ         |           |           |           |           | NT         | ○    |     | ○   |     |    |
| 2   | グンバイトンボ       |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| 3   | タベサナエ         |           |           |           | NT        |            | ○    |     |     | ○   |    |
| 4   | アキアカネ         |           |           |           |           | NT         |      |     | ○   |     | ○  |
| 5   | カワラスズ         |           |           |           |           | NT         |      |     |     |     | ○  |
| 6   | シロヘリツチカメムシ    |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   |     |     |    |
| 7   | ツマグロキチョウ      |           |           |           | EN        | NT         |      |     |     | ○   | ○  |
| 8   | オナガミズアオ本土亜種   |           |           |           | NT        |            | ○    |     |     |     |    |
| 9   | キシタアツバ        |           |           |           | NT        |            |      |     | ○   |     |    |
| 10  | ツヤキベリアオゴミムシ   |           |           |           | VU        | CR+EN      | ○    |     |     |     |    |
| 11  | オオトクリゴミムシ     |           |           |           | NT        |            |      |     |     |     | ○  |
| 12  | アイヌハニミョウ      |           |           |           | NT        |            | ○    |     |     |     |    |
| 13  | クロゲンゴロウ       |           |           |           | NT        |            |      | ○   |     |     |    |
| 14  | キベリマメゲンゴロウ    |           |           |           | NT        | NT         |      | ○   |     | ○   |    |
| 15  | ミズスマシ         |           |           |           | VU        | VU         | ○    |     |     |     |    |
| 16  | コガムシ          |           |           |           | DD        |            | ○    | ○   | ○   |     |    |
| 17  | ガムシ           |           |           |           | NT        |            |      | ○   |     | ○   | ○  |
| 18  | シジミガムシ        |           |           |           | EN        |            |      |     | ○   |     |    |
| 19  | オオセイボウ        |           |           |           | DD        |            | ○    |     |     | ○   |    |
| 20  | トゲアリ          |           |           |           | VU        |            |      | ○   |     | ○   |    |
| 21  | ヤマトアシナガバチ     |           |           |           | DD        |            | ○    |     |     |     |    |
| 22  | モンズズメバチ       |           |           |           | DD        |            |      | ○   | ○   | ○   |    |
| 23  | ヤマトスナハキバチ本土亜種 |           |           |           | DD        | NT         |      |     |     |     | ○  |
| 24  | キアシハナダカバチモドキ  |           |           |           | VU        | NT         |      |     |     | ○   | ○  |
| 25  | クロマルハナバチ      |           |           |           | NT        |            | ○    |     |     | ○   |    |
| 26  | マイマイツツハナバチ    |           |           |           | DD        |            | ○    | ○   |     |     |    |
| 合計  |               | 26種       | 0種        | 0種        | 0種        | 23種        | 11種  | 12種 | 9種  | 7種  | 8種 |

魚類

| No. | 種名            | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |    |  |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|     |               | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3   | H8 | H13 | H18 | H23 | H28 | R3 |  |
| 1   | ニホンウナギ        |           |           |           | EN        | NT         |      |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 2   | ヤリタナゴ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 3   | アブラボテ         |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |  |
| 4   | ヌマムツ          |           |           |           |           | NT         |      |    | ○   | ○   |     |     |    |  |
| 5   | カワヒガイ         |           |           |           | NT        | NT         | ○    |    |     | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 6   | タモロコ          |           |           |           |           | NT         | ○    | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 7   | ゼゼラ           |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     | ○   |     |    |  |
| 8   | ドジョウ          |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     | ○   |     |     |    |  |
| 9   | チュウガタスジシマドジョウ |           |           |           | VU        | NT         |      |    | ○   | ○   |     | ○   |    |  |
| 10  | ミナミメダカ        |           |           |           | VU        | NT         |      | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | ○  |  |
| 11  | シマヒレヨシノボリ     |           |           |           | NT        |            |      |    |     | ○   | ○   | ○   |    |  |
| 12  | ウキゴリ          |           |           |           |           | NT         |      |    |     |     |     |     | ○  |  |
| 合計  | 12種           | 0種        | 0種        | 0種        | 9種        | 11種        | 3種   | 3種 | 5種  | 9種  | 8種  | 7種  | 7種 |  |

底生動物

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |     |     |     |  |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H3.4 | H8 | H13 | H19 | H24 | H29 | R4  |  |
| 1   | ササノハガイ       |           |           |           | VU        | VU         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 2   | イシガイ         |           |           |           |           | NT         | ○    |    |     |     | ○   | ○   | ○   |  |
| 3   | マツカサガイ広域分布種  |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 4   | マシジミ         |           |           |           | VU        |            | ○    | ○  | ○   |     |     |     |     |  |
| 5   | ミナミヌマエビ      |           |           |           |           | LP         |      |    |     | ○   | ○   |     |     |  |
| 6   | マルタニシ        |           |           |           | VU        | NT         | ○    | ○  |     |     |     |     |     |  |
| 7   | コシダカヒメモノアラガイ |           |           |           | DD        |            |      | ○  |     |     |     |     |     |  |
| 8   | モノアラガイ       |           |           |           | NT        | DD         |      |    |     |     |     | ○   | ○   |  |
| 9   | カワコザラガイ      |           |           |           | CR        |            | ○    | ○  | ○   |     |     |     |     |  |
| 10  | ヒラマキミズマイマイ   |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   |     |  |
| 11  | トウキョウヒラマキガイ  |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○   |  |
| 12  | クルマヒラマキガイ    |           |           |           | VU        |            |      |    |     |     | ○   | ○   | ○   |  |
| 13  | スジヒラタガムシ     |           |           |           | NT        |            |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 14  | コガムシ         |           |           |           | DD        |            |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 15  | ヨコミゾドロムシ     |           |           |           | VU        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 16  | キイロサナエ       |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 17  | ナゴヤサナエ       |           |           |           | VU        | VU         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 18  | キベリマメゲンゴロウ   |           |           |           | NT        | NT         |      |    |     |     |     |     | ○   |  |
| 合計  | 18種          | 0種        | 0種        | 0種        | 16種       | 10種        | 4種   | 4種 | 2種  | 1種  | 5種  | 5種  | 12種 |  |

植物

| No. | 種名       | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |     |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|-----|
|     |          | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H5   | H10 | H14 | H20 | H30 |
| 1   | オオアカウキクサ |           |           |           | EN        | NT         |      |     |     |     | ○   |
| 2   | アカウキクサ   |           |           |           | EN        | NT         | ○    |     |     |     |     |
| 3   | タコノアシ    |           |           |           | NT        | VU         |      |     |     | ○   | ○   |
| 4   | カワヂシャ    |           |           |           | NT        | DD         | ○    |     | ○   | ○   | ○   |
| 5   | ミゾコウジュ   |           |           |           | NT        | NT         |      |     |     | ○   | ○   |
| 合計  |          | 5種        | 0種        | 0種        | 0種        | 5種         | 2種   | 0種  | 1種  | 3種  | 4種  |

鳥類

赤字:本文掲載種

| No. | 種名     | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |    |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|----|
|     |        | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H6   | H11 | H16 | H21 | R1 |
| 1   | ゴイサギ   |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     |     |    |
| 2   | ササゴイ   |           |           |           |           | NT         |      | ○   | ○   |     |    |
| 3   | アマサギ   |           |           |           |           | DD         | ○    | ○   |     |     |    |
| 4   | チュウサギ  |           |           |           | NT        |            |      |     | ○   |     |    |
| 5   | ヒクイナ   |           |           |           | NT        | VU         |      |     |     | ○   | ○  |
| 6   | ケリ     |           |           |           | DD        |            |      |     |     |     | ○  |
| 7   | イカルチドリ |           |           |           |           | NT         |      | ○   | ○   | ○   |    |
| 8   | シロチドリ  |           |           |           | VU        | LP         |      |     | ○   |     |    |
| 9   | オオジシギ  |           |           |           | NT        | EX         |      |     | ○   |     |    |
| 10  | ミサゴ    |           |           |           | NT        |            |      |     | ○   |     |    |
| 11  | ハイタカ   |           |           |           | NT        | LP         |      |     | ○   |     | ○  |
| 12  | オオタカ   |           |           |           | NT        | NT         |      |     | ○   |     | ○  |
| 13  | ジョウビタキ |           |           |           |           | LP         | ○    |     | ○   | ○   | ○  |
| 14  | ホオアカ   |           |           |           |           | LP         |      |     |     |     | ○  |
| 合計  |        | 14種       | 0種        | 0種        | 0種        | 8種         | 11種  | 3種  | 4種  | 9種  | 3種 |

両生類・爬虫類・哺乳類

| No. | 種名      | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-----|-----|-----|
|     |         | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H7   | H12 | H17 | H27 |
| 1   | トノサマガエル |           |           |           | NT        | NT         | ○    |     | ○   |     |
| 2   | ニホンスッポン |           |           |           | DD        | NT         |      | ○   |     |     |
| 3   | カヤネズミ   |           |           |           |           | VU         |      | ○   | ○   |     |
| 4   | ニホンイタチ  |           |           |           |           | NT         |      |     | ○   |     |
| 合計  |         | 4種        | 0種        | 0種        | 0種        | 2種         | 4種   | 1種  | 2種  | 3種  |

陸上昆虫類

| No. | 種名           | 重要種選定基準   |           |           |           |            | 確認状況 |    |     |     |    |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------|----|-----|-----|----|
|     |              | 天然<br>記念物 | 種の<br>保存法 | 広島県<br>条例 | 環境省<br>RL | 広島県<br>RDB | H4   | H9 | H15 | H22 | R2 |
| 1   | コオイムシ        |           |           |           | NT        | NT         |      | —  |     |     | ○  |
| 2   | カンムリセスジゲンゴロウ |           |           |           |           | NT         |      | —  |     |     | ○  |
| 3   | マルチビゲンゴロウ    |           |           |           | NT        |            |      | —  |     |     | ○  |
| 4   | コガムシ         |           |           |           | DD        |            |      | —  | ○   |     | ○  |
| 5   | シジミガムシ       |           |           |           | EN        |            |      | —  | ○   |     |    |
| 6   | アケボクモバチ      |           |           |           | DD        |            |      | —  |     |     | ○  |
| 7   | キアシハナダカバチモドキ |           |           |           | VU        | NT         |      | —  |     | ○   | ○  |
| 合計  |              | 7種        | 0種        | 0種        | 0種        | 6種         | 3種   | 0種 | 0種  | 2種  | 1種 |

<凡例>

—:対象区間における調査は未実施

<重要種の出典>

「河川水辺の国勢調査(芦田川)」(令和5年度まで)

「環境省RL:環境省レッドリスト2020」(令和2年3月)

EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足

「広島県RDB:広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第4版) レッドデータブックひろしま2021」(令和4年3月)

VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある個体群

- 動植物の生息地又は生育地の状況や景観等、9項目の検討により維持流量を設定し、水利流量・流入量を考慮した結果、山手地点における流水の正常な機能を維持するために必要な流量は、通年で概ね1.2m³/sとする。
- 水利流量は農業用水3.8m³/s、水道用水:2.8m³/s、工業用水:3.5m³/s 合計:10.1m³/sである。
- 山手地点の平均渇水流量は0.86m³/s、平均低水流量は2.31m³/sである。

正常流量の基準地点

基準地点は、以下の点を勘案して山手地点とする。  
①流量の管理・監視が行いやすい地点である。  
②流量の把握が可能であり、過去の水文資料が十分に備わっている。

流況

・現況流況で平均渇水流量0.86m³/s、平均低水流量2.31m³/sである。

| 流況<br>(m³/s) | 芦田川(山手地点)                              |      |      |        |
|--------------|----------------------------------------|------|------|--------|
|              | 最大値                                    | 最小値  | 平均値  | W=1/10 |
| 豊水流量         | 21.96                                  | 3.17 | 9.23 | 4.34   |
| 平水流量         | 10.10                                  | 0.67 | 4.11 | 1.70   |
| 低水流量         | 6.57                                   | 0.44 | 2.31 | 0.60   |
| 渇水流量         | 3.83                                   | 0.00 | 0.86 | 0.10   |
| 統計期間         | ・昭和41年～令和6年の59年間を対象<br>・W=1/10は第6位/59年 |      |      |        |

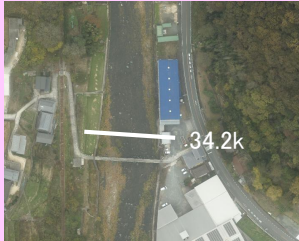
水利流量の設定

芦田川における河川水の利用は農業用水、水道用水、工業用水等多岐に渡る。  
農業用水:3.8m³/s    水道用水:2.8m³/s  
工業用水:3.5m³/s    合 計:10.1m³/s

| 維持流量の設定          |                                                        |
|------------------|--------------------------------------------------------|
| 項目               | 検討内容・決定根拠等                                             |
| ①動植物の生息地又は生育地の状況 | 代表魚種（アユ、オイカワ、ヨシノボリ類、ニゴイ）の移動・産卵に必要な流量を設定した。             |
| ②景観              | 俯角5度以内の平均的なみかけの水面幅Wとみかけの河川幅Bの比W／Bが0.2を満足するために必要な流量を設定。 |
| ③流水の清潔の保持        | 環境基準（BOD75%値）の2倍値を満足するために必要な流量を設定。                     |
| ④舟運              | 河口における舟運はあるが、航行のための水深は潮位によって維持されることから必要流量は設定しない。       |
| ⑤漁業              | 動物の生息地又は生育地と同じとする。                                     |
| ⑥塩害の防止           | 河口堰が建設されてからは、塩害事例の報告がないことから必要流量は設定しない。                 |
| ⑦河口閉塞の防止         | 過去に河口が閉塞した事例はないことから、必要流量は設定しない。                        |
| ⑧河川管理施設の保護       | 水位の維持によって保護されるべき木製構造物がことから必要流量は設定しない。                  |
| ⑨地下水位の維持         | 過去に地下水障害の事例はないことから、必要流量は設定しない。                         |

①動植物の生息地又は生育地の状況

【F区間】34.2k  
・アユ、オイカワ、ヨシノボリ類、ニゴイの移動・産卵に必要な流量を設定  
・代表魚種の移動及び産卵に必要な水深と流速を確保するために必要な流量を設定:1.27m³/s



②景観

【B区間】9.6k 山手橋上流  
・俯角5度以内の平均的なみかけの水面幅Wとみかけの河川幅Bの比W／Bが0.2を満足するために必要な流量を設定:1.20m³/s



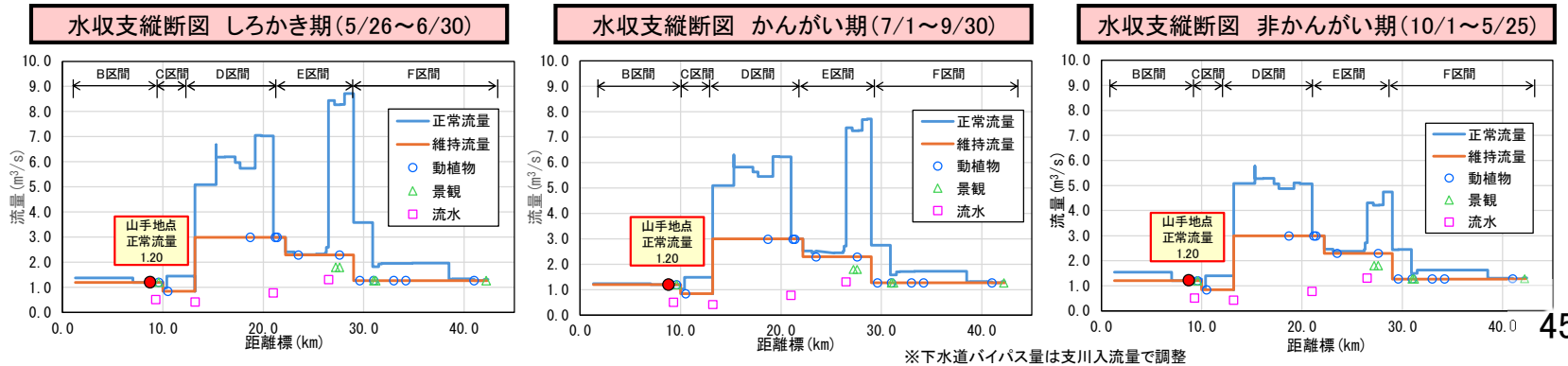
③流水の清潔の保持

【B区間】8.2k 山手橋(水質観測所)  
・流総計画での将来の流出負荷量を設定し、渇水時ににおいて環境基準の2倍値を満足するために必要な流量を設定:0.51m³/s

正常流量の設定

流水の正常な機能を維持するため必要な流量については、動植物の生息・生育及び漁業、景観、流水の清潔の保持、利水の現況を考慮して、概ね1.2m³/sとする。

| 代表地点 | 流域面積<br>(km²) | 正常流量      |
|------|---------------|-----------|
|      |               | 通年        |
| 山手   | 798.8km²      | 概ね1.2m³/s |



※下水道パイパス量は支川流入量で調整

## ⑥総合的な土砂管理

- 芦田川流域では、土砂災害警戒区域が広く分布している。
- 芦田川流域は、江戸時代より砂防事業が計画的に実施されてきたが、大正以降では、平成30年7月豪雨の際に土石流やがけ崩れが多数発生した。
- 広島県では、土砂災害危険渓流近くにある保全対象を守るため、砂防堰堤や渓流保全工等の整備等、砂防事業が進められている。



- 芦田川の流域内には以下の通り、11基のダムが存在する。
- 三川ダムは、計画堆砂量を上回る堆砂状況となっているが、その他のダムについては、計画堆砂量以下となっている。

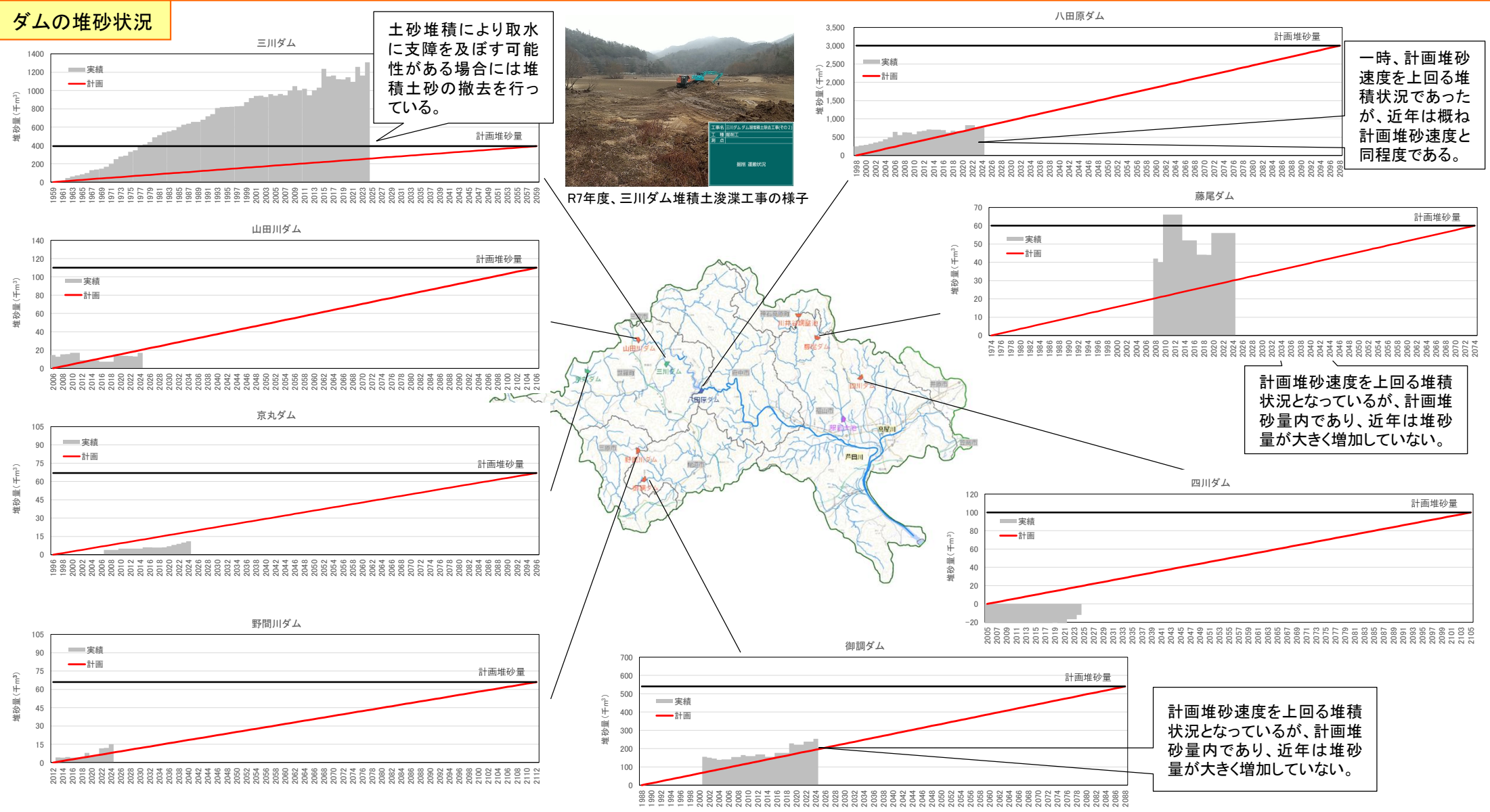
ダム位置図



流域内ダム諸元

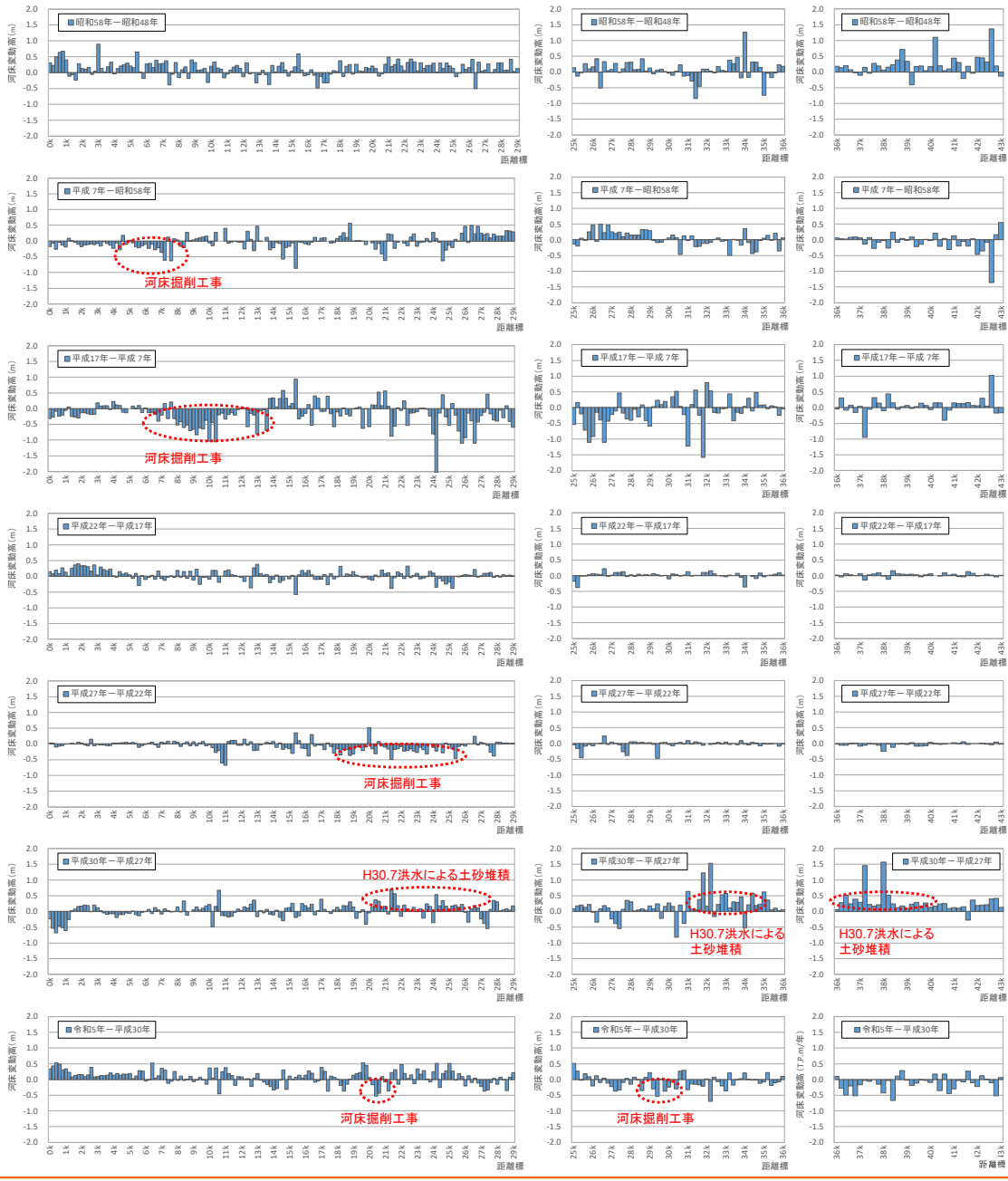
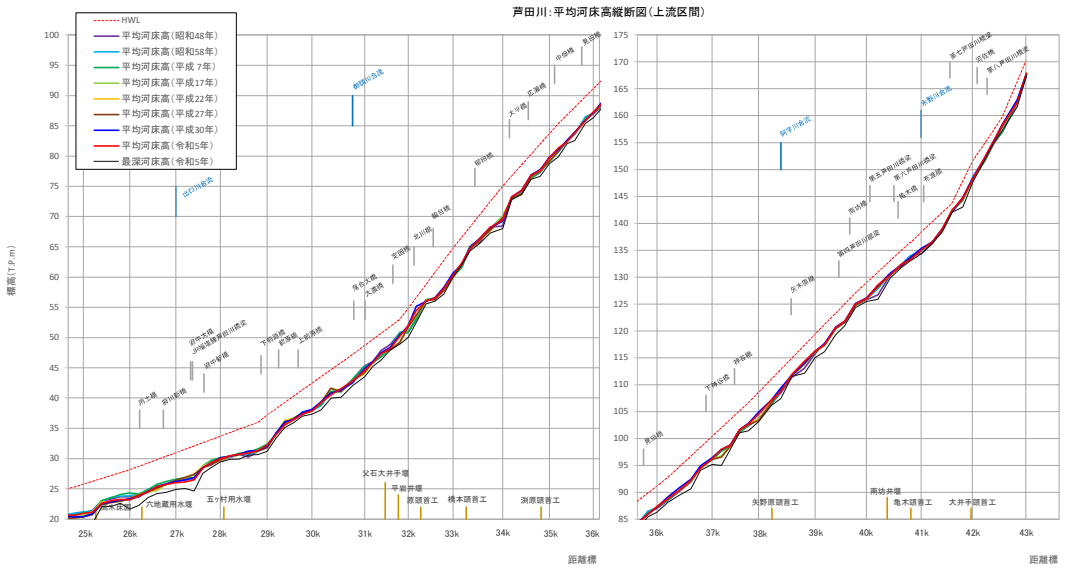
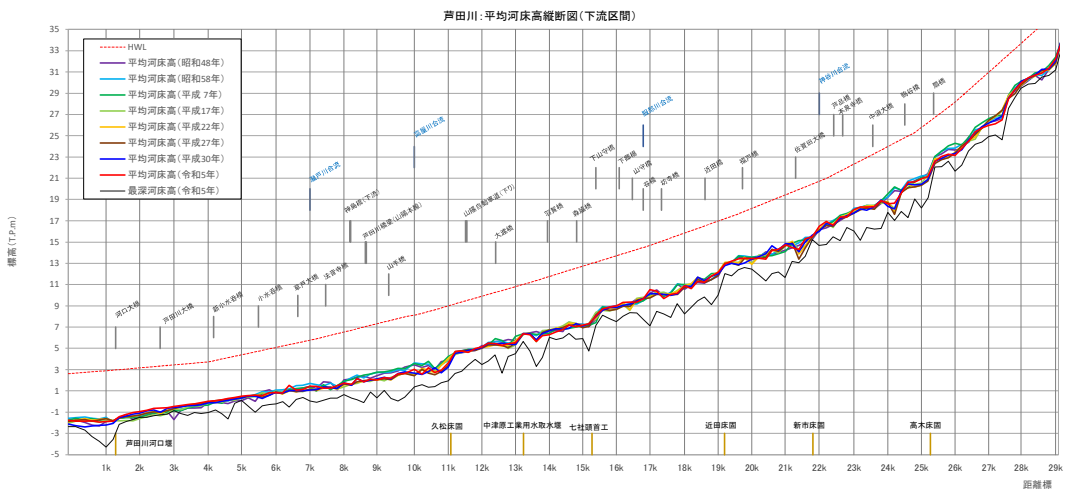
| 施設名                      | 八田原ダム      | 御調ダム       | 四川ダム       | 山田川ダム      | 野間川ダム      | 三川ダム       | 藤尾ダム       | 京丸ダム      | 神田大池      | 服部大池      | 川井谷調整池     |
|--------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 管理者                      | 国土交通省      | 広島県        | 広島県        | 広島県        | 広島県        | 中四国農政局     | 広島県        | 中四国農政局    | 広島県       | 利水組合      | 広島県        |
| 施工年                      | 平成10(1998) | 昭和63(1988) | 平成17(2005) | 平成18(2006) | 平成24(2012) | 昭和34(1959) | 昭和49(1974) | 平成8(1996) | 平成1(1989) | 平成9(1997) | 昭和46(1971) |
| 河川名                      | 芦田川        | 御調川        | 加茂川        | 山田川        | 野間川        | 芦田川        | 父尾川        | 京丸川       | 芦田川       | 服部川       | 藤尾川        |
| 集水面積(km <sup>2</sup> )   | 241.6      | 54         | 9          | 5.6        | 4.4        | 108        | 10         | 3.3       | 8.4       | 22        | 8.7        |
| ダム形状                     | 重力式        | 重力式        | 重力式        | 重力式        | 重力式        | 重力式        | ロックフィル     | 重力式       | アース       | アース       | 重力式        |
| 目的                       | FNWI       | FN         | FN         | FNW        | FNW        | AWI        | FA         | A         | A         | A         | F          |
| 堤高(m)                    | 84.9       | 53.1       | 58.9       | 32.1       | 32.5       | 53         | 32.5       | 25.5      | 22.3      | 15        | 16.5       |
| 堤長(m)                    | 325        | 206.2      | 251        | 204.8      | 114        | 154.2      | 105        | 117       | 119       | 190       | 33.5       |
| 総貯水容量(千m <sup>3</sup> )  | 60,000     | 5,040      | 1,650      | 700        | 560        | 12,697     | 870        | 499       | 550       | 650       | 47         |
| 有効貯水容量(千m <sup>3</sup> ) | 57,000     | 4,500      | 1,550      | 590        | 494        | 12,306     | 810        | 432       | 503       | 650       | 47         |
| 洪水貯水容量(千m <sup>3</sup> ) | 34,000     | 3,600      | 1,000      | 460        | 194        | -          | -          | -         | -         | -         | -          |
| 計画堆砂量(千m <sup>3</sup> )  | 3,000      | 540        | 100        | 110        | 66         | 391        | 60         | 67        | 47        | 0         | 0          |
| 累加堆砂量(千m <sup>3</sup> )  | 764        | 253        | -12        | 17         | 15         | 1,309      | 56         | 11        | -         | -         | -          |

- 三川ダム及び藤尾ダムは、建設後より計画堆砂速度を上回る堆積傾向にあり、三川ダムは、その後も計画堆砂量を上回り堆砂量が増加し続けている。
- 四川ダムは、測線上の河床部が低下傾向にあったが、その後、堆積傾向を示している。
- その他のダムにおいては、計画堆砂量を下回っているが、計画堆砂速度程度で堆積傾向にある。



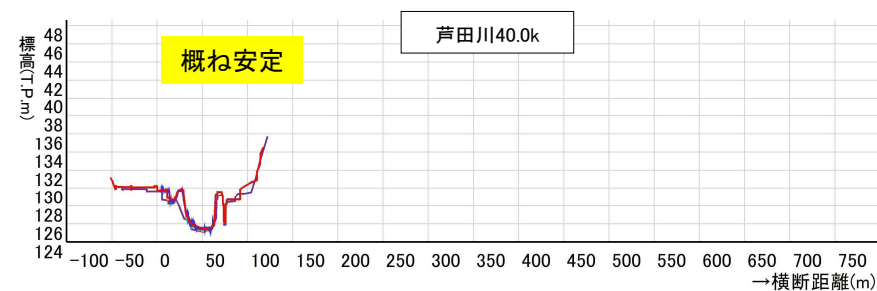
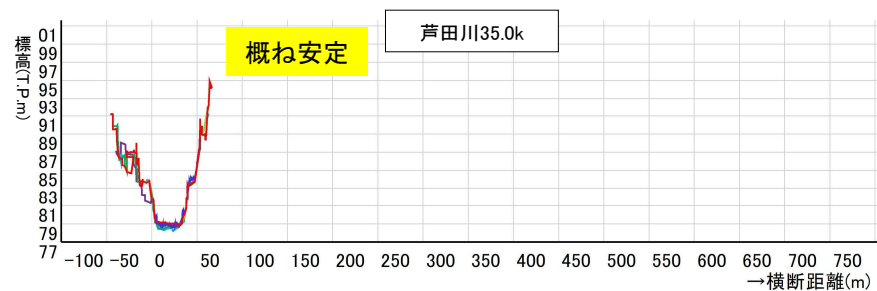
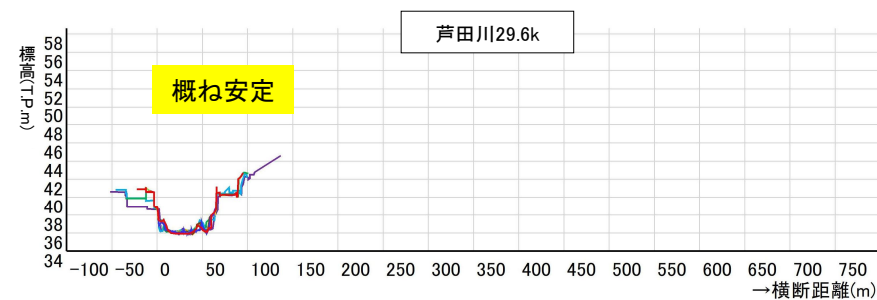
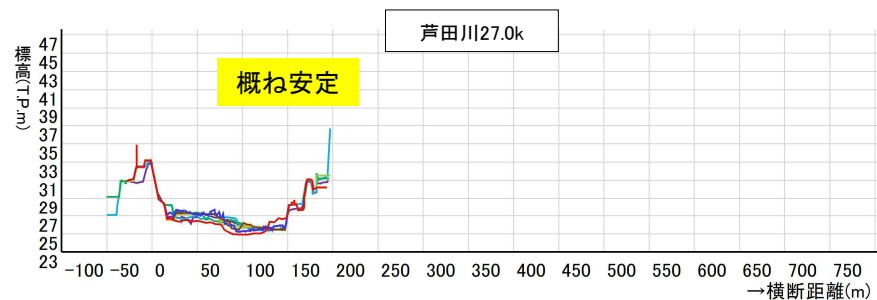
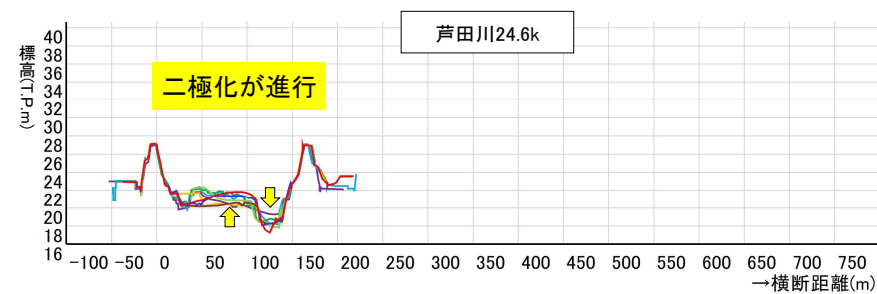
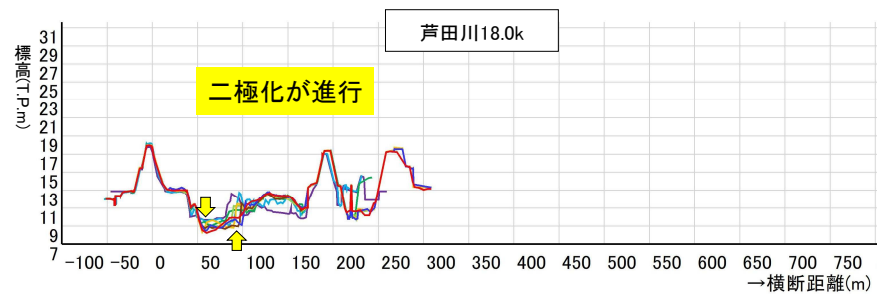
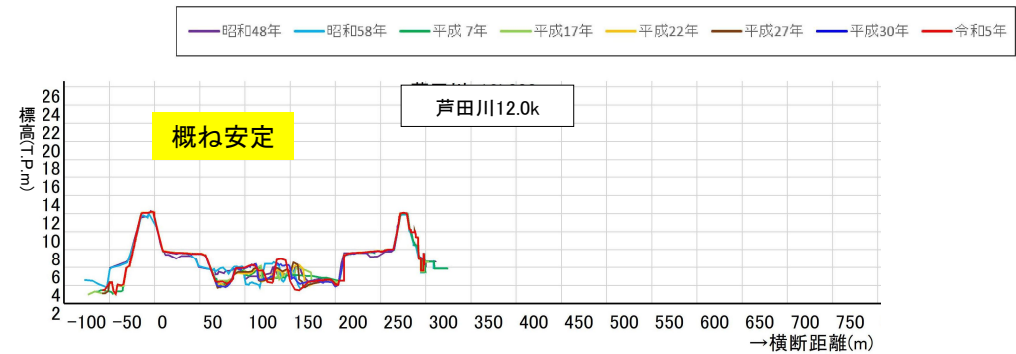
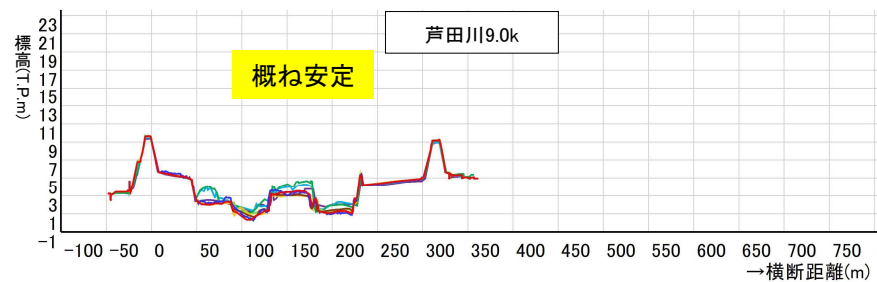
○ 芦田川では、河床掘削工事により平均河床高の低下している箇所がある一方で、出水後(平成30年7月豪雨)の土砂堆積により上昇している箇所もある。

河床変動の状況(平均河床高)



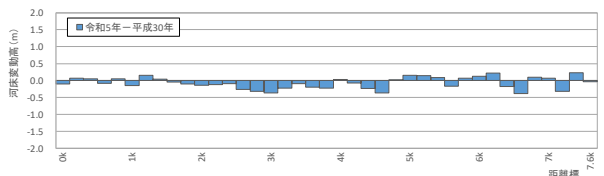
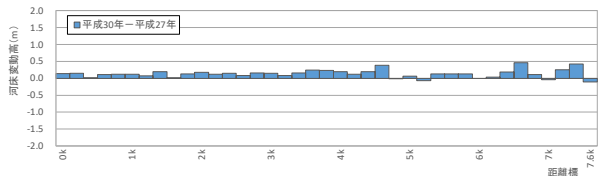
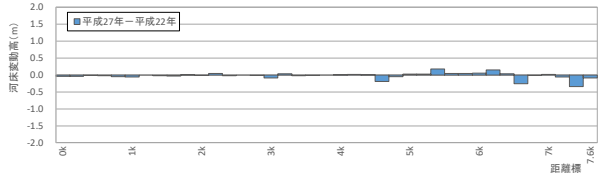
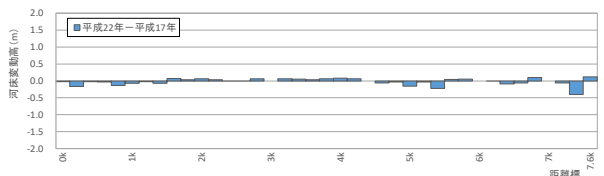
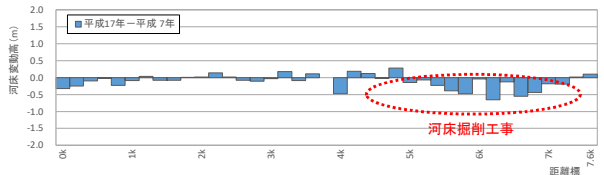
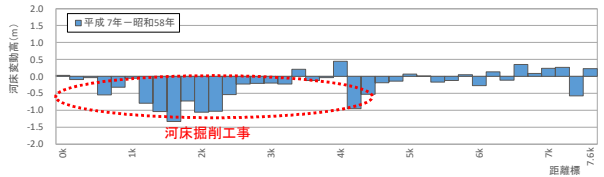
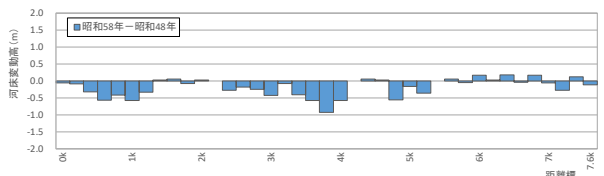
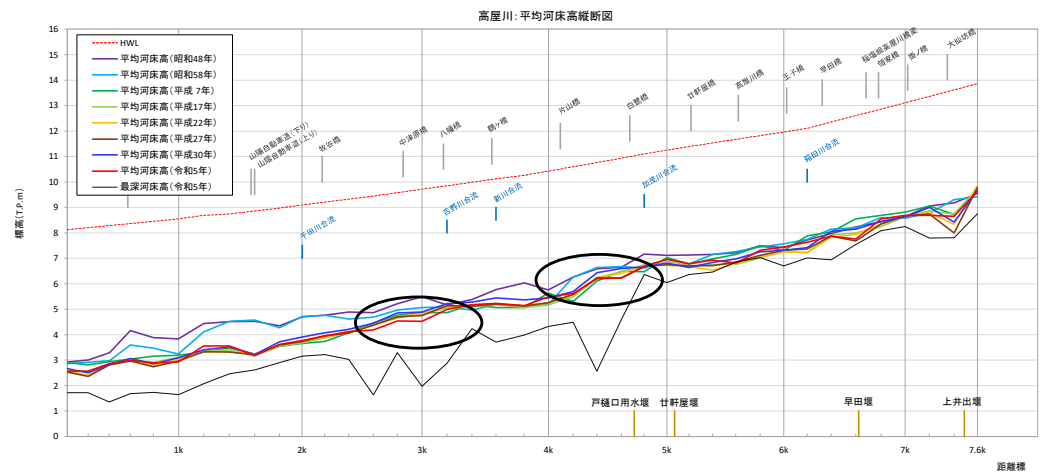
○ 部分的に洗掘・堆積が生じており二極化が進行している箇所もあるが、変動量は小さい。

河床変動の状況（横断形状変化）



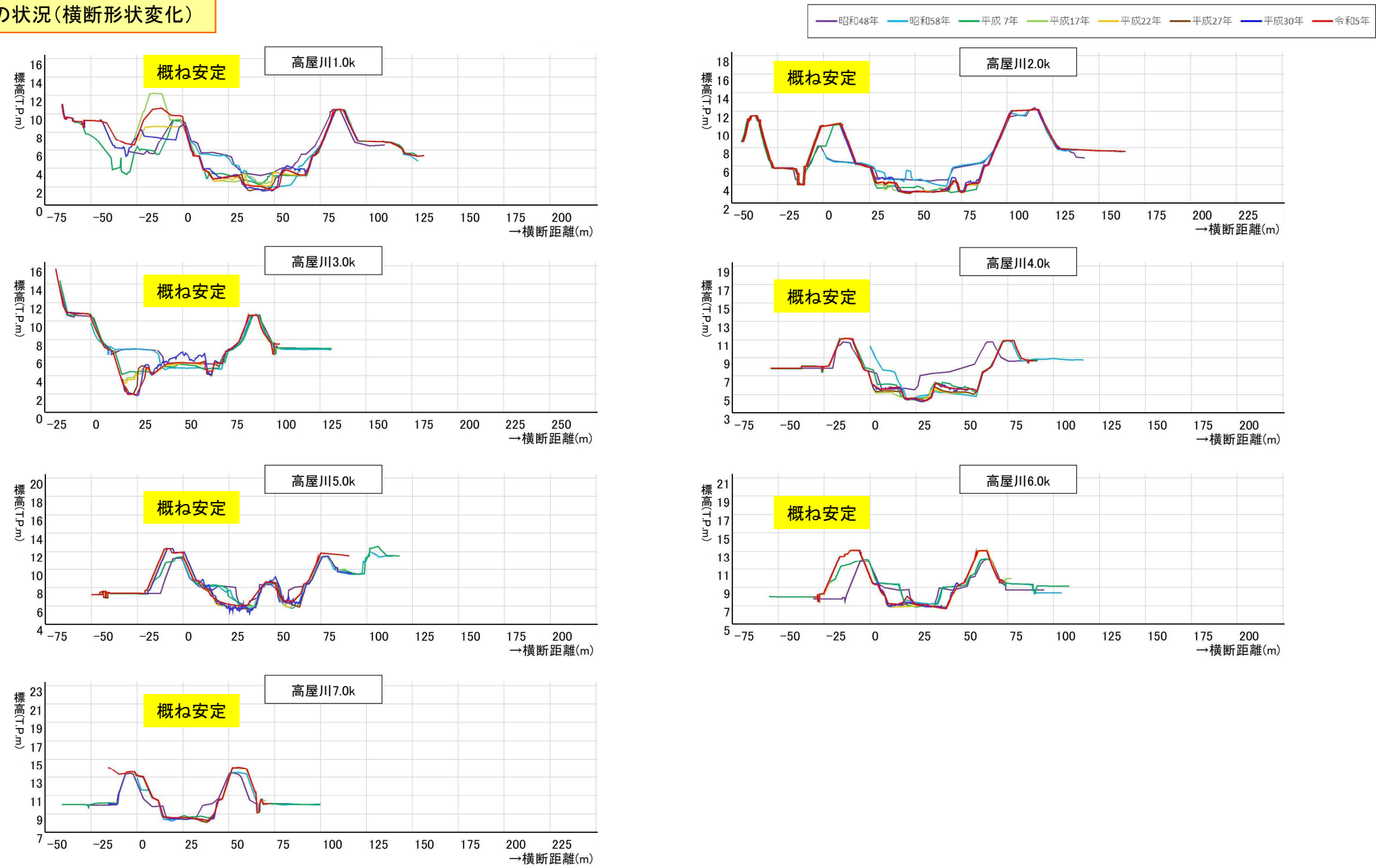
○ 高屋川では、S51年に着手した河道整備とH7～11年にかけて実施した河道整備により平均河床高の低下している箇所があるが、変動量は小さい。

## 河床変動の状況(平均河床高)



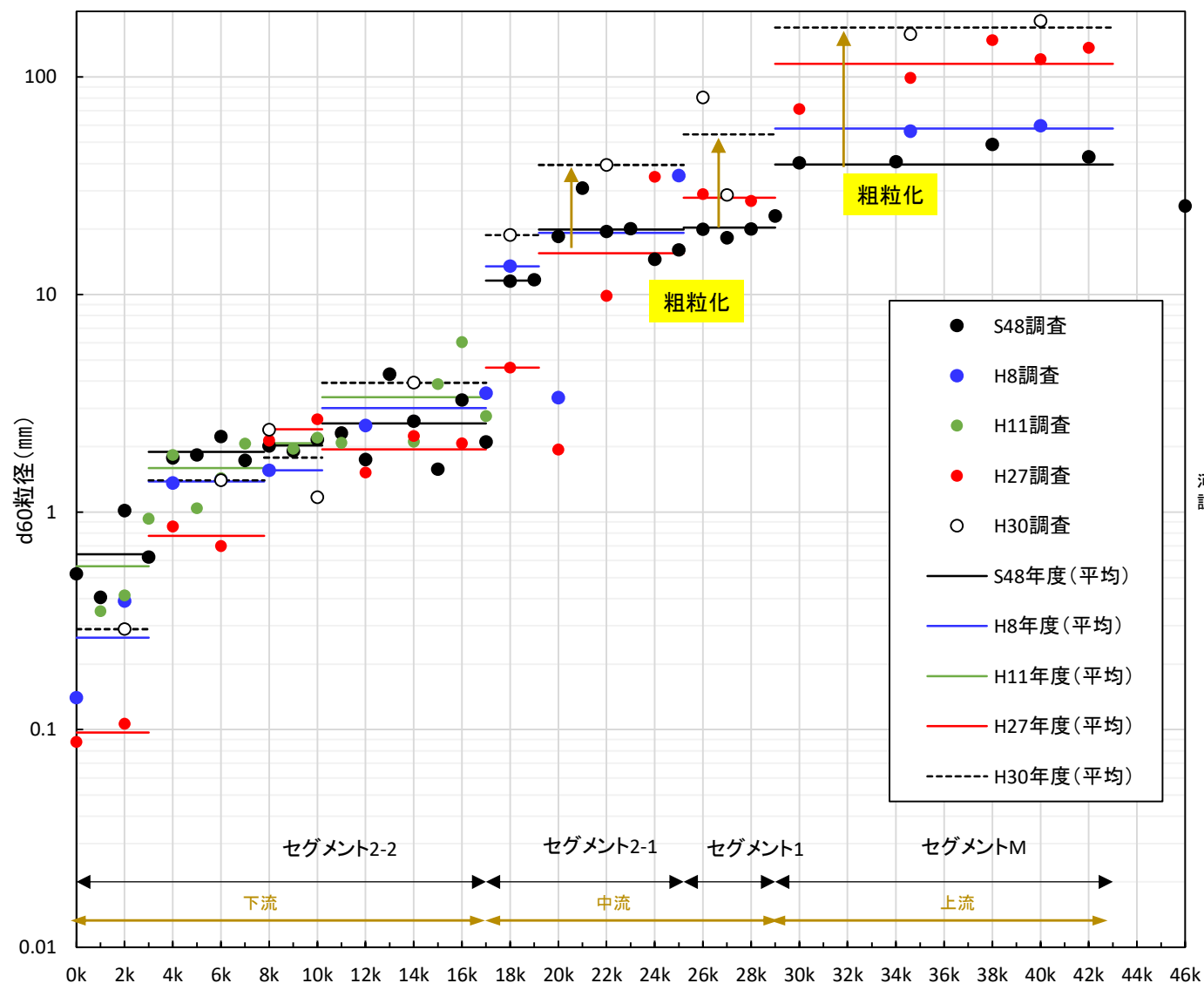
○ 高屋川では、河床変動量が小さい。

河床変動の状況(横断形状変化)



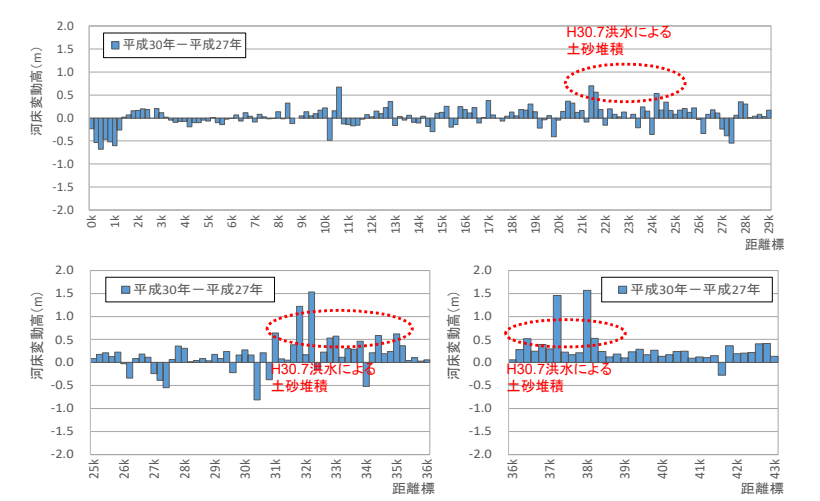
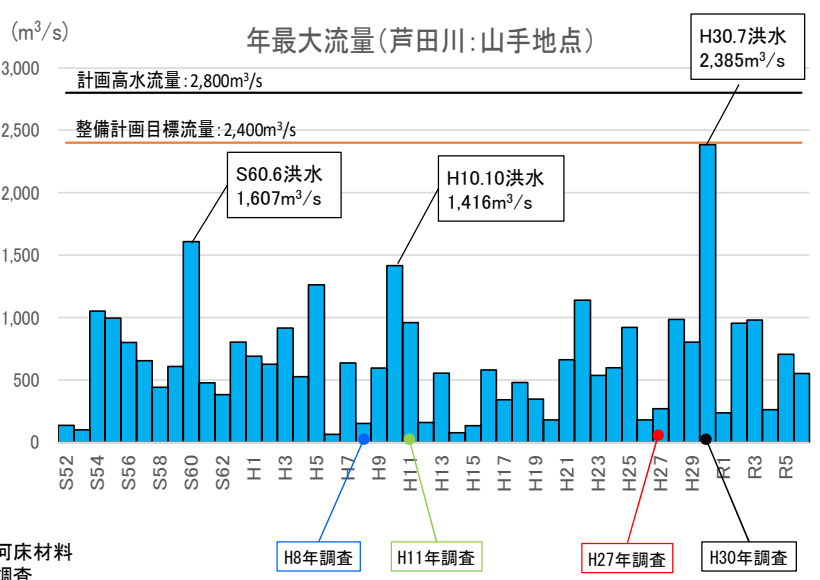
- 芦田川の河床材料について、平成30年7月豪雨後に17kより下流では概ね砂河川の区間であり顕著な変化はないが、17kより上流のセグメント2-1やセグメントMの区間では粗粒化の傾向が見られる。
- 出水(平成30年7月豪雨)を受けて、細粒分が流出したことにより上流区間では粗粒化が生じていると推察される。

代表粒径の経年変化と平均年最大流量



| 区分          | シルト    | 細砂    | 中砂    | 粗砂 | 細礫    | 中礫  | 粗礫  | 石   |
|-------------|--------|-------|-------|----|-------|-----|-----|-----|
| 代表粒径d60(mm) | ～0.075 | ～0.25 | ～0.85 | ～2 | ～4.75 | ～19 | ～75 | 75～ |

H11調査では18kより上流が未実施

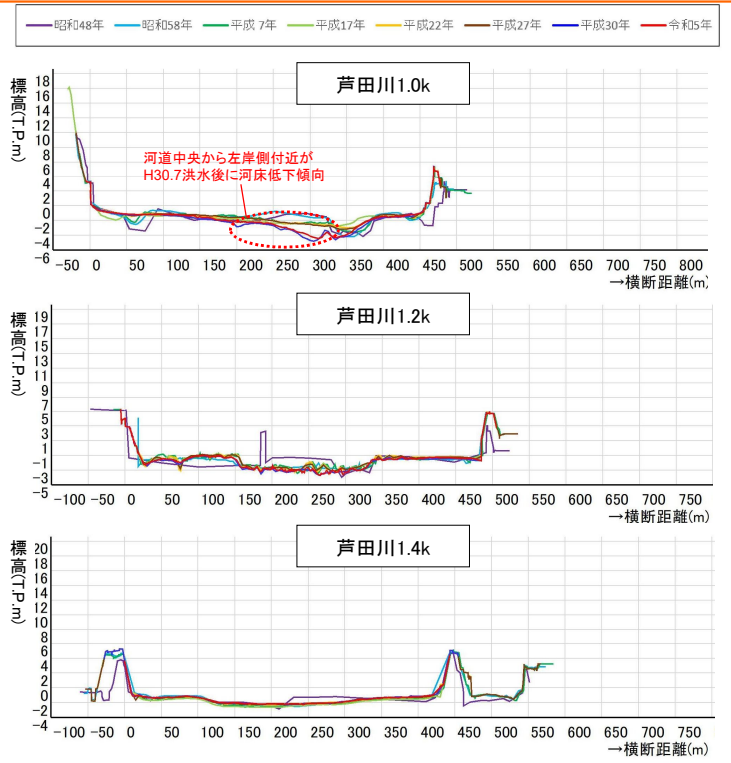
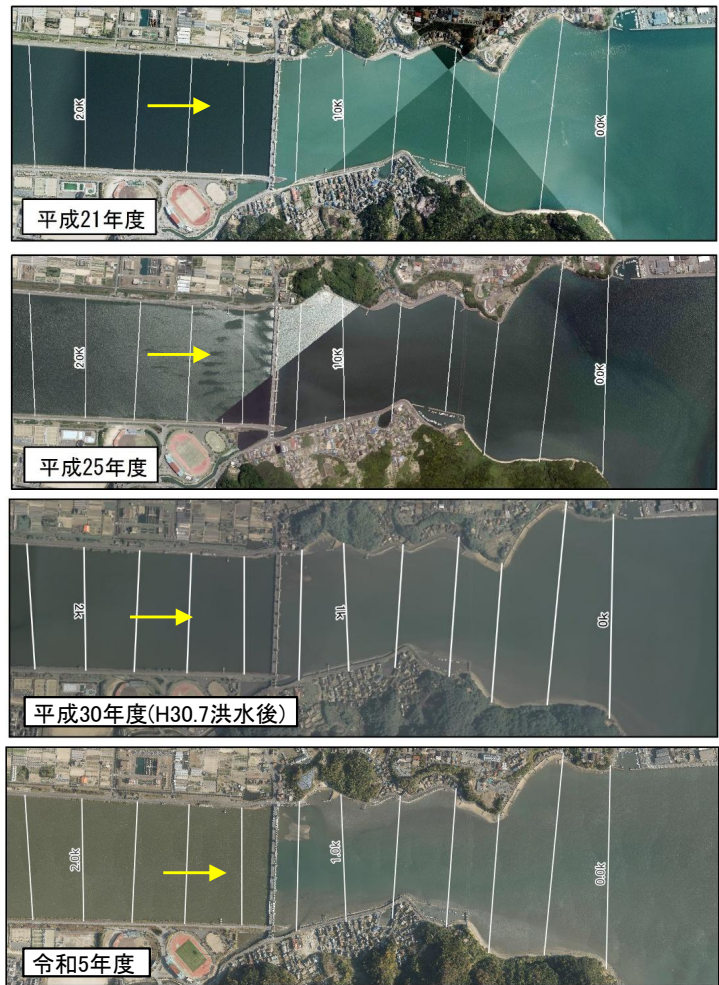
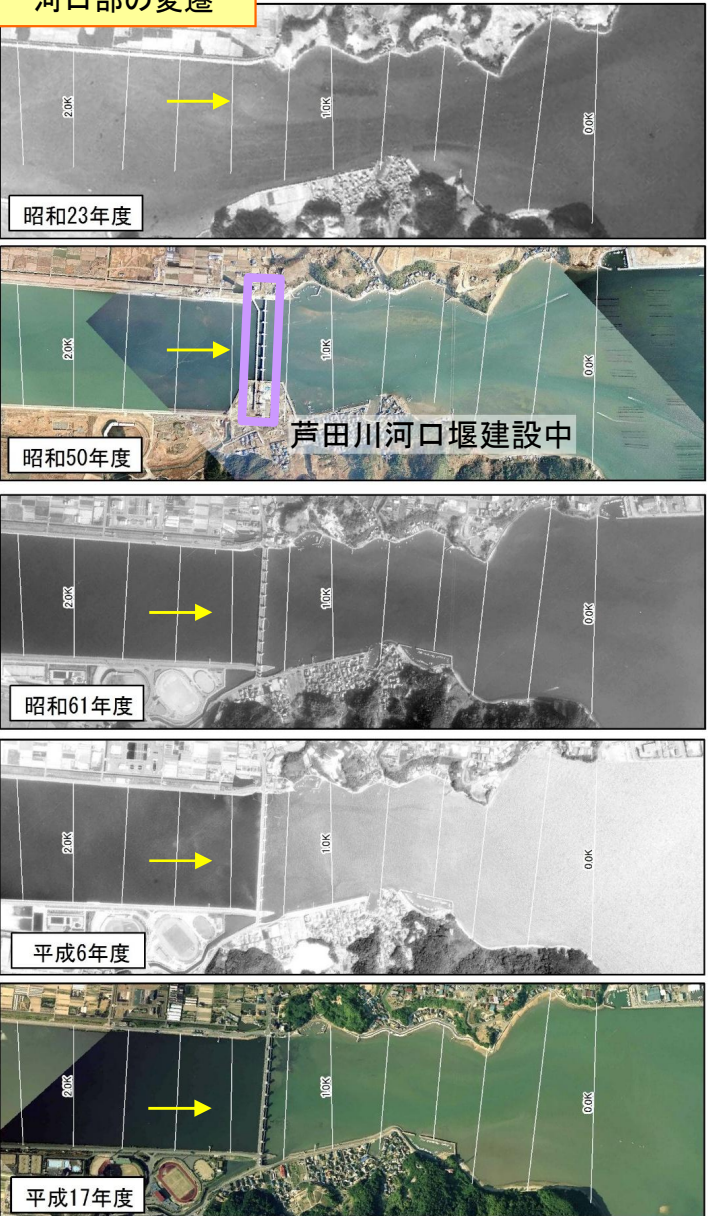


河床変動の状況(平均河床高)(H30-27)

# 総合的な土砂管理 河口領域の状況

- 河口領域では、洪水の安全な流下（流水の安全な疎通）、海水の遡上防止、工業用水の補給を目的として芦田川河口堰がS44年4月に建設着手し、S56年6月に完成した。
- 完成後、現在までに河口領域に大きな変化はないが、直近の最大流入量を記録した平成30年7月豪雨（約1,770m<sup>3</sup>/s）でゲートを開門した影響により一部箇所河床低下の傾向が見られる。

## 河口部の変遷



○ 海岸領域では、S36年以降に工業用地の整備により埋め立てが実施されたが、以降から現在まで汀線に大きな変化はない。

海岸部の変遷

